

第5章 総括

第1節 殿河内定屋ノ前遺跡の落とし穴について

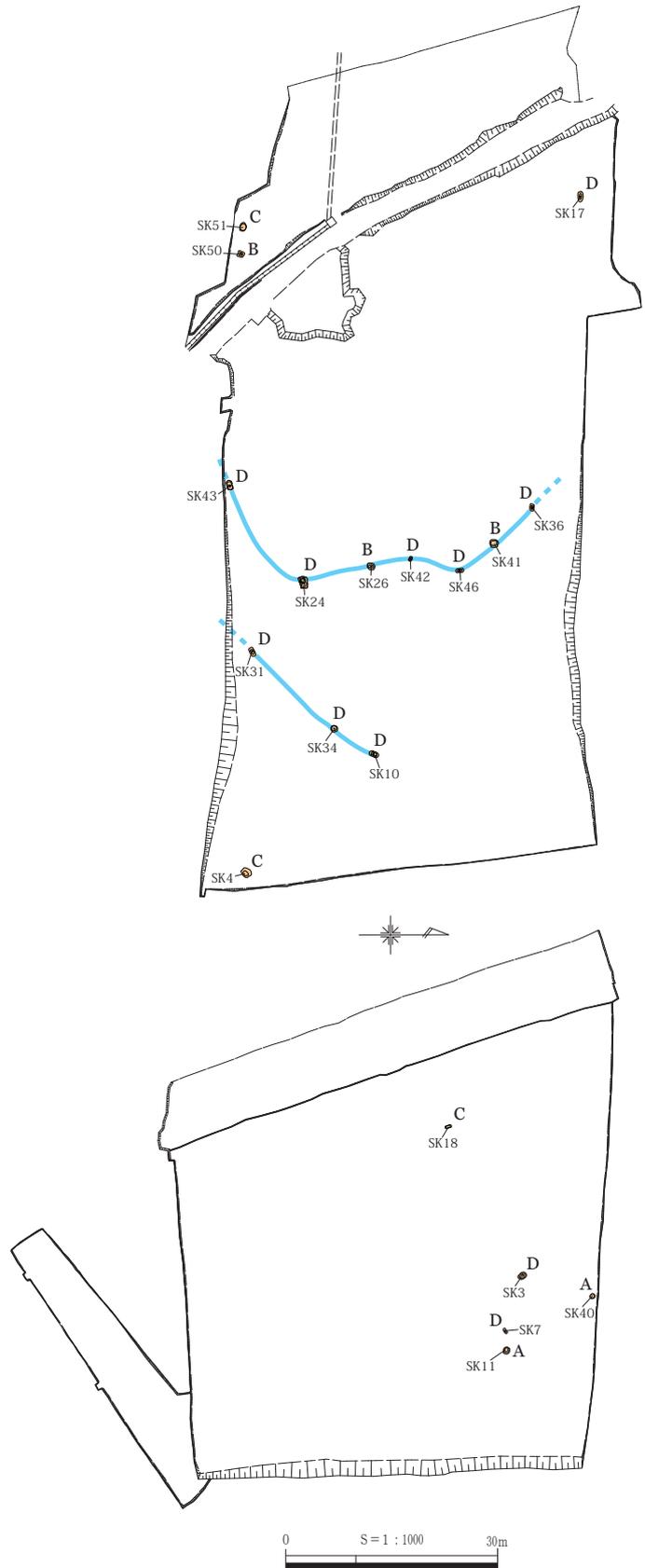
1 落とし穴の類型

殿河内定屋ノ前遺跡では、計19基の落とし穴が検出された。

当遺跡の落とし穴の形態は、平面形の違い及び底面ピットの有無から、A類：円形+底面ピットなし、B類：円形+底面ピットあり、C類：長方形(楕円形)+底面ピットなし、D類：長方形(楕円形)+底面ピットあり、に分けることができる(註1)。規模的には、いずれの類型も概ね長軸が1.0～1.7m前後で大きな違いは見られない。これらの類型は、倉谷西中田遺跡、下市築地ノ峯東通第3遺跡、化粧川遺跡、笠見第3遺跡などとも類似している。

2 落とし穴の時期について

これらの時期は、出土遺物がほとんどないため明らかにはできないが、SK18(C類)、SK24(D類)、SK26(B類)、SK40(A類)の埋土下層及び底面ピット埋土中で採取した炭化物の放射性年代測定(AMS法)を行ったところ、SK18では $12,060 \pm 40$ BP、SK24では 170 ± 20 BP、SK26では $2,830 \pm 20$ BP、SK40では $5,630 \pm 30$ BPの値を得た。SK18、SK24の年代値は、混入物を測定した可能性があり、この数値を除外して考えると、SK26は縄文時代晩期ごろ、SK40は縄文時代中期ごろの年代値の可能性が指摘できる。測定試料が少ないなかでの測定結果のため確かなことは言えないが、少なくとも底面ピットを持たないものが、底面ピットを持つものに対して古相となると指摘でき、平面形は時期差を考慮する



第215図 落とし穴配置図

第1節 殿河内定屋ノ前遺跡の落とし穴について

要素ではないと考える。また、年代測定値では良好な数値は得られなかったが、SK24埋土上層から縄文時代晩期ごろと考えられる粗製深鉢が出土しており、このことを裏付けるものといえよう。底面ピットを持たないものが持つものに対して先行することは、倉谷西中田遺跡のSK64・SK65の重複関係によっても指摘されたところであるが、今回の調査によってより時間幅（年代幅）があることが予想されるものとなった。

3 落とし穴の配列について

当遺跡で検出された落とし穴については、上記のとおり概ね縄文時代中期並びに縄文時代晩期に使用された可能性が指摘できる。いずれの落とし穴もこれらの時期に帰属するものとはにはわかには断定できないが、比較的まとまって検出された2・3区谷部付近の落とし穴については、平面形は異なるがいずれも底面ピットをもつもので、いずれも縄文時代晩期ごろのものとして推定されることから、同時期の落とし穴配列について示唆的であると考えられる。

これまでも、落とし穴配列については、その立地については丘陵平坦面から斜面にかけての傾斜変換点付近に多く、2基一対の落とし穴が列状に配列されることが指摘されてきている。

当遺跡2・3区の浅い谷を挟んで配列されている落とし穴については、SK43、SK31の南側は調査区外であるために不明な点が多いが、おそらく南側から延びる配列は、谷頭部分のSK24(D類)・SK31(D類)まで2基一対の形態を保ち、そこから北側は二股に分かれ、谷の西側をSK26(B類)・SK42(D類)・SK46(D類)・SK41(B類)・SK36(D類)と約5～7m間隔で蛇行しながら一列に配列され、また、谷の東側はSK34(D類)・SK10(D類)と配列されたものと考えられる。立地については、傾斜変換点から斜面部にかけてにあり、これまで考えられている立地状況と類似するものである。

1区については、SK3(D類)・SK7(D類)が2基一対になって、さらに北側の調査区外へ列が延びていっているものと推察される。

このように当遺跡では、縄文時代晩期ごろの落とし穴による狩猟方法は、計画的且つ大規模に行われたものと推察される。時期的に遡るものと推察される底面ピットを持たないA・C類については、明確な規則性は見られず、散在的な配置に留まっていることが指摘できる。

今回、落とし穴の時期について形態的(底面ピットの有無)に時期差があることが指摘できたが、さらに分析資料を増やし、時期と形態的差異の関連性を解明しなければならぬとともに、今後落とし穴の時期的な

表72 殿河内定屋ノ前遺跡落とし穴一覧表

遺構名	規模(長軸×短軸-深さ)m	類型	時期・年代	備考
SK3	1.25×0.9-0.94	D類		
SK4	1.5×1.36-1.08	C類		
SK7	0.84×0.4-0.64	D類		
SK10	1.36×0.75-0.94	D類		
SK11	0.8×0.8-1.38	A類		
SK17	1.5×0.74-0.87	D類		
SK18	0.9×0.38-0.8	C類		
SK24	1.7×1.06-0.9	D類		縄文晩期深鉢出土
SK26	1.1×1.0-0.4	B類	2,830±20BP	
SK31	1.29×0.69-0.63	D類		
SK34	0.99×0.95-0.53	D類		
SK36	1.0×0.63-0.68	D類		
SK40	1.28×1.28-1.06	A類	5,630±30BP	
SK41	1.22×1.11-0.85	B類		
SK42	0.7×0.44-0.2	D類		
SK43	1.4×0.84-0.56	D類		
SK46	1.11×0.59-0.84	D類		
SK50	0.87×0.83-0.82	B類		
SK51	1.25×0.84-0.84	C類		

変遷過程を明らかにしていくことが必要と思われる。

註1 平面形の指標として、長軸/短軸が1.25を境に円形(方形)か楕円形(長方形)に区別した。

第2節 殿河内定屋ノ前遺跡の弥生時代集落について

はじめに

今回の発掘調査によって、当遺跡の最も繁栄する時期が、弥生時代中期中葉から後葉(清水編年Ⅲ-3からⅣ-3様式、以下清水編年省略)であることが判明した。出土遺物にも恵まれ、ほとんどの遺構の詳細な時期が判明しており、時期毎の集落変遷を明らかにすることができるものとする。ここでは、時期毎の遺構配置の変遷について触れることとする。

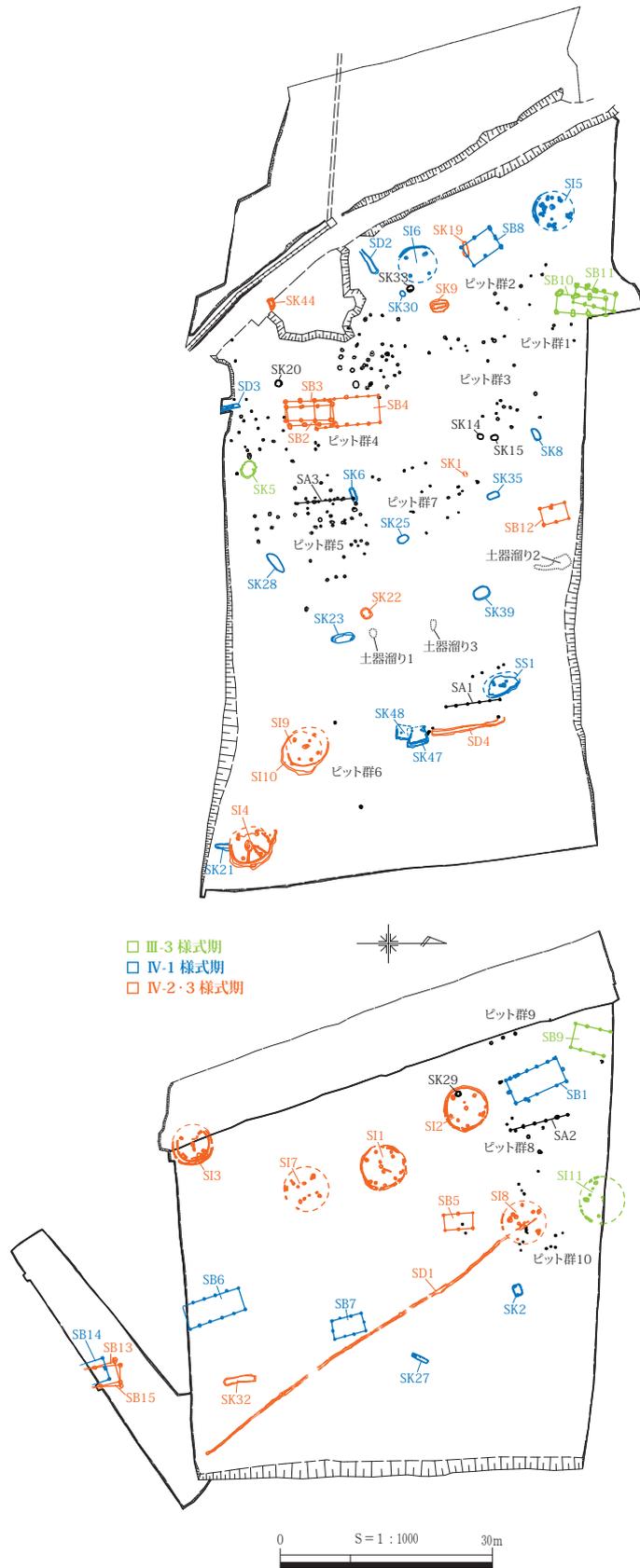
なお、時期の指標については基本的に清水編年を踏襲したが、Ⅳ-2・3様式については型式差が明瞭ではなく、今のところまとめて考えることとする。また、竪穴建物の規模について20㎡以下のものを小型、20～30㎡のものを中型、30㎡以上のものを大型とし、掘立柱建物跡の規模については10㎡以下のものを小型、10～20㎡程度のものを中型、20㎡以上のものを大型として述べることとする。

1 Ⅲ-3様式の集落構成について

この時期は、当遺跡において集落出現期に当たり、上部平坦面から下部平坦面で小規模で散在的な集落が営まれる。

竪穴建物跡は上部平坦面のみで確認できた。SII1は円形を呈し、床面積36㎡を超えるものと推察でき、石屑等は出土していないが石鋸が出土しており玉作に関連する建物と考えられる。

掘立柱建物跡は、下部平坦面に立地する



第216図 弥生時代集落変遷図

表73 殿河内定屋ノ前遺跡弥生時代遺構一覽表(1)

遺構名	規模(長軸×短軸-深さ)m	平面形	床面積	時期	備考
SI 1	6.6×6.6-0.24	円形	34.2㎡	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)	
SI 2	6.2×6.2-0.22	円形	30.2㎡	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)	
SI 3	5.7× -0.2	円形	※25.5㎡	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)	焼失住居
SI 4	6.1×△4.9-1.0	楕円形	△17.7㎡	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)	
SI 5	△5.4×△5.2-不明	円形	△19.8㎡	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	建て替え3回、分銅形土製品
SI 6	△5.0×△4.4-0.08	円形	※18.8㎡	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	
SI 7	※6.4× -不明	円形	※32.2㎡	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)か	建て替え1回
SI 8	※6.8× -不明	円形	※36.3㎡	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)	
SI 9	6.0×△5.0-0.77	楕円形	※21.3㎡	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)	焼失住居
SI10	△5.2×△5.0-0.57	楕円形	※20.9㎡	弥生時代中期中葉(Ⅳ-2・3)	
SI11	※6.9× -不明	円形	※37.4㎡	弥生時代中期中葉(Ⅲ-3)	石鋸
SB 1	7.8×3.4 ~ 3.5	桁行5間×梁行2間	26.8㎡	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	
SB 2	6.4 ~ 6.5×2.6 ~ 2.8	桁行3間×梁行1間	17.4㎡	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)	
SB 3	6.3×2.7	桁行3間×梁行1間	17.0㎡	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)	
SB 4	9.3×3.6 ~ 3.8	桁行6間×梁行1間	34.5㎡	弥生時代中期後葉か	
SB 5	4.0 ~ 4.1×2.2	桁行2間×梁行1間	9.0㎡	弥生時代中期後葉か	
SB 6	8.3×3.2	桁行5間×梁行2間	※26.6㎡	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	
SB 7	4.2 ~ 4.5×2.6	桁行3間×梁行2間	11.4㎡	弥生時代中期後葉か	
SB 8	4.6 ~ 4.9×3.1 ~ 3.2	桁行2間×梁行2間	14.8㎡	弥生時代中期後葉か	
SB 9	△4.8 ~ 5.0×3.4	△桁行3間×梁行2間	△16.9㎡	弥生時代中期中葉か	
SB10	4.6 ~ 4.9×3.1 ~ 3.2	桁行3間×梁行1間	16.7㎡	弥生時代中期中葉(Ⅲ-3)	
SB11	5.7×2.3	桁行4間×梁行1間	12.9㎡	弥生時代中期中葉(Ⅲ-3)	
SB12	3.6×2.4	桁行2間×梁行1間	8.6㎡	弥生時代中期後葉か	
SB13	△2.8 ~ 3.1×3.0	△桁行1間×梁行1間		弥生時代中期後葉か	
SB14	△3.0 ~ 3.5×3.0	△桁行1間×梁行2間		弥生時代中期後葉か	
SB15	△1.2×3.6	△桁行1間×梁行2間		弥生時代中期後葉か	
SK20	0.84×0.82-0.56	円形		弥生時代中期か	貯蔵穴
SK29	0.6×0.53-	円形		弥生時代中期後葉か	貯蔵穴
SK 9	2.54×1.75-	長楕円形		弥生時代中期後葉か	土壙墓
SK19	2.1×0.46 ~ 0.7	長楕円形		弥生時代中期後葉か	土壙墓
SK44	△1.8×0.84-0.14	長方形		弥生時代中期後葉か	木棺墓
SK 1	0.5×0.3-0.14	楕円形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)	
SK 2	1.6×1.23-0.3	隅丸長方形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	
SK 5	2.54×2.1-0.14	不整楕円形		弥生時代中期中葉(Ⅲ-3)	廃棄土坑
SK 6	△2.1×0.73-0.23	長方形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	廃棄土坑
SK 8	1.97×0.92-0.18	不整長楕円形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	廃棄土坑
SK14	0.95×0.76-0.17	楕円形		弥生時代中期後葉か	廃棄土坑
SK15	1.04×0.8-0.12	楕円形		弥生時代中期後葉か	廃棄土坑
SK21	△2.2×1.02-0.33	長楕円形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	廃棄土坑
SK22	1.49×1.37-1.11	隅丸長方形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)	廃棄土坑
SK23	2.5×1.17-0.3	長楕円形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	廃棄土坑
SK25	△1.6×1.07-0.3	楕円形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	廃棄土坑
SK27	2.48×0.62-0.32	隅丸長方形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	廃棄土坑
SK28	△3.33×1.23-0.16	不整長楕円形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	廃棄土坑
SK30	0.89×0.66-0.22	不整楕円形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	廃棄土坑
SK32	4.66×0.98-0.3	隅丸長方形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)	廃棄土坑
SK33	1.03×0.89-0.15	楕円形		弥生時代中期後葉か	
SK35	1.49×1.37-0.39	隅丸長方形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	廃棄土坑
SK39	2.26×1.79-0.45	隅丸長方形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	廃棄土坑
SK47	2.76×△2.2-0.55	長方形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	廃棄土坑
SK48	2.21×1.3-0.29	長方形		弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	廃棄土坑、SK47を掘り込む
SD 1	57×0.2 ~ 0.6-0.1 ~ 0.4			弥生時代中期後葉か	区画溝
SD 2	△4.0×0.46 ~ 0.94-0.04 ~ 0.17			弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	
SD 3	△2.6×0.55-0.1 ~ 0.25			弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	

表74 殿河内定屋ノ前遺跡弥生時代遺構一覧表(2)

遺構名	規模(長軸×短軸-深さ)m	平面形	床面積	時期	備考
SD4	△10.6×0.62～0.83-0.14 ～0.34			弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)	区画溝か
SS1	△4.4×△2.7-0.1			弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)	

SB10(桁行3間×梁行1間)・SB11(桁行4間×梁行1間)で、平面積12～16㎡と中型の建物である。SB10とSB11は、重複関係が認められ同時併存していない。主軸は、後続するⅣ-1様式のものやや西偏するのに対し、やや東偏するという違いが認められる。正確な時期は不明であるが、中型のSB9(桁行3間×梁行1間)もやや東偏する主軸となるもので、この時期に属する可能性がある。

やや離れて廃棄土坑と考えられるSK5がみられる。

2 Ⅳ-1様式の集落構成について

この時期は、丘陵全体にわたって集落が営まれ、遺構数が最も多くなる。

竪穴建物跡は下部平坦面から斜面部に立地する。段丘下段の平坦面に立地するSI5・6は掘り込みの浅いものである。SI5は複数回にわたって建て替えが行われていた。いずれも円形を呈し床面積20㎡以下と小型のものである。斜面部では、段状遺構としたが、竪穴建物の残骸の可能性のあるSS1が造られている。

掘立柱建物跡は、丘陵上のSB1(桁行4～5間×梁行2間)、SB6(桁行5間×梁行1間)で平面積26㎡と大型のやや長尺の建物である。これらは、長軸方向をやや西向きに揃えていることが特徴である。また、確実な時期は不明であるが、SB7(桁行3間×梁行2間)・SB8(桁行2間×梁行2間)・SB14(桁行1間以上×梁行2間)も長軸方向がSB1・SB6と類似しており、この時期に属する可能性がある。

土坑は、丘陵上ではSK2・27が造られている。ほとんどが斜面部から下部平坦面に造られているが、特に2・3区の谷部分周辺に集中しており、SK6・8・21・23・25・28・30・35・39は廃棄土坑と考えられる。斜面部にあるSK47・48はいわゆる方形土坑であるが、最終的には廃棄土坑として使われている。

こうしてみると、この時期は、2つの居住域(SI5・6・SB8とSS1)に分けることができる。

3 Ⅳ-2・3様式の集落構成について

この時期は、竪穴建物数が最も多くなる時期である。

竪穴建物跡は上部平坦面から斜面部に立地し、下部平坦面では見られなくなる。上部平坦面に立地するSI1～3・8はいずれも円形を呈し、床面積30㎡以上と大型のものであるのに対し、斜面に立地するSI4・9・10は、いずれも円形か楕円形を呈し、床面積20㎡程度と中型のものである。SI3・9は、焼失住居である

掘立柱建物跡は、時期が判明したものがSB3(桁行3間×梁行1間)で、平面積17㎡と中型の建物である。長軸方向をほぼ南北に向ける特徴がある。同様な長軸方向を持つものは、中型のSB2(桁行3間×梁行1間)、大型のSB4(桁行6間×梁行1間)、小型のSB5(桁行2間×梁行1間)、小型のSB12(桁行2間×梁行1間)、SB13(桁行1間以上×梁行1間)、SB15(桁行1間以上×梁行1間)で、

これらが同時期の可能性があるが、切り合い関係が認められるものもあり、同時には存在していない。上部平坦面の竪穴建物に近接するSB5、下部平坦面のSB12とも小型の掘立柱建物で、倉庫としての性格が考えられる。SB13・15は大半が調査区外へ延びることから、全形を窺い知れないが、桁間の規模が3m前後と広く、大型になる可能性がある。

SD1についても、この時期のものと考えられ、集落の東辺を画するものと考えられる。斜面部に造られているSD4は、居住域を区画する溝の一部の可能性がある。

確実な時期は不明であるが、土壙墓(SK9・SK19)・木棺墓(SK44)は、この時期かやや下の時期のものと考えられ、散在的ではあるが、居住域からやや隔絶された下部平坦面西側が墓域として利用されたものと思われる。

4 V-3様式期の集落構成について

この時期は、遺構としては確認できなかったが、段丘下段西側において赤色塗彩された、日常的に使用されたとは考えにくい土器が出土している。おそらく、墓域が造られていたものと推定され、居住域は認められなくなる。

5 集落変遷について

殿河内定屋ノ前遺跡の弥生集落は、以上のように大きく4時期に変遷している。出現期であるⅢ-3様式期では、上部平坦面のSII1とSB9がセットになっており、下部平坦面では居住域から離れて中規模のSB10・11が見られる。SII1は大型の竪穴建物で、集落の共同施設で玉作関連の施設の可能性がある。当遺跡では集落出現期から、濱田のいう「空間A」と「空間B」(濱田2003)が明瞭になっていると言える。濱田は、「空間A」の掘立柱建物跡は小型のものが多くあることから倉庫等の性格、「空間B」の掘立柱建物跡は中・大型のものが多く、庇付建物や独立棟持柱を持つものがあることから、祭祀的な性格を想定しているが、当該期の当遺跡の掘立柱建物跡は、規模的に中型で差がなく、一概に空間分節による性格分けができるものではないと考える。

Ⅳ-1様式期では、下部平坦面から斜面部にかけて2か所の居住域(SI5・6・SB8とSS1)が形成され、丘陵上が小型・中型の掘立柱建物のエリアとなり、やはり「空間A」と「空間B」が想定できる。竪穴建物は突出するものはなく、住居として使用された感があるが、SI5からは分銅形土製品が出土しており、なんらかの祭祀関連施設である可能性もあることから、一概に「空間B」のみが祭祀的な空間であるというには今少し慎重にならざるを得ないと考える。当遺跡の当該期の「空間B」を形成する掘立柱建物跡の性格については明らかにはできないが、出土遺物には目立ったものはなく規模は大きい倉庫として使用されたものと思われ、上部平坦面に倉庫群を形成していた可能性を考えておきたい。この時期、谷部を中心に廃棄土坑が造られている。

Ⅳ-2・3様式期では、居住域が丘陵上・斜面部に限られている。上部平坦面の竪穴建物は30㎡以上と大型となるが、出土遺物には特記するものはなく通常の住居としての性格が考えられる。斜面部の竪穴建物は20㎡前後と、丘陵上のものに比べて一回り小さい。掘立柱建物は居住域に含まれるもの(SB5)と居住域から離れるもの(SB2~4・12)がある。居住域から離れるもののうちSB2~4は、単独で存在し中・大型となるもので、居住域から離れて形成される墓域(SK9・19・44)に近接することから、倉庫以外の性格が考えられる。SB12は小型のもので、規模的にみると倉庫としての性格

表75 鳥取県内弥生時代中期竪穴建物等出土炭化材樹種一覧表(1)

遺跡名	遺構名	部位	樹種	数量	分類	時期
中尾遺跡	平地住居土壙2		クリ	7	落・高	弥生時代中期前葉(Ⅱ-2)
中尾遺跡	平地住居土壙2		ヤマグワ	3	落・小高	弥生時代中期前葉(Ⅱ-2)
中尾遺跡	平地住居土壙2		コナラ属コナラ 亜属コナラ節の 一種	2	落・小高	弥生時代中期前葉(Ⅱ-2)
中尾遺跡	平地住居土壙2		ムクロジ	4	落・高	弥生時代中期前葉(Ⅱ-2)
中尾遺跡	平地住居土壙2		タケ亜科の一種	1	他	弥生時代中期前葉(Ⅱ-2)
中尾遺跡	平地住居土壙3		広葉樹(環孔材)	3		弥生時代中期前葉(Ⅱ-2)
中尾遺跡	平地住居土壙3		シイ属の一種	1	常・高	弥生時代中期前葉(Ⅱ-2)
中尾遺跡	平地住居土壙3		ヤマグワ類似種	1	落・小高	弥生時代中期前葉(Ⅱ-2)
中尾遺跡	平地住居土壙3		タケ亜科の一種	2	他	弥生時代中期前葉(Ⅱ-2)
中尾遺跡	2号方形土壙		エノキ属類似種	1	落・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
中尾遺跡	2号方形土壙		ヤブツバキ	2	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
中尾遺跡	2号方形土壙		コナラ属コナラ 亜属コナラ節の 一種	5	落・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
中尾遺跡	2号方形土壙		ヤマモガシ類似 種	2	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
中尾遺跡	2号方形土壙		ヤマグワ類似種	2	落・小高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
中尾遺跡	2号方形土壙		マタタビ属の 一種	1	他	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
中尾遺跡	2号方形土壙		ヒノキ属の一種	5	針・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
中尾遺跡	2号方形土壙		シイ属の一種	3	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
中尾遺跡	2号方形土壙		トチノキ	1	落・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
中尾遺跡	2号方形土壙		ヤブツバキ	1	落・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
中尾遺跡	2号方形土壙		タケ亜科の一種	1	他	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
中尾遺跡	2号方形土壙		広葉樹(環孔材)	3		弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
中尾遺跡	2号方形土壙	炭化木製品	ウツギ属の一種	1	落・小高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
中尾遺跡	2号方形土壙	炭化木製品	サカキ	1	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
笠見第3遺跡	D区SI15	垂木・丸太	スダジイ		常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
笠見第3遺跡	D区SI15	不明	ケヤキ		落・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-3)
化粧川遺跡	SI1	垂木	アカガシ亜属	1	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)
化粧川遺跡	SI1	垂木	ヤマグワ	2	落・小高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)
化粧川遺跡	SI1	垂木	ヤブツバキ	2	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)
化粧川遺跡	SI1	垂木	スダジイ	3	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)
化粧川遺跡	SI1	垂木	ヤマザクラ	1	落・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)
化粧川遺跡	SI1	垂木	クリ	1	落・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)
化粧川遺跡	SI1	柱	ヤブツバキ	1	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)
化粧川遺跡	SI1	柱	ヤマグワ	1	落・小高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)
化粧川遺跡	SI1	母屋桁か垂木	クリ	1	落・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)
化粧川遺跡	SI1	母屋桁か垂木	スダジイ	1	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)
化粧川遺跡	SI3	不明	ヤマグワ	1	落・小高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-2・3)
梅田萱峯遺跡	SI3	半截丸太	スダジイ	1	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)
梅田萱峯遺跡	SI3	半截丸太	クスノキ科	1	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)
梅田萱峯遺跡	SI3	丸太	スダジイ	1	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)
梅田萱峯遺跡	SI3	丸太	ニガキ	1	落・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)
梅田萱峯遺跡	SI3	丸太	ツバキ属	1	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)
梅田萱峯遺跡	SI3	板	スダジイ	2	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)
梅田萱峯遺跡	SI3	炭化材	クスノキ科	1	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)
梅田萱峯遺跡	SI3	炭化材	ニガキ	1	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)
梅田萱峯遺跡	SI6	半截丸太	スダジイ	4	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)
梅田萱峯遺跡	SI6	半截丸太	ニガキ	1	落・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)
梅田萱峯遺跡	SI6	半截丸太	ツバキ属	1	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)
梅田萱峯遺跡	SI6	丸太	スダジイ	3	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)
梅田萱峯遺跡	SI6	丸太	ツバキ属	1	常・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)
梅田萱峯遺跡	SI6	丸太	カラスザンショ ウ	1	落・小高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)
梅田萱峯遺跡	SI8	丸太	イヌガヤ	1	針・高	弥生時代中期後葉(Ⅳ-1)

表76 鳥取県内弥生時代中期竪穴建物等出土炭化材樹種一覧表(2)

遺跡名	遺構名	部位	樹種	数量	分類	時期
梅田萱峯遺跡	SI8	板材	ムクロジ	1	落・高	弥生時代中期後葉(IV-1)
殿河内定屋ノ前遺跡	SI3		ヒノキ	1	針・高	弥生時代中期後葉(IV-2・3)
殿河内定屋ノ前遺跡	SI3		スダジイ	2	常・高	弥生時代中期後葉(IV-2・3)
殿河内定屋ノ前遺跡	SI3		モクレン属	1	落・低	弥生時代中期後葉(IV-2・3)
殿河内定屋ノ前遺跡	SI3		クスノキ科	4	常・高	弥生時代中期後葉(IV-2・3)
殿河内定屋ノ前遺跡	SI3	垂木?	クリ	1	落・高	弥生時代中期後葉(IV-2・3)
殿河内定屋ノ前遺跡	SI3		ヤマグワ	1	落・小高	弥生時代中期後葉(IV-2・3)
殿河内定屋ノ前遺跡	SI9	垂木	スダジイ	3	常・高	弥生時代中期後葉(IV-2・3)
殿河内定屋ノ前遺跡	SI9	垂木	ニガキ	1	落・高	弥生時代中期後葉(IV-2・3)
殿河内定屋ノ前遺跡	SI9	母屋桁?	ケヤキ	1	常・高	弥生時代中期後葉(IV-2・3)
殿河内定屋ノ前遺跡	SI9	垂木	クスノキ科	1	常・高	弥生時代中期後葉(IV-2・3)
殿河内定屋ノ前遺跡	SI9	梁・桁?	カヤ	1	常・高	弥生時代中期後葉(IV-2・3)
殿河内定屋ノ前遺跡	SI9	垂木	クリ	2	落・高	弥生時代中期後葉(IV-2・3)
殿河内定屋ノ前遺跡	SI9	不明	ケヤキ	1	常・高	弥生時代中期後葉(IV-2・3)
茶畑第1遺跡	竪穴住居9	木製蓋か高杯	ケヤキ	1	落・高	弥生時代中期後葉(IV-3)

が考えられ、北側調査区外に竪穴建物が隣接する可能性がある。

居住域が形成されなくなり、時間的に間隔が空いたV-3様式期には、おそらく墓域が造られていたものと推定され、当遺跡では、集落域から墓域への変遷が考えられる。

6 焼失住居について

IV-3様式期のSI3・9は焼失住居であった。SI3では、部材を特定できる資料が少なかったのであるが、概ね垂木と考えられる。樹種同定の結果、ヒノキ、スダジイ、モクレン属、クスノキ科、クリ、ヤマグワが使用されていることが判明した。SI9では、部材が特定できたものに垂木ではクリ、スダジイ、クスノキ科、ニガキが、梁桁と考えられるものにカヤ、ケヤキが使用されていた。

弥生時代中期(II様式からIV-3様式期)において、県内部で検出された焼失住居の炭化材樹種同定結果を見ると(表75・76)、クリ、クスノキ、スダジイなどの高木となる樹種が多用されていることがわかる。殿河内定屋ノ前遺跡で確認された焼失住居の使用樹種についてもこの傾向が窺え、この時期の住居の構造材として選択的に使用されたものといえよう。

参考文献

濱田竜彦2003「伯耆地域における弥生時代中期～古墳時代前期の集落構造」『日本考古学協会2003滋賀大会資料集』日本考古学協会2003滋賀大会実行委員会

第3節 殿河内定屋ノ前遺跡の石器組成について

殿河内定屋ノ前遺跡では、前掲の図化した石製品のほかにも、多くの石器片と、剥片、チップ、石核などの残滓類が出土している。ここでは、図化した石製品を除く石器片および残滓類の石材と器種についてまとめておきたい。

まず、石材についてみてみたい。本遺跡で出土した、石器の製品や剥片、石核など、対象とする石器小片の総数321点のうち、サヌカイトを主体とする硬質安山岩(An)と軟質／粗粒安山岩(AnC)などの安山岩が全体の77.6%(249点)を占めていた。これに対して黒曜石(Ob)は、全体の20.9%(67点)を占めていた。このように、本遺跡では、石材の大部分が安山岩と黒曜石から構成されており、なかでも安山岩が主として使用されていたことがわかる。

この傾向は、住居内における石器片の出土状況をみても同様といえる。残存状況が比較的良好で、埋土中から多くの石器片が出土している住居跡(SI1～4・9・10)における、総石器片中の安山岩の比率をみてみよう。SI1では96.2%(総53点)、SI2が91.2%(総34点)、SI3が100%(総11点)、SI4が70%(総30点)、SI9が89.5%(総38点)、SI10が100%(総11点)であった。これは、図化した石製品を加えても大きく変わらないことから、本遺跡では、石材として安山岩を主として使用していたといえる。

次に、石器や剥片の組成についてみてみたい。主要な石製品を除く小片のみではあるが、製品の種類がわかる石器片では、石鏃(AH)およびその未製品(AHBk)が多く、用途不明のクサビ形石器(PE)およびその削片(PESp)を除く石製品総数24点のうち、50%(12点)を占めている。その他、スクレイパー(Sc)や石錐(Dr)等も出土している。

しかし、石器小片の大部分は剥片(FI)やチップ(Ch)といった残滓類であり、石器片総数の86.6%(278点)を占めている。その中には、加工痕のある剥片(RF)や使用痕のある剥片(UF)も含まれており、石器を再加工して再利用した状況が推定される。また、住居内における石器片総数に含まれる残滓類の割合をみても、SI1が94.3%(50点)、SI2が88.2%(30点)、SI3が90.9%(10点)、SI4が96.7%(29点)、SI9が89.5%(34点)、SI10が100%(11点)と、圧倒的に多くの石器片が残滓類である。なお、SK32からは碧玉の石核(S58)が、SK39からは黒曜石の石核(Cr)が、3区遺構外から瑪瑙の石核が出土している。このように、住居内から多くの石器の残滓が出土することは、出土位置が住居床面か埋土中かによっても異なるだろうが、日常的に住居内またはその周辺において、石材を加工し、図化したような石製品の製作をおこなっていた状況がうかがえる。そして、石製品としては、遺跡内から石鏃や石槍などの狩猟具、石斧などの伐採具、敲石や磨石、スクレイパーなどの加工具、石錘などの漁労具のように、日常生活で用いられる多種多様な石器が出土している。

さらに、石材の産地については、蛍光X線分析法による産地同定の結果、安山岩(サヌカイト)が金山産、黒曜石が隠岐の久見産であることが明らかにされている。これらの石材は、遺跡周辺では入手できず、何らかの交流をとおして入手されたものとみられるが、その際、いわゆる大型石包丁についても踏まえておく必要がある。本遺跡では、2・3区の包含層中や石列内などから安山岩製の大型石包丁が出土しているが、S101はコーングロスが残ることから伐採具や加工具として使用されたとみられる。しかし、S106やS107では小片となっており、使用後はその他の石製品に再利用された可能性もある。すなわち、遠方から原石を入手する際に、安山岩の性質を利用して薄く荒割されたもの

が運搬され、それが大型石包丁やその他の石製品に加工され使用された後、さらに大型石包丁はその他の石製品に再加工された可能性がある。

以上のように、本遺跡から出土した多数の剥片やチップ、石核などの残滓類、石鏃の未製品のほか、大型石包丁のような石材の存在から、本遺跡では安山岩を主とする石材を入手し、集落内においてそれらを加工し、各種の石製品の製作をおこない使用していたと考えられよう。

表77 石材と石器組成との関係

遺跡全体

石材	製品						剥片				石核 Cr	磨製石器	その他・不明	総数
	AH	AHBk	Dr	Sc	PE	PESp	Fl	Ch	RF	UF				
An	5	3	1	5	5	3	157	33	12	1			3	228
An(非サヌカイト)							7	2					1	10
AnC							7					3	1	11
Ob	4			1	2	1	42	14	1		1		1	67
Sh												1		1
Cc							2							2
瑪瑙											1			1
緑色片岩												1		1
総数	9	3	1	6	7	4	215	49	13	1	2	5	6	321

〔石材〕 An：硬質安山岩(=サヌカイト)、AnC：軟質／粗粒安山岩、Ob：黒曜石、Sh：頁岩、Cc：玉髄
 〔器種〕 AH：石鏃、AHBk：石鏃未製品、Dr：石鏃、Sc：スクレイパー、PE：クサビ形石器、PESp：クサビ形石器削片、Fl：剥片、Ch：チップ、RF：加工痕のあるFl、UF：使用痕のあるFl、Cr：石核、

SI 1

石材	製品	剥片				磨製石器	総数
	AHBk	Fl	Ch	RF	UF		
An	1	42	3	3	1		50
AnC						1	1
Ob		1					1
緑色片岩						1	1
総数	1	43	3	3	1	2	53

SI 2

石材	製品		剥片			総数
	Sc	PE	Fl	Ch	RF	
An		3	18	3	1	25
An(非サヌカイト)			5	1		6
Ob	1			2		3
総数	1	3	23	6	1	34

SI 3

石材	製品	剥片			総数
	PESp	Fl	Ch	RF	
An	1	7	2	1	11
総数	1	7	2	1	11

SI 4

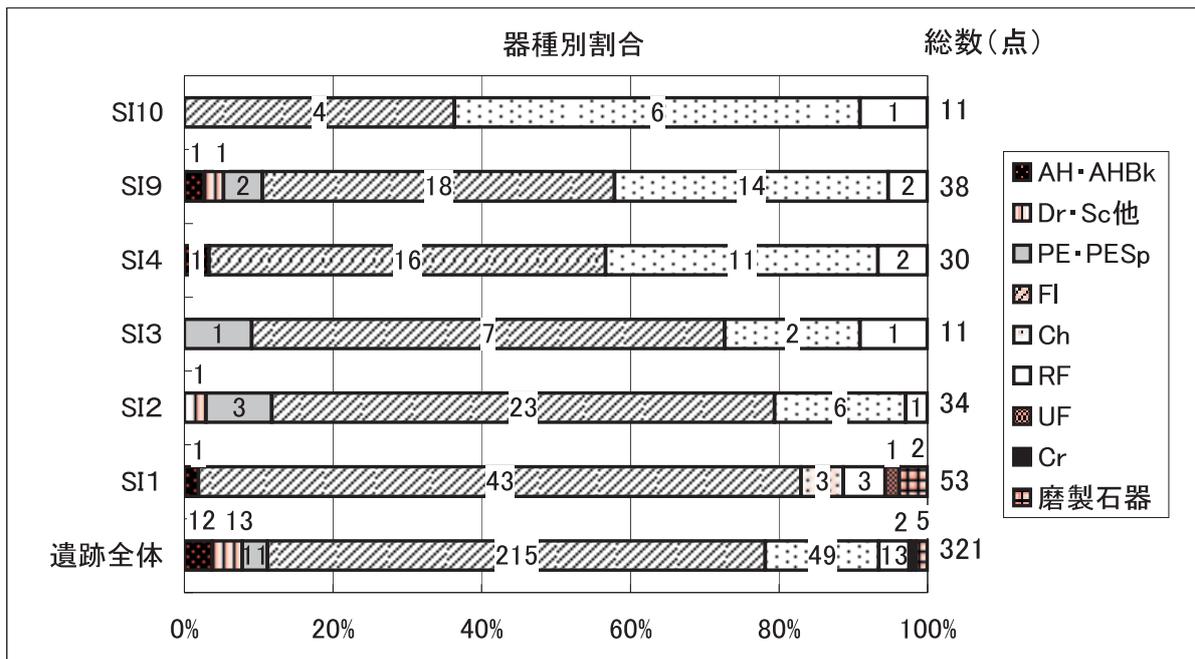
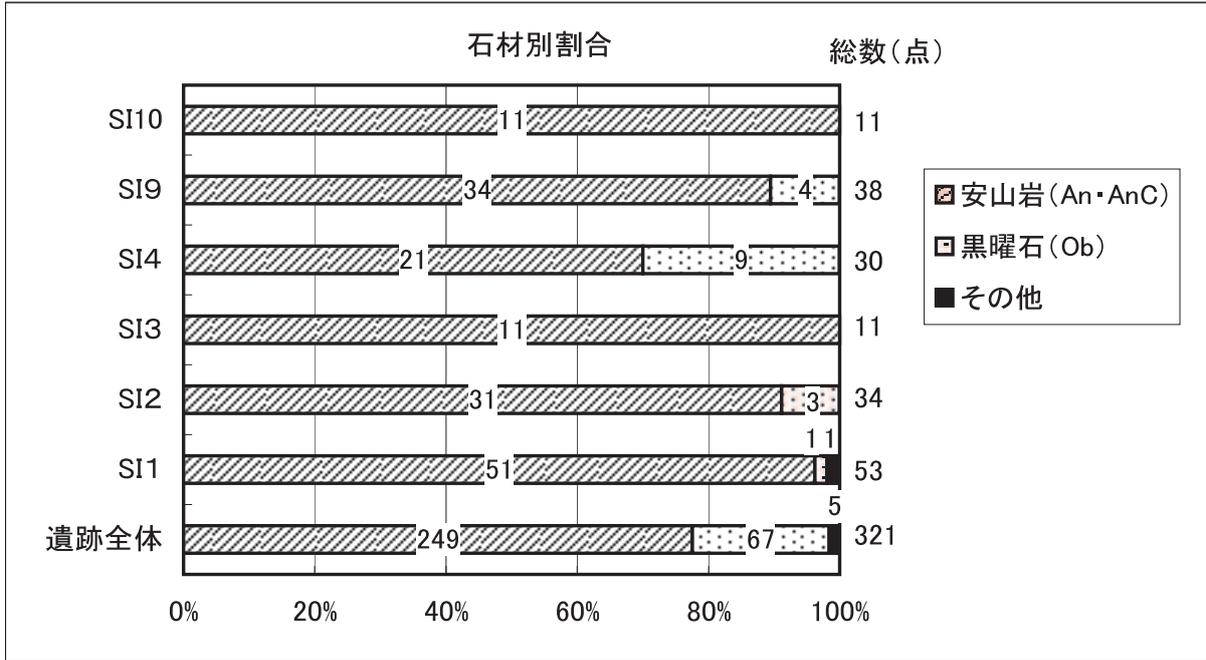
石材	製品		剥片			総数
	AHBk	Fl	Ch	RF		
An	1	13	4	2	20	
An(非サヌカイト)			1		1	
Ob		3	6		9	
総数	1	16	11	2	30	

SI 9

石材	製品				剥片			総数
	AHBk	Dr	PE	Fl	Ch	RF		
An	1	1	1	15	13	2	33	
An(非サヌカイト)				1			1	
Ob				1	2	1	4	
総数	1	1	2	18	14	2	38	

SI 10

石材	剥片			総数
	Fl	Ch	RF	
An	4	6	1	11
総数	4	6	1	11



第217図 石材別・器種別割合

表78 石器計測表(1)

調査区	グリッド	遺構名	取り上げ番号	石材	器種	点数	重量(g)
1区		SI1	72	A n	R F	1	0.54
1区		SI1	326	A n	F l	2	3.63
1区		SI1	326	O b	F l	1	0.39
1区		SI1	345	A n	F l	4	3.75
1区		SI1	345	A n	A H B K	1	0.38
1区		SI1	489	A n	F l	16	5.96
1区		SI1	489	A n	R F	2	1.52
1区		SI1	489	A n	C h	2	0.15
1区		SI1	490	A n	F l	1	0.47
1区		SI1	491	A n	F l	3	2.00
1区		SI1	491	緑色片岩	磨製石器片 (石庖丁か)	1	0.60
1区		SI1	580	A n	F l	5	2.74
1区		SI1	580	A n C	磨製石器 (斧か)のF l	1	3.51
1区		SI1	699	A n	F l	1	0.38
1区		SI1	700	A n	F l	2	0.42
1区		SI1	709	A n	F l	1	0.75
1区		SI1	711	A n	F l	1	0.43
1区		SI1	711	A n	F l (磨滅あり)	1	0.46
1区		SI1	713	A n	U F	1	4.49
1区		SI1	724	A n	F l	2	0.62
1区		SI1	726	A n	F l	2	1.21
1区		SI1	726	A n	C h	1	0.12
1区		SI1	813	A n	F l	1	0.34
1区		SI2	476	A n	F l	3	2.37
1区		SI2	485	A n	F l	3	1.02
1区		SI2	485	A n	P E	1	5.35
1区		SI2	485	O b	C h	1	0.03
1区		SI2	492	A n	F l	2	0.87
1区		SI2	492	O b	S c	1	0.40
1区		SI2	561	A n	F l	10	4.52
1区		SI2	561	A n	C h	3	0.22
1区		SI2	561	A n	P E (破片)	2	3.74
1区		SI2	561	A n	R F	1	0.58
1区		SI2	561	A n (非サヌカイト)	F l	4	2.24
1区		SI2	561	A n (非サヌカイト)	C h	1	0.09
1区		SI2	561	O b	C h	1	0.11
1区		SI2	592	A n (非サヌカイト)	F l	1	0.79
1区		SD1	1557	A n	R F	1	1.95
1区		SK1	478	A n	C h	1	0.06
1区		SK27	1154	A n (非サヌカイト)	F l	1	2.84
1区		5群-P1	230	A n	F l	1	0.89
1区	B2		184	O b	F l	1	0.61
1区	E5		325	A n	F l	1	0.23
1区	E5		325	A n	A H	1	0.19
1区	E5		325	A n (サヌカイト)	F l (磨製石器片)	1	0.07
1区	E6		327	O b	F l	1	1.10
1区	F5		332	A n	P E S p	1	1.68
1区	F6		480	A n	A H	1	0.80
1区	F5		797	A n	F l	1	0.10
1区	F4		841	A n	P E	1	1.21
1区	F4		841	A n	S c	1	2.34
1区	F5		880	O b	R F	1	1.44
1区	E3		1420	A n	F l	1	0.38

表79 石器計測表(2)

調査区	グリッド	遺構名	取り上げ番号	石材	器種	点数	重量(g)
1区	F3		1563	An	Fl	1	0.96
1区	B4		1889	Ob	Fl	7	7.43
2区		SI3	374	An	Fl	4	4.30
2区		SI3	374	An	RF	1	2.86
2区		SI3	375	An	Fl	3	2.94
2区		SI3	375	An	Ch	2	0.18
2区		SI3	165	An	PESp	1	5.26
2区		SI4	288	An	Fl	8	8.97
2区		SI4	288	An	Ch	2	0.06
2区		SI4	288	An	RF	2	2.21
2区		SI4	288	An	AH(加工中)	1	
2区		SI4	288	Ob	Fl	1	0.21
2区		SI4	288	Ob	Ch	3	0.08
2区		SI4	386	An	Fl	1	1.44
2区		SI4	400	An	Fl	1	0.24
2区		SI4	471	An	Fl	1	0.28
2区		SI4	530	Ob	Fl	1	0.11
2区		SI4	541	An	Ch	2	0.12
2区		SI4	541	An (非サヌカイト)	Ch	1	0.07
2区		SI4	541	Ob	Ch	3	0.05
2区		SI4	549	An	Fl	1	2.55
2区		SI4	768	An	Fl	1	0.09
2区		SI4	845	Ob	Fl	1	1.15
2区		SI10	1492	An	Ch	2	0.13
2区		SI10	1512	An	Fl	3	2.10
2区		SI10	1512	An	Ch	4	0.27
2区		SI10	1512	AnC	Fl	1	0.56
2区		SI10	1514	An	RF	1	0.54
2区		SK6	1423	Ob	Fl	1	0.22
2区		SK25	1508	AnC	Fl	1	1.22
2区		SK28	959	An	Fl	1	1.10
2区		SK28	959	An	AH	1	
2区		SK28	959	An	Sc	1	
2区		SK28	1589	Ob	Fl	1	0.15
2区		SI9	854	Ob	PE	1	1.78
2区		SI9	878	An	Ch	1	0.10
2区		SI9	878	An	PE	1	3.39
2区		SI9	971	An	Dr	1	0.58
2区		SI9	971	An (サヌカイト・ 風化著しい・古 い?)	RF	1	1.43
2区		SI9	972	An	Fl	3	3.50
2区		SI9	972	An (非サヌカイト か・硬質)	Fl	1	0.78
2区		SI9	972	An	AHBK	2	1.61
2区		SI9	1042	Ob	Ch	1	0.02
2区		SI9	1088	An	Fl	1	0.40
2区		SI9	1283	An	Ch	1	0.07
2区		SI9	1289	An	Fl	1	0.26
2区		SI9	1306	An	Fl	1	0.55
2区		SI9	1385	Ob	Fl	1	0.07
2区		SI9	1386	An	Fl	1	0.38
2区		SI9	1387	An	Fl	1	0.23
2区		SI9	1389	An	Fl	1	0.08
2区		SI9	1390	An	Ch	1	0.05
2区		SI9	1391	An	Ch	1	0.13
2区		SI9	1392	Ob	Fl	1	4.38

表80 石器計測表(3)

調査区	グリッド	遺構名	取り上げ番号	石材	器種	点数	重量(g)
2区		SI9	1445	A n	F l	1	0.46
2区		SI9	1451	A n	F l	1	0.23
2区		SI9	1453	A n	F l	1	0.19
2区		SI9	1460	A n	F l	1	0.32
2区		SI9	1461	A n	R F	1	0.62
2区		SI9	1473	A n	C h	1	0.02
2区		SI9	1474	A n	C h	1	0.05
2区		SI9	1475	A n	C h	1	0.02
2区		SI9	1476	A n	C h	1	0.07
2区		SI9	1477	A n	F l	1	2.85
2区		SI9	1478	A n	F l	1	0.52
2区		SI9	1479	A n	F l	1	0.37
2区		SI9	1494	A n	C h	5	0.05
2区		SI9	1497	A n	F l	1	0.26
2区		SI9周辺	1594	A n	F l	1	0.88
2区		SI9周辺	1730	A n C	F l (破片)	5	4.44
2区		SK4・SS1検出面	223	O b	F l	1	1.19
2区		SS1	356	A n	F l	1	0.96
2区		SS1	357	A n	F l	1	0.62
2区		SS1	357	O b	C h	2	0.10
2区		ピット群1 P14	1714	A n	F l	1	0.87
2区		ピット群4 P28	1377	A n	R F	1	0.56
2区	G11		169	O b	F l	1	1.59
2区	F12		196	A n	F l	1	0.72
2区	F12		196	A n	A H	1	
2区	G13		206	A n	F l	1	3.54
2区	F12		222	A n C	砥石破片	1	2.88
2区	F12		271	A n	F l	1	0.34
2区	F12		278	A n	F l	1	3.92
2区	F12		278	A n (非サヌカイト)	不明・磨滅あり	1	0.85
2区	F12		278	堆積岩 (砂岩～シルト岩)	砥石	1	9.15
2区	E11		664	A n	F l	1	1.71
2区	F14		741	A n	P E S p	1	2.75
2区	F13		792	O b	分割礫	1	7.06
2区	F13		793	A n	F l	2	1.27
2区	G10		829	O b	F l	1	0.03
2区	G12		851	O b	F l	1	7.26
2区	G12		977	O b	F l	1	0.32
2区	F12		979	A n	F l	2	1.04
2区	F12		979	O b	F l	1	0.78
2区	F12		979	O b	A H	2	
2区	G12		1133	A n	F l	3	1.21
2区	F12		1139	A n	F l	1	0.72
2区	G12		1165	A n	F l	4	1.21
2区	F12		1166	O b	F l	1	0.46
2区	F12		1270	O b	F l	2	1.89
2区	G12		1316	A n	S c	1	2.89
2区	E13		1321	O b	F l	1	0.54
2区	G10		1472	A n	F l	1	2.91
2区	F10		1711	A n	F l	1	0.20
2区	F11		1746	O b	F l	1	3.13
2区	F14		365	A n	F l	1	1.20
2区	E15		1679	A n C	(大形)石庖丁片		1.19
2区	E14		123	O b	F l	1	2.31

表81 石器計測表(4)

調査区	グリッド	遺構名	取り上げ番号	石材	器種	点数	重量(g)
2区	G13		131	A n	石器破片 (楔またはS c)	2	6.04
2区	G13		131	A n	S c (石庖丁状石器)	1	19.31
2区	F11		159	A n	F l	1	0.72
2区	G11		163	A n	F l	2	5.05
2区	G11		163	A n	A H	1	0.96
3区		SK 8	1738	A n	F l	1	0.20
3区		SK14	2094	A n	S c	1	2.95
3区		SK35	1836	A n	F l	1	0.26
3区		SK39	1877	O b	C r	1	3.96
3区		土器溜り3	1941	O b	A H(破片)	1	0.12
3区	D12		1791	メノウ	C r	1	13.10
3区	B14		1802	A n	F l	1	1.38
3区	D15		1805	A n	F l	1	0.39
3区	C13		1813	A n	F l	1	0.51
3区	D12		1917	A n	F l	1	1.00
3区	C12		1927	A n	F l	1	0.54
3区	C13		2072	O b	P E S p	1	1.28
3区	C13		2073	O b	A H	1	0.42
4区		SI 5	948	A n	F l	1	0.62
4区		SI 5	949	O b	F l	1	3.62
4区		SI 6	986	A n	F l	1	0.14
4区		SI 6	1185	A n	F l	1	0.38
4区		SK30	1205	A n	F l	1	0.44
4区		SB 4-P 4	1365	O b	F l	1	0.69
4区		SX	144	O b	F l	1	0.39
4区		ピット群3 -P22	1985	A n	F l	1	0.93
4区	F16		59	O b	F l	1	0.96
4区	F16		1692	O b	C h	1	0.13
4区	B18		1949	A n	F l	1	0.39
4区	E18		47	O b	F l	1	1.53
4区	C19		95	C c	F l	1	1.28
4区	B19		110	O b	F l	1	0.29
4区	E17		118	A n	F l	1	0.94
4区	E18		151	O b	F l	1	0.10
4区	E18		151	C c	F l	1	0.20
4区	B19		155	O b	F l	1	0.34
4区	C20		482	A n	石器破片	1	1.10
4区	C19		484	A n	F l	2	3.57
4区	C16		897	A n	F l	1	0.84
4区	C16		897	A n	C h	1	0.04
4区	C16		897	O b	C h	1	0.01
4区	E20		1576	A n C	F l	1	5.35
4区	D20		1578	O b	P E	1	2.97
4区	C20		1579	O b	F l	1	2.75
4区	E17		1597	O b	F l	1	2.59
4区	B18		1638	A n	F l	3	1.65
4区	E16		1903	O b	C h	1	0.13
4区	C16		1920	A n	F l	1	0.26
4区	一括		1965	A n	F l	1	1.11
4区	D20		2003	O b	F l	1	0.17
4区	E20		2168	O b	F l	1	4.24
4区	B19		369	A n	F l	1	13.85
4区	E17		522	A n	F l	1	0.52
表採			976	A n	F l	2	0.58
表採			1353	O b	F l	1	0.26

第4節 殿河内定屋ノ前遺跡出土の分銅形土製品について

分銅形土製品は、これまで岡山県内で180点以上が出土し群を抜いていたが、鳥取県内でも青谷上寺地遺跡で59点が出土したのをはじめ、小片を含めると現在までに140点以上が出土しており、岡山県の出土数に次いでいる。鳥取県内出土の分銅形土製品については、古くは清水真一氏や県埋蔵文化財センターによる集成があり(清水1984; 鳥取県埋蔵文化財センター1987)、近年では山陰地方全域を対象に集成された(勝部・松本他2000)。それ以降も、青谷上寺地遺跡のほか、とりわけ山陰道建設にともなう県内中西部の発掘調査において多くの資料が追加されており、殿河内定屋ノ前遺跡でも5点が出土した。ここでは、新たに追加された資料をまとめるとともに、本遺跡から出土した分銅形土製品の評価もおこないたい。

なお、紙面の都合上、実測図については割愛し、表および引用文献を示すのみとした。また、不十分な個別資料の計測値や文様の特徴等についてもまとめておいた。

さて、集成した資料をもとに、分銅形土製品の特徴についての所見を述べたい。すでに述べられているとおり(鳥取県教育文化財団2002)、文様は基本的に表面のみに刺突文や沈線文で施す、大きさに大・中・小があり大型・中型品の装飾性が高い、小型のものは穿孔しない場合が多い、縦断面は表面側にふくらむ形態が多い、などの点は追認できるところである。

詳細な分類をおこなったわけではないが、これらの所見に付け加えるならば、まず文様については、刺突文と沈線文のほか、刺突や沈線による弧文・重弧文や竹管文、貝殻腹縁による山形文などがあり、施文部位は、眉毛表現をもつものを除けば、表面の縁辺部(上縁あるいは下縁)とくびれ部に施文する場合が多い。

次に、平面形態については、頭部形態が i) 円弧に近いもの、ii) やや扁平で先端が尖るもの、iii) 隅丸長方形に近いもの、というように3種類程度に分けられるほか、くびれ部形状からも、ア) くびれ部が明瞭に円弧を描き、頭部の先端が内湾するもの、イ) くびれ部の円弧が緩く、頭部の先端が内湾せず水平になるもの、ウ) くびれが弱く、全体に撥形を呈するもの、の3種類程度に分けられる。縦断面の形態についても、表面側にふくらむ形態(凸レンズ状)のほか、表裏両面がふくらむもの(紡錘状)、平板なもの(板状)の少なくとも3種類がある。

さらに、穿孔は、側面から裏面に向けて入れるものが大半であり、表面から裏面に向けて入れるものでも、表面縁辺部に寄せて入れられている。すなわち、すでに指摘されるとおり、表面の文様が見えるよう意識した配置であった可能性が高い。

これらの所見をもとに、本遺跡出土の分銅形土製品をみると、残存状況のよい3点については、大きく中型品(64・411)と小型品(438)がみられる。平面形態は、64が頭部形態 i)・くびれ部ア)、411が頭部形態 ii)・くびれ部ア)、438が頭部形態 ii)・くびれ部ウ)に分けられ、断面形態は、板状の可能性のあるもの(379)を除いて、いずれも凸レンズ状を呈する。文様は、縁辺部およびくびれ部に刺突文と沈線文で施文するもの(64・379?)と、刺突文のみで施文するもの(411・438)があり、64は刺突による弧文を施し、438は側面にも刺突文を施す。このように、個体ごとの特徴に差はみられるものの、概ね県内の他遺跡でみられる分銅形土製品と共通する傾向をもつといえよう。

時期については、岡山県の資料は分類や編年もおこなわれているが(東1971; 1977)、県内資料についても多く蓄積されてきており、今後良好な資料を用いて分類と編年を再検討する必要がある。し

第5章 総括

かし、本報告では土器との共伴関係などから、大雑把な傾向を述べるに止めたい。本遺跡出土例は概ね中期中葉から後葉のもの(64・361・379)と後期中葉のもの(411・438)に分けられる。前者の文様は刺突文・沈線文などで丁寧な傾向があり、頭部形態 i)・くびれ部ア)のような均整のとれた上下対称の円形を呈するが、後者では文様・形態ともやや粗雑になり、くずれる傾向がある。多くの遺跡において、中期中葉から後葉に分銅形土製品を用いた祭祀が盛行するが、後期になって衰退するとともに、形態や文様も粗雑化・形骸化する可能性もあろう。

【参考文献】

- 東 潮1971「分銅形土製品の研究(1)」『古代吉備』第7集 古代吉備研究会
東 潮1977「東高月遺跡群出土の分銅形土製品」『用木山遺跡』岡山県山陽町教育委員会
財団法人鳥取県教育文化財団2002「青谷上寺地遺跡4」鳥取県教育文化財団調査報告書74
財団法人鳥取県教育文化財団2004「名和乙ヶ谷遺跡 名和小谷遺跡」鳥取県教育文化財団調査報告書95
鳥根県古代文化センター(勝部智明・松本岩雄・守岡正司)2000「山陰地方分銅形土製品集成」『古代文化研究』第8号
清水真一1984「鳥取県内出土分銅形土製品一覧」『鳥取埋文ニュース』7
鳥取県埋蔵文化財センター1987「鳥取県内出土分銅形土製品一覧」『弥生時代の鳥取県』

【引用文献】(表と対応する)

1. 鳥取県教育文化財団1981「布勢第2遺跡発掘調査報告書」
2. 鳥取県埋蔵文化財センター1987「弥生時代の鳥取県」
3. 鳥根県古代文化センター(勝部智明・松本岩雄・守岡正司)2000「山陰地方分銅形土製品集成」『古代文化研究』第8号
4. 財団法人鳥取市教育福祉振興会1999「防己尾城跡 岩本第2遺跡」
5. 船岡町教育委員会1981「丸山遺跡発掘調査報告書」
6. 財団法人鳥取県教育文化財団2002「青谷上寺地遺跡4」鳥取県教育文化財団調査報告書74
7. 鳥取県埋蔵文化財センター2010「青谷上寺地遺跡11」鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書31
8. 倉吉市1996「新編倉吉市史」第1巻 古代編
9. 倉吉市教育委員会1980「上米積遺跡群発掘調査報告書」Ⅱ
10. 財団法人鳥取県教育文化財団2005「化粧川遺跡」鳥取県教育文化財団調査報告書98
11. 鳥取県埋蔵文化財センター2007「梅田萱峯遺跡Ⅱ」鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書16
12. 鳥取県埋蔵文化財センター2008「梅田萱峯遺跡Ⅳ」鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書22
13. 鳥取県埋蔵文化財センター2009「梅田萱峯遺跡Ⅴ」鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書28
14. 中山町教育委員会2005「退休寺遺跡 退休寺飛渡り遺跡」中山町文化財調査報告書第29集
15. 財団法人鳥取県教育文化財団2004「名和乙ヶ谷遺跡 名和小谷遺跡」鳥取県教育文化財団調査報告書95
16. 財団法人鳥取県教育文化財団2004「茶畑第1遺跡」鳥取県教育文化財団調査報告書93
17. 財団法人鳥取県教育文化財団2002「茶畑六反田遺跡 押平弘法堂遺跡 富岡播磨洞遺跡 安原溝尻遺跡」鳥取県教育文化財団調査報告書77
18. 名和町教育委員会1999「茶畑山道遺跡」名和町文化財調査報告書第24集
19. 大山町教育委員会1979「新田原遺跡」大山町埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ
20. 大山町教育委員会1979「鳥取県大山町塚田遺跡」大山町埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅴ
21. 大山町教育委員会1981「鳥取県大山町原・蔵岡第一・蔵岡第二・上野第二遺跡」
22. 妻木晩田遺跡事務所2006「妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2005」
23. 鳥取県教育文化財団1984「久古第3遺跡・貝田原遺跡・林ヶ原遺跡発掘調査報告書」
24. 会見町教育委員会・岸本町教育委員会1992「越敷山遺跡群」
25. 鳥取県教育文化財団1995「鶴田東山遺跡・鶴田合清水遺跡」
26. 鳥取県教育委員会1976「青木遺跡群発掘調査報告書」Ⅰ
27. 鳥取県教育文化財団1985「東宗像遺跡」
28. 財団法人鳥取県教育文化財団1998「米子城跡21遺跡」鳥取県教育文化財団調査報告書56
29. 米子市教育委員会1993「新山遺跡群 奥陰田遺跡群調査概報」
30. 財団法人米子市教育文化財団1996「新山山田遺跡(6区)調査概報」
31. 財団法人米子市教育文化財団1996「錦町第一遺跡」
32. 米子市教育委員会他1986「目久美遺跡」
33. 財団法人鳥取県教育文化財団2002「古市遺跡群3 古市宮ノ谷山遺跡 古市古墳群」鳥取県教育文化財団調査報告書78
34. 財団法人鳥取県教育文化財団2003「橋本遺跡群 橋本漆原山遺跡 橋本徳道遺跡」鳥取県教育文化財団調査報告書85
35. 会見町教育委員会1993「天王原遺跡発掘調査報告書」会見町文化財調査報告書Ⅹ
36. 鳥取県教育文化財団2001「青谷上寺地遺跡3」鳥取県教育文化財団調査報告書72

第4節 殿河内定屋ノ前遺跡出土の分銅形土製品について

表83 鳥取県内出土の分銅形土製品一覧表(1)

No.	遺跡名	所在地	出土地点	長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	断面形状	文様の特徴	穿孔	赤彩	残存率	時期	文献	報告書中のNo.
1	布施第2遺跡	鳥取市布施	池状遺構	△3.6	△8.0	△1.4	?	弧文・刺突文・沈線文	×	×	1/2弱	中期後葉	1	
2	塞ノ谷遺跡	鳥取市高住	表採	△3.3	△4.6	0.7	紡錘状	刺突文	×	×	1/2弱	中期後葉	3	文献3図5
3	岩本第2遺跡 (計2点)	鳥取市金沢	SI-01 SD01	△3.2	4.6	1.3	板状	刺突文	×	×	1/2	中期後葉	4	第20図53
4			SI-01	△3.2	△5.0	△1.1	凸レンズ状	刺突文	○	×	1/2	中期後葉		第30図2
5	丸山遺跡	八頭郡八頭町船岡	Tトレンチ	△4.8	△5.6	1.4	板状	刺突文・沈線文	×	×	1/4弱	中期後葉?	5	
6	青谷上寺地遺跡 (計59点) ※文献36の資料は一部制変させていた。	鳥取市青谷町青谷	7区L～M層	△9.9	△9.8	1.6	凸レンズ状	刺突文。眉毛表現	○	×	1/2弱	前期末～中期後葉	6	第126図8
7			4区②層相当	△10.5	△8.2	1.8	微凸レンズ状	重弧文・刺突文・沈線文。眉毛表現	○	×	1/4強	後期～古墳前期初頭		第126図9
8			不明	△7.2	△9.9	1.4	凸レンズ状	重弧文・刺突文・沈線文	○	×	1/2弱	不明		第126図10
9			5区②層	△7.6	10.6	1.7	凸レンズ状	刺突文・沈線文・重弧文	○	○	1/2	後期～古墳前期初頭		第127図11
10			6区③層	△8.3	△10.4	3.0	紡錘状	刺突文・沈線文。	○	×	1/2	中期中葉～後葉		第127図12
11			4区SD11	△6.8	△7.1	1.6	凸レンズ状	刺突文・重弧文	×	○	1/4強	後期初頭～後葉		第127図13
12			4区③層相当	△5.4	△6.2	1.5	微凸レンズ状	刺突文	○	×	1/2弱	中期中葉～後葉		第127図14
13			7区N層	△6.8	△11.0	1.9	板状	刺突文・沈線文	×	×	1/2弱	中期中葉		第128図15
14			4区③～⑥層相当	△6.2	△5.3	1.5	微凸レンズ状	波状文?・刺突文・沈線文	○	×	1/4弱	前期末～中期後葉		第128図16
15			4区③層相当	△4.5	8.8	1.5	板状	刺突文	○	×	1/2	中期中葉～後葉		第128図17
16			4区	△5.4	△6.8	1.3	凸レンズ状	沈線文・刺突文	○	○	1/2弱	不明		第128図18
17			4区①層	△3.5	△4.6	0.9	板状	刺突文	○	×	1/2弱	中期～後期		第128図19
18			7区L～M層	△4.9	△4.2	1.2	微凸レンズ状	刺突文	○	×	1/4弱	前期末～中期後葉		第128図20
19			7区J層	△5.3	△7.5	2.0	凸レンズ状	刺突文	○	×	1/2	中期後葉		第128図21
20			4区③～⑥層相当	△4.4	△5.3	1.0	板状	刺突文	○	×	1/4	前期末～中期後葉		第128図22
21			7区H層	△3.3	△3.4	1.4	?	刺突文	○	×	小片	後期		第128図23
22			5区①層	△6.3	△8.6	1.4	板状	刺突文	×	×	1/2弱	中期～後期		第129図24
23			6区③層	△4.9	△5.7	1.4	板状	刺突文・沈線文	×	×	1/2弱	中期中葉～後葉		第129図25
24			6区③層	△3.8	△5.5	1.5	凸レンズ状	刺突文	×	○	1/2弱	中期中葉～後葉		第129図26
25			7区L層	△5.6	△7.6	1.9	微凸レンズ状	刺突文	×	×	1/2	中期後葉		第129図27
26			5区②層	△5.1	△4.8	2.0	凸レンズ状	刺突文・沈線文	×	×	1/2弱	後期～古墳前期初頭		第129図28
27			7区H層	△3.9	6.5	1.5	微凸レンズ状	刺突文	×	×	1/2	後期		第129図29
28			4区①層	△3.2	△4.6	0.9	板状	刺突文	×	○	1/2弱	中期～後期		第129図30
29			7区I～J層	△3.8	△3.1	1.1	板状	刺突文	×	×	1/4弱	中期後葉		第129図31
30			5区①～②層	△3.6	△4.4	1.5	?	刺突文	×	○	1/4弱	中期～後期		第129図32
31			不明	△5.3	6.2	1.4	微紡錘状	なし	×	×	1/2	不明		第129図33
32			5区②層	△3.8	4.4	1.5	板状	刺突文	○	×	1/2	後期～古墳前期初頭		第129図34
33			7区SD27	△3.2	△2.2	1.2	凹状	刺突文	○	×	1/4	中期後葉		第129図35
34			7区I層	△5.4	6.4	1.6	板状	刺突文・沈線文	○	×	1/2	中期後葉		第130図36
35			7区SD27	△5.8	7.7	1.3	板状	刺突文	○	×	1/2	中期後葉		第130図37
36			5区②層	△1.9	△4.0	1.2	?	刺突文	○	×	小片	後期～古墳前期初頭		第130図38
37	7区K層	△3.2	△3.7	1.4	?	刺突文	○	○	小片	中期後葉	第130図39			
38	7区I層	△4.4	△4.0	1.4	?	刺突文	○	×	小片	中期後葉	第130図40			
39	5区③層	△3.5	△3.3	1.1	紡錘状	なし	○	×	1/2弱	中期中葉～後葉	第130図41			
40	SD11下層	△4.7	△5.1	△1.6	凸レンズ状	櫛描文。	×	×	1/4強	前期末～中期後葉	第20図CP 1			
41	C層	5.8	△5.2	1.6	紡錘状	刺突文	×	×	ほぼ完形	前期末～中期後葉	7 第63図CP25			
42	不明	△4.2	△4.4	△1.1	逆凸レンズ状	刺突文	×	×	1/4強	前期末～中期後葉	第82図CP34			
43	2区V 2層	△4.8	6.7	1.1	板状	刺突文(両面)	○	×	1/2		第87図 1			
44	2区II層	△5.2	7.8	0.8	凸レンズ状	刺突文・沈線文	○	○	1/2		第87図 9			
45	2区V 2層	△5.7	8.3	0.7	凸レンズ状	刺突文	×	×	1/2弱		第87図10			
46	4区I層	△4.7	△6.3	1.1	凸レンズ状	刺突文。眉毛表現	○	○	1/2弱		第88図11			
47	1区I層	△5.4	7.2	△1.3	板状	刺突文	○	×	1/2弱		第88図15			
48	2区V 2層	△5.5	8.5	1.8	凸レンズ状	沈線文	○	×	1/2		第88図16			
49	2区II層	5.2	4.7	0.9	凸レンズ状	刺突文	○	×	ほぼ完形		第88図17			
50	2区I層	△3.5	4.7	0.9	微凸レンズ状	刺突文(両面)	×	×	1/2		第89図20			
51	中田遺跡	倉吉市中田	表採	△5.2	△6.3	△1.5	凸レンズ状	刺突文・沈線文	○	×	1/2弱	中期後葉	図3-26-13	
52	後中尾遺跡 (計9点)	倉吉市上米積	住居跡	△6.9	△6.2	△1.4	?	重弧文・刺突文・沈線文。眉毛表現	○	×	1/4弱	中期	8	図3-26-1
53			住居跡	△3.0	5	1.1	凸レンズ状	刺突文・沈線文	×	×	1/2	中期	図3-26-2	
54			住居跡	△2.8	△2.5	△1.8	凸レンズ状	刺突文	×	×	1/4弱	中期	図3-26-3	
55			住居跡	△2.4	△3.0	△1.2	?	刺突文	×	×	1/4弱	中期	図3-26-4	
56			住居跡	△4.4	△5.4	1.4	板状	なし	○	×	1/2弱	中期	図3-26-5	
57			住居跡	△3.3	△3.8	1.0	板状	顔表現	○	×	1/2弱	中期	図3-26-6	
58			環壕	△3.7	△5.1	1.4	凸レンズ状	刺突文	○	×	1/2	中期～後期	図3-26-7	
59			環壕	△2.4	△1.4	1.0	微凸レンズ状	刺突文	○	×	小片	中期～後期	図3-26-8	
60			住居跡	△4.0	△3.3	1.3	微凸レンズ状	刺突文	×	×	1/4弱	後期	図3-26-9	
61	下小垣遺跡	倉吉市上米積	表採	△6.9	△7.6	1.6	微凸レンズ状	刺突文・沈線文	×	×	1/4強	中期後葉	図3-26-11	
62	中曾根遺跡	倉吉市黒見	表採	△7.3	△9.3	1.4	板状	重弧文・刺突文・沈線文	○	×	1/2弱	中期中葉	図3-26-12	
63	ヒトダニ遺跡	倉吉市黒見	表採									?		
64	阿弥大寺遺跡	倉吉市下福田	1号住居跡	5.6	4.5	1.6	板状	顔(目・鼻・口・頬)表現。頬に穿孔	○	×	完形	後期前葉	9 第34図I12	

第5章 総括

表83 鳥取県内出土の分銅形土製品一覧表(2)

No.	遺跡名	所在地	出土地点	長さ(cm)	幅(cm)	最大厚(cm)	断面形状	文様の特徴	穿孔	赤彩	残存率	時期	文献	報告書中のNo.
65	化粧川遺跡	東伯郡琴浦町赤碓	SI1	4.4	△3.3	0.6	凸レンズ状	刺突文・沈線文	×	○	ほぼ完形	中期後葉	10	第14図Po6
66	梅田菅峯遺跡(計10点)	東伯郡琴浦町梅田他	SI1	△3.5	5.1	1.7	凸レンズ状か	刺突文	×	×	1/2	中期後葉	11	第86図229
67			SI4	△3.2	5.3	1.1	凸レンズ状か	刺突文	○	×	1/2	中期後葉		第86図228
68			SI26	△2.7	△2.8	1.1	?	刺突文	○	×	小片	中期後葉	第29図69	
69			SI26	△3.3	3.5	0.7	板状	沈線文	×	×	1/2強	中期後葉	第29図70	
70			SK91	△2.1	△3.3	1.1	凸レンズ状か	刺突文	○	○	1/2弱	中期後葉	第57図116	
71			4区包含層	△5.4	10.1	1.2	凸レンズ状	刺突文	×	○	1/2	中期後葉	第147図252	
72			4区黒褐色土層	△9.9	△9.9	1.5	凸レンズ状	刺突文・眉毛表現	○	○	1/2強	中期後葉	第147図253	
73			4区暗褐色土層	△4.4	△4.4	1.6	凸レンズ状	沈線文・刺突文	○	○	1/4強	中期後葉	第147図254	
74	4区表土	△4.6	△4.4	1.0	凸レンズ状か	刺突文	×	○	1/4	中期後葉	第147図255			
75	SK171	△5.0	△4.9	1.3	?	刺突文	×	×	1/4強	中期後葉	13	第42図176		
76	住吉遺跡	西伯郡大山町住吉											?	
77	退休寺遺跡	西伯郡大山町住吉	SI-06	△1.7	2.1	0.7	紡錘状か		×	×	1/2	中期後葉	14	挿図17-57
78	殿河内内屋ノ前遺跡(計5点)	西伯郡大山町殿河内	SI 5	△7.6	△9.2	1.4	凸レンズ状	刺突文・沈線・弧文	△	×	1/4強	中期後葉	本報告	第44図64
79			2・3区V・VI層	△2.0	△3.1	1.2	?	沈線文	○	×	小片	中期中葉～後葉		第187図361
80			2・3区VII層	△4.1	△4.8	1.1	板状か	刺突文・沈線文	×	○	小片	中期中葉～後葉		第189図379
81			4区4-III層	△5.9	△9.8	1.4	微凸レンズ状	刺突文・沈線文	×	○	1/2強	後期中葉		第193図411
82	4区遺構外	△4.1	△5.6	1.6	微凸レンズ状	刺突文	×	×	1/2弱	中期中葉～後期中葉	第198図438			
83	名和小谷遺跡	西伯郡大山町名和	A区遺構外	△5.8	△9.1	1.4	凸レンズ状	刺突文・重弧文	○	○	1/2	中期中葉～後葉	15	図26-26
84	茶畑第1遺跡(計2点)	西伯郡大山町茶畑	SI 6	△3.5	△3.0	△1.3	凸レンズ状	刺突文	×	×	1/4弱	中期後葉	16	図19-28
85			遺構外	△3.0	△6.0	1.8	—	刺突文・竹管文	×	×	小片	?		図216-466
86	茶畑六反田遺跡(計2点)	西伯郡大山町茶畑	3区黒褐色土層	△6.5	△9.2	1.2	凸レンズ状	刺突弧文・刺突文・沈線文	×	×	1/2弱	中期後葉	17	Fig.30-79
87	茶畑山道遺跡(計6点)	西伯郡大山町茶畑	SB-05周辺	△3.2	△2.6	△0.9	?	刺突文	×	×	1/4弱	中期中葉～後葉	18	挿図122-Po.162
88			SB-05周辺	△3.4	△2.6	△0.9	微凸レンズ状	刺突文・飾描文・沈線文	×	×	1/4弱	中期中葉～後葉		挿図122-Po.163
89			SB-05周辺	△3.5	△4.3	△1.1	板状	刺突文・眉毛表現か	×	×	1/4	中期中葉～後葉		挿図122-Po.164
90			SB-05周辺	△2.5	△1.6		?	刺突文	×	×	小片	中期中葉～後葉		挿図122-Po.165
91			SB-05周辺	△2.9	△1.8		?	刺突文	×	×	小片	中期中葉～後葉		挿図122-Po.166
92			SB-05周辺	△1.9	△1.2		?	刺突文	×	×	小片	中期中葉～後葉		挿図122-Po.167
93	大道原遺跡(計4点)	西伯郡大山町表木	表探	△5.0	△6.0	△1.0	板状	重弧文・刺突文・沈線文	×	×	1/4弱	中期後葉	2	挿図 8
94			表探	△3.8	△3.1	0.8	板状	沈線文	×	×	1/4弱	中期後葉		挿図 9
95			表探	△5.6	△5.2	1.0	板状	沈線文	×	×	小片	中期後葉		挿図10
96	新田原遺跡	西伯郡大山町塚田		△4.5	△5.7	△1.8	紡錘状	二枚貝腹縁による山形文	×	×	小片	中期後葉	19	
97	塚田遺跡	西伯郡大山町塚田		△3.0	△3.4	△1.1	板状	二枚貝腹縁による山形文	×	×	1/4弱	中期後葉	20	
98	上野第2遺跡	西伯郡大山町上野	T 5 中	△1.3	△3.3	1.0	?	刺突文	×	×	小片	?	21	挿図11-120
99	麦木晩田遺跡15次	西伯郡大山町麦木	松尾頭3区トレンチ3包含層	△6.9	△4.3	1.4	微凸レンズ状	二枚貝腹縁による施文・刺突文	○	○	1/4	中期後葉	22	第27図307
100	林ヶ原遺跡(計3点)	西伯郡伯耆町清原	第2堅穴住居跡	△4.9	△4.5	△1.8	凸レンズ状	刺突文・沈線文	○	○	1/4弱	中期後葉	23	第140-②図D 3
101			遺構外	△3.6	△3.8	△1.1	板状	山形文	○	×	小片	中期後葉		第323図D 2
102			遺構外	△3.2	△4.2	△1.0	微凸レンズ状	刺突文	×	×	小片	中期後葉		第323図D 3
103	土井敷遺跡	西伯郡南部町浅井	小土坑	△2.2	△2.6	△1.1	?	竹管文	×	×	小片	中期後葉	2	挿図20
104	越敷山遺跡(計2点?)	西伯郡南部町萩名	3c区SI04	△5.9	△8.6	1.2	微凸レンズ状	刺突文・竹管文	×	×	1/2	中期後葉	24	
105	鶴田合清水遺跡(計2点)	西伯郡南部町鶴田	SK21	△5.2	△6.9	1.0	微凸レンズ状	刺突文・竹管文	×	×	1/2	中期後葉	25	挿図66 Po77
106			SK22	△3.4	△4.6	△0.9	?	重弧文	×	×	小片	中期後葉		挿図68 Po85
107	青木遺跡	米子市永江	JSI07	△2.1	△4.8	1.2	?	山形文	×	×	1/2弱	中期後葉	26	挿図284
108	東宗像遺跡	米子市長砂町	第3号段状遺構	△3.5	△4.0	0.9	板状		○	×	1/4弱	中期後葉	27	挿図62
109	米子城跡21遺跡	米子市西町・加茂町	遺構外	△4.2	9.0	1.1	板状	刺突文	×	×	1/2弱	中期後葉	28	第24図146
110	新山山田遺跡(計3点)	米子市新山		△6.7	△9.8	△0.8	板状	刺突文	×	×	1/2弱	中期後葉	29	
111				△9.4	△7.9	△3.3	板状	刺突文・沈線文・波状文	×	×	1/2弱	中期後葉		
112				△6.0	△6.7	△1.6	?	刺突文・沈線文	×	×	1/4弱	中期末		30
113	鐘町第1遺跡	米子市鐘町		△3.6	△3.8	△1.0	?	刺突文	×	×	1/4弱	31	第26図352	
114	目久美遺跡(計9点)	米子市目久美	6-3層	△3.6	△4.1	1.1	?		×	×	1/2弱	前期～中期	32	図録57 P-13
115			5層	△1.9	△2.2	0.9	?		×	×	小片	中期		図録57 P-14
116			SK 3	△5.8	△6.3	0.9	板状	飾描文・刺突文・沈線文	○	×	1/2	中期後葉		図録57 P-15
117			6-2層	△3.7	△8.4	1.2	?	刺突文	×	×	1/2弱	前期～中期		図録57 P-16
118			河川	△7.7	△6.1	2.0	紡錘状か		×	×	1/2強	前期～中期		図録57 P-17
119	古市宮ノ谷山遺跡	米子市古市	谷1区最下層	△2.8	△12.4	1.2	凸レンズ状	重弧文	×	○	1/2	中期後葉	33	図17-30
120	橋本漆原山遺跡	米子市橋本	堅穴住居 1	△6.1	△10.6	1.5	凸レンズ状	刺突文	×	×	1/2	中期後葉	34	図19-31
121	北灘遺跡	境港市外江町	海底	△4.8	△6.8	1.2	板状	刺突文・沈線文	×	×	1/2弱	?	2	挿図13
122	天王原遺跡	西伯郡会見町天王原	G区SK08	△13.0	?	1.5	?	刺突文・竹管文	×	×	1/2弱	?	35	写真348

第4節 殿河内定屋ノ前遺跡出土の分銅形土製品について

表84 土器・土製品遺物観察表(1)

遺物番号	遺地層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
1	SK24埋土	938	第17図PL.47	縄文土器 深鉢	口径：18.7※ 器高：18.2 最大径：19.6 底径：8.1	外面：口縁部～体部ケズリ状調整。底部付近ナデ。底面圧痕後ナデ。内面：口縁部付近ナデ。胴部中位ケズリ状調整後ナデ。底部ナデ。	やや粗(1～2mm程度の砂粒を多く含む。3mm程度の礫を含む)	やや良好	外面：にぶい黄褐色～橙色～黒褐色。内面：にぶい黄褐色～黒褐色。	内外面にスス附着。
2	SI1埋土	692	第33図PL.48	弥生土器 甕	口径：17.8※ 器高：20.9△ 最大径：24.4※	外面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目。下半ミガキ、一部ハケ目後ミガキ。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上位ハケ目、中位ミガキ、下位ヘラケズリ。	密	良好	外面：黄褐色内面：にぶい黄褐色	内外面にスス附着
3	SI1検出面・埋土	312・334・346・686	第33図PL.48	弥生土器 甕	口径：13.2※ 器高：16.0△ 最大径：18.0※	外面：口縁部3条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ミガキ。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上位ハケ目後ナデ、中位ミガキ後ナデ、下位ヘラケズリ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	内外面にスス附着
4	SI1検出面・埋土	312・686	第33図PL.48	弥生土器 甕	口径：11.8※ 器高：5.2△	外面：口縁部3条の平行沈線後刻み目。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ミガキ。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ミガキ、一部ミガキ後ナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄灰色	
5	SI1埋土中	707	第33図	弥生土器 甕	器高：4.0△	外面：頸部指頭圧痕文帯。肩部タテハケ。内面：口縁部ヨコナデ。肩部斜方向ハケ目。	密	良好	内外面：明黄褐色	弥生IV-1か
6	SI1埋土	684	第33図PL.48	弥生土器 甕	口径：14.6※ 器高：7.1△	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ナデ。胴部ハケ目。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目	密	良好	外面：浅黄褐色内面：明黄褐色	口縁部に赤色塗彩わずかにあり
7	SI1埋土	682	第33図PL.48	弥生土器 壺	器高：11.8△	外面：突帯ヨコナデ。頸部ハケ目。内面：頸部中位ハケ目、下位ヨコナデ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色内面：黒褐色	内面にスス附着
8	SI1P1埋土1層	810	第33図	弥生土器 甕	器高：2.0△	外面：ナデ。内面：ヨコナデ。	密	良好	外面：明黄褐色。内面：黒褐色。	
9	SI1埋土	72	第33図	弥生土器 壺	器高：2.2△	外面：口縁部2～3条の平行沈線後刻み目。頸部ヨコナデ。内面：口縁部ナデ。頸部ハケ目。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色。	
10	SI1埋土中	703	第33図	弥生土器 甕	器高：1.9△	外面：口縁部2条凹線。以下ナデ。内面：ヨコナデ。	密(1mm以下の長石含む)	良好	内外面：灰黄色	弥生IV-1
11	SI1埋土中	489	第33図	弥生土器 甕	器高：2.9△	外面：口縁部貝殻腹縁による刺突文。肩部タテハケ。内面：口縁部ヨコナデ。肩部ケズリ。	やや密	良好	内外面：黄褐色	弥生IV-1
12	SI1検出面・埋土・床面直上	334・677・812	第33図PL.48	弥生土器 壺または甕	器高：10.3△ 底径：5.4	外面：胴部ミガキ、一部ハケ目後ミガキ。底面ミガキ。内面：ヘラケズリ	密(0.5～1mm程度の長石・石英を多く含む)	良好	内外面：にぶい橙色～褐灰色	
13	SI1埋土	345・678	第33図PL.48	弥生土器 壺または甕	器高：5.4△ 底径：4.9	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。内面：胴部ヘラケズリ後ナデ。底部に指押さえ。	密(1mm程度の砂粒を多く含む)	良好	外面：明黄褐色内面：褐灰色	内面にスス附着
14	SI1検出面	312・334	第33図PL.48	弥生土器 壺または甕	器高：5.6△ 底径：7.4※	外面：胴部強いミガキ。底面ナデ。内面：胴部ヘラケズリ。底部工具による押さえ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色内面：にぶい黄褐色	外面に黒斑あり
15	SI1検出面	312	第33図	須恵器 高台杯	器高：1.5△	外面：回転ナデ。内面：坏底部不定方向ナデ。	密(1mm前後の砂粒含む)	良好	外面：灰色内面：褐灰色	
16	SI1埋土	345	第33図	土製紡錘車	最大長：3.9 最大幅：3.5 最大厚：0.5	凸面：ヘラケズリ、ナデ 凹面：ハケ目後ミガキ	密	良好	凸面：淡褐色 凹面：にぶい褐色	側面加工あり。凹面から穿孔(貫通しない)
17	SI2埋土	585	第36図PL.49	弥生土器 甕	口径：17.8※ 器高：3.0△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～胴部ヨコナデ。頸部に貼付刻み目突帯。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ナデ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色内面：明褐色	
18	SI2埋土	639	第36図PL.49	弥生土器 甕	口径：14.2※ 器高：8.8△	外面：口縁部不明。頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上位ケズリ後ヨコナデ、残りハケ目後ナデ、指押さえ。	やや密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
19	SI2埋土上層	134	第36図PL.49	弥生土器 甕	器高：2.6△	外面：口縁部3条の平行沈線後、刻み目。頸部ヨコナデ、貼付刻み目突帯。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ナデ。	密(1mm程度の砂粒を含む)	良好	内外面：暗褐色～黒褐色	
20	SI2埋土2層	731	第36図PL.49	弥生土器 甕	器高：1.4△	外面：口縁部3条の平行沈線。口縁～頸部ヨコナデ。内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：橙色	
21	SI2埋土上層	134	第36図PL.49	弥生土器 甕	器高：1.5△	外面：口縁部3条の平行沈線。ヨコナデ。内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
22	SI2埋土上層	134	第36図	弥生土器 甕	器高：1.5△	外面：口縁部2条の平行沈線。頸部ミガキ。内面：ミガキ。	密(1mm程度の砂粒を含む)	良好	外面：灰黄褐色～黒色内面：黒褐色	内外面に黒斑あり
23	SI2埋土	637・638	第36図PL.49	弥生土器 甕	最大径：24.2※ 器高：23.0△ 底径：5.4※	外面：胴部中位ハケ目、ハケ目後ミガキ。胴部下位ミガキ。内面：胴部ケズリ後ナデ。底部指押さえ。	密	良好	外面：にぶい黄～黒褐色内面：にぶい黄～黄褐色	外面にスス附着
24	SI2埋土上層	134	第36図PL.49	弥生土器 土製紡錘車	最大長：4.1 最大幅：3.5 最大厚0.4	凸・凹面：ハケ目	密	良好	凸面：にぶい黄褐色 凹面：暗褐色～黄褐色	両面から穿孔(貫通しない)
25	SI3埋土	218	第39図PL.49	弥生土器 甕	口径：18.2※ 器高：18.0△ 最大径：24.4※	外面：口縁部2条の凹線文。口縁～頸部ヨコナデ。頸部～胴部中位ハケ目。胴部下位ハケ目・ミガキ。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ナデ。	密(0.5mm程度の長石を少し含む)	良好	内外面：橙色	外面にスス附着
26	SI3埋土	165	第39図	弥生土器 甕	口径：15.4※ 器高：1.1△	外面：口縁部1条の凹線、ヨコナデ。内面：ヨコナデ。	密(砂粒・石英を含む)	良好	内外面：明赤褐色	

第5章 総括

表85 土器・土製品遺物観察表(2)

遺物番号	遺地・構区名	取り上げ番号	挿図PL	種類	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
27	SI 3 床面直上・埋土	71・212・213・209	第39図 PL.49	弥生土器 甕	口径：18.4※ 器高：18.4△ 最大径：31.3※	外面：口縁部3条の凹線文。口縁～頸部ヨコナデ。頸部に貼付刻み目突帯。胴部上位ハケ目後ナデ。胴部中～下位ハケ目後ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。胴部下位に一部ミガキ。	密	良好	内外面：黒褐色	外面にスス付着
28	SI 3 埋土	243	第39図 PL.49	弥生土器 甕	器高：2.3△	外面：口縁部2条の凹線後、刻み目。口縁～頸部ヨコナデ。頸部に貼付刻み目突帯。 内面：ヨコナデ。		良好	内外面：明赤褐色	
29	SI 3 埋土	71	第39図 PL.49	弥生土器 高坏	器高：3.5△	外面：口縁部3条の凹線、刻み目、ナデ。体部ミガキ。 内面：ハケ目後ミガキ。	密(1mm程度の砂粒を多く含む)	良好	内外面：にぶい橙色～灰褐色	
30	SI 3 埋土中	71	第39図	弥生土器 壺	器高：0.85△	壺口縁部破片。外面：端部2条凹線後刺突文。 内面：ヨコナデ。	密(1mm程度の砂粒含む)	良好	内外面：暗褐色	内外面スス付着。IV-1か。
31	SI 4 中央ピット内	751	第41図 PL.50	弥生土器 壺	口径：13.0※ 器高：7.2△	外面：口縁部3条凹線。頸部以下タテハケ。全体風化。 内面：ナデか。頸部以下斜方向ハケ目。全体風化。	密(1mm以下の砂粒含む)	やや不良	外面：明黄褐色～浅黄褐色 内面：灰白色	弥生IV-2
32	SI 4 埋土中	451・452・752	第41図 PL.47	弥生土器 壺	口径：22.3※ 器高：8.2△	外面：口縁部3条凹線。頸部ハケ目。 内面：口縁部ヨコナデ。内面：斜方向ハケ目。	密(1mm以下の長石含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	弥生IV-2
33	SI 4 床面	385	第41図 PL.50	弥生土器 壺	器高：1.8△	外面：口縁部3条凹線。頸部ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：灰黄色	弥生IV-1
34	SI 4 埋土中	287	第41図	弥生土器 壺	器高：1.6△	外面：口縁部3条凹線後刺突文。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：黄褐色～橙色	弥生IV-2
35	SI 4 埋土中	287	第41図	弥生土器 壺	器高：5.6△	外面：断面三角形貼り付け突帯。 内面：ヨコナデ。	密(1mm程度の砂粒含む)	良好	外面：にぶい黄色 内面：黒褐色	弥生IV
36	SI 4 埋土中	400	第41図 PL.50	弥生土器 短頸壺	口径：10.2※ 器高：3.0△	外面：口縁部4条凹線。頸部ヨコナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部ヨコハケ。	密(1mm程度の砂粒含む)	良好	内外面：黒褐色	弥生IV-2?
37	SI 4 埋土	389・392・395・766・767	第41図 PL.47	弥生土器 甕	口径：18.2※ 器高：32.9△ 最大径：29.5※	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目。下半ハケ目後ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。肩部ミガキ。胴部ヘラケズリ。	密(0.5～1mm程度の長石を少し含む)	良好	内外面：明黄褐色	内面にスス付着
38	SI 4 埋土中	450	第41図 PL.50	弥生土器 甕	口径：21.3※ 器高：3.7△	外面：口縁部3条凹線。頸部指頭圧痕文帯。 内面：口縁部ヨコナデ。肩部以下斜方向ハケ目。	密	良好	外面：浅黄褐色～にぶい黄褐色 内面：橙色	弥生IV-2
39	SI 4 P1内	539	第41図 PL.50	弥生土器 甕	口径：15.4※ 器高：3.5△	外面：口縁部2条凹線。肩部細かいタテハケ。 内面：口縁部ヨコナデ。肩部細かい斜方向ハケ目。	密(1mm程度の砂粒含む)	良好	内外面：黄褐色	弥生IV-1
40	SI 4 埋土中	287	第41図	弥生土器 甕	口径：12.6※ 器高：1.6△	外面：口縁部3条凹線。頸部ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：明黄褐色	弥生IV-1
41	SI 4 壁溝内	774	第41図 PL.50	弥生土器 甕	口径：17.3※ 器高：2.7△	外面：口縁部3条凹線。頸部指頭圧痕文帯。 内面：ヨコナデ。	密(1mm程度の砂粒含む)	良好	外面：浅黄褐色～橙色 内面：橙色	外面口縁部黒斑あり。
42	SI 4 埋土中	764	第41図 PL.50	弥生土器 甕	口径：14.4※ 器高：4.6△	外面：口縁部3条凹線。肩部粗いタテハケ。 内面：口縁部ヨコナデ。肩部斜方向ハケ目後ナデ。	密	良好	内外面：淡黄色	弥生IV-2
43	SI 4 埋土中	287	第41図 PL.50	弥生土器 甕	器高：4.5△	外面：口縁部凹線。肩部タテハケ。 内面：口縁部ヨコナデ。肩部斜方向ハケ目。	やや密	良好	内外面：にぶい橙色	弥生IV-1
44	SI 4 埋土中	287	第41図 PL.50	弥生土器 甕	器高：2.7△	外面：ヨコナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部屈曲部以下ケズリ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：浅黄褐色	弥生IV-1
45	SI 4 埋土中	287	第41図 PL.50	弥生土器 甕底部	器高：1.7△ 底径：4.4※	内外面：ナデ。 内面：風化。	密	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：浅黄色	
46	SI 4 壁溝内	867	第41図 PL.50	弥生土器 甕底部	器高：7.0△ 底径：6.1※	外面：体部下半縦方向ミガキ。底部ナデ。 内面：上方向ケズリ。	密	良好	内外面：にぶい橙色	内外面スス付着。
47	SI 4 埋土中	287	第41図 PL.50	弥生土器 甕底部	器高：4.8△ 底径：6.0※	外面：体部下半縦方向ミガキ。底部ナデ。 内面：ナデ。底部指押さえ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	内外面スス付着。
48	SI 4 埋土中	466	第41図 PL.50	弥生土器 甕底部	器高：4.4△ 底径：5.8※	外面：体部下半縦方向ミガキ。底部ナデ。 内面：上方向ケズリ。	密	良好	内外面：灰黄褐色	内外面スス付着。
49	SI 4 埋土中	752	第41図 PL.50	弥生土器 甕底部	器高：3.1△ 底径：6.8※	外面：体部下半縦方向ミガキ。底部ナデ。 内面：上方向ケズリ。	密	良好	内外面：淡黄色	外面黒斑あり。
50	SI 4 周辺	363	第41図 PL.50	弥生土器 甕底部	器高：4.1△ 底径：6.2※	外面：体部下半ハケ目後縦方向ミガキ。底部ナデ。 内面：上方向ケズリ。	密	良好	内外面：浅黄褐色	底部外面黒斑あり。
51	SI 4 中央ピット内	669・749	第42図 PL.50	弥生土器 土製紡錘車	最大長：7.1 最大幅：7.0 最大厚：0.5	凸面：ハケ目。 凹面：粗いハケ目。	密	良好	内外面：浅黄褐色	外面黒斑あり。
52	SI 4 埋土中	443	第42図 PL.50	弥生土器 土製紡錘車	最大長：3.6 最大幅：3.4 最大厚：0.4	凸面：ハケ目。 凹面：ナデ。	密(1mm程度の砂粒含む)	良好	内外面：浅黄色	中央焼成後両側穿孔。
53	SI 4 埋土中	465	第42図 PL.50	弥生土器 土製紡錘車	最大長：5.15 最大幅：4.45 最大厚：0.4	凸面：ハケ目。 凹面：ハケ目後ナデ。側面擦り。	密	良好	内外面：浅黄褐色	中央焼成後両側穿孔。
54	SI 4 埋土中	466	第42図 PL.50	弥生土器 土製紡錘車	最大長：5.3 最大幅：5.2 最大厚：0.5	凸面：ミガキ。 凹面：ケズリ。	密	良好	内外面：にぶい橙色	中央焼成後両側穿孔。
55	SI 4 埋土中	467	第42図 PL.50	弥生土器 土製紡錘車	最大長：6.2 最大幅：5.1 最大厚：0.5	凸面：ミガキ。 凹面：ケズリ。	密	良好	凹凸面：浅黄色	中央内面：焼成後穿孔途中。外面黒斑あり。

第4節 殿河内定屋ノ前遺跡出土の分銅形土製品について

表86 土器・土製品遺物観察表(3)

遺物番号	遺地層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
56	SI4埋土中	287	第42図PL50	弥生土器土製紡錘車	最大長：3.4 最大幅：2.3△ 最大厚：0.495	凸面：ハケ目後ミガキ。 凹面：ケズリ。	密	良好	凹凸面：浅黄色	中央焼成後両側穿孔。
57	SI4壁溝内	517	第42図PL50	弥生土器土玉	最大長：3.1 最大幅：3.2 最大厚：3.2	手捏ね整形後ナデ。	密	良好	浅黄色	重さ23.5g
58	SI5埋土	495	第44図PL51	弥生土器甕	口径：15.0※ 器高：1.5△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄色	
59	SI5埋土	495	第44図PL51	弥生土器壺または甕	底径：6.4※ 器高：2.4△	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：ケズリ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
60	SI5 P15・P21埋土一括	954	第44図PL51	弥生土器壺または甕	底径：6.6※ 器高：4.4△	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：胴部ケズリ後ミガキ。底部ナデ、指押さえ。	密	良好	外面：褐色 内面：黒褐色	
61	SI5壁溝埋土	1671	第44図PL51	弥生土器土製紡錘車	最大長：6.7 最大幅：6.3 最大厚：0.5	凸面：ハケ目後ミガキ。 凹面：ハケ目、一部ミガキか。	密	良好	凸面：淡明褐色～黒色 凹面：にぶい褐色～明褐色	両面から穿孔。凸面にスス附着
62	SI5壁溝埋土	1671	第44図PL51	弥生土器土製紡錘車	最大長：5.1 最大幅：5.6 最大厚：0.6	凸面：ミガキ。 凹面：ヘラケズリ、指頭圧痕あり。	密	良好	両面：にぶい黄褐色	穿孔なし
63	SI5埋土	495	第44図PL51	弥生土器土製紡錘車	最大長：5.0 最大幅：4.9 最大厚：0.5	凸面：ミガキ。 凹面：ハケ目後、一部ナデ。一部ヘラケズリ	やや密	良好	凸面：黒褐色 凹面：橙色	凹面から穿孔(貫通しない)
64	SI5埋土中	139	第44図巻頭図版2	弥生土器分銅形土製品	最大長：7.6△ 最大幅：9.2△ 最大厚：1.4	外面：櫛指沈線を挟んで刺突文。側縁部刺突文。 内面：ナデ。一部ハケ目。刺突文施される。	密	良好	内外面：浅黄褐色	
65	SI6埋土下層	524・1018	第46図PL51	弥生土器壺	器高：3.7△	外面：口縁部5条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。頸部一部ハケ目、貼付突帯。 内面：ヨコナデ、ハケ目。	密(砂粒を含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	
66	SI6床面直上	1182	第46図PL51	弥生土器壺	器高：1.9△	外面：口縁部3条の凹線文、ヨコナデ。頸部付近にハケ目。 内面：4条の凹線文・波状文、ヨコナデ。	密(3mm程度の石英・長石を少し含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	
67	SI6埋土	1074	第46図PL51	弥生土器甕	器高：2.6△	外面：口縁部1条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。頸部に貼付刻み目突帯。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：黄褐色	
68	SI6埋土中一括	524	第46図PL51	弥生土器甕	器高：3.0△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密	良好	外面：にぶい橙色 内面：橙色	
69	SI6埋土中一括	524	第46図PL51	弥生土器甕	器高：2.3△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ミガキ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	外面：暗褐色～褐灰色 内面：明黄褐色～褐色	
70	SI6埋土下層	1019	第46図PL51	弥生土器壺または甕	器高：9.4△ 底径：6.0※	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ。一部に爪痕。	密(1mm程度の石英を少し含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	
71	SI6埋土下層	1020	第46図PL51	弥生土器壺または甕	器高：6.7△ 底径：7.2※	外面：胴部ミガキ。底面摩擦のため不明。 内面：上方向のヘラケズリ、指押さえ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：明黄褐色	
72	SI8中央ビット埋土	478	第49図PL51	弥生土器甕	口径：13.0※ 器高：4.4△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部付近ミガキ。胴部ハケ目後ナデ。	密(0.5～1mm程度の長石を少し含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	外面にスス附着
73	SI9埋土上層	831・1004・1054	第52図PL52	弥生土器壺	器高：2.2△	外面：口縁部3条の凹線後、粘土紐貼付。口縁～頸部ヨコナデ、ハケ目。 内面：波状文、ヨコナデ。	密(1～4mm程度の石英・長石を少し含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：橙色	
74	SI9埋土上層	1023	第52図PL52	弥生土器壺	口径：23.0※ 器高：3.5△	外面：口縁部2条以上の凹線。口縁部ヨコナデ。頸部ハケ目。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。頸部ハケ目。	密	良好	内外面：明黄褐色	
75	SI9埋土中層	1102	第52図PL52	弥生土器壺	口径：22.0※ 器高：1.5△	外面：口縁部3条の凹線、ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	外面：にぶい黄色～浅黄色 内面：浅黄色	外面に2ヶ所の円形孔あり(貫通しない)
76	SI9埋土中	971	第52図PL52	弥生土器甕	口径：10.4※ 器高：3.5△	外面：口縁部4条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。頸部ハケ目。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
77	SI9暗褐色土	1594	第52図PL52	弥生土器壺	口径：16.2※ 器高：3.4△	外面：口縁部凹線文、ヨコナデ。頸部ナデ、ミガキ。 内面：ナデ、剥離多い。	密	良好	内外面：灰黄色	
78	SI9埋土上層	1056	第52図PL52	弥生土器壺	器高：9.5△	外面：口縁部付近ナデ。頸部ハケ目。頸部下位貼付突帯。 内面：頸部上位ヨコナデ。中位ハケ目、ハケ目後ナデ。	密	良好	内外面：褐色	内面にスス附着
79	SI9埋土上層	941	第52図PL52	弥生土器壺	器高：2.0△	外面：口縁部3条の凹線後刻み目、凹形浮文。 内面：波状文、ヨコナデ。	密(0.1～0.5mm程度の長石を含む)	良好	外面：にぶい黄褐色～にぶい黄褐色 内面：にぶい黄褐色～灰黄褐色	
80	SI9埋土上層	1456	第52図PL52	弥生土器壺	器高：3.2△	外面：口縁部2条の擬凹線、ヨコナデ。頸部ハケ目。 内面：ハケ目。	密(1mm程度の砂粒を多く含む)	良好	外面：にぶい黄褐色～黒褐色 内面：褐色～黒褐色	内外面にスス附着
81	SI9埋土中層	1106	第52図PL52	弥生土器無頸壺	口径：6.2※ 器高：8.3△	外面：口縁～胴部上位に5条の凹線・鉤格子文・ハケ目後3条の凹線・波状文、胴部中位に横方向ミガキ。 内面：口縁部付近ナデ。胴部ハケ目。	密(0.5～1.5mm程度の長石・石英を数粒含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	内面にスス附着
82	SI9埋土上層	1015・1064	第52図PL51	弥生土器甕	口径：20.0※ 器高：9.5△	外面：口縁部4条の凹線後刻み目。口縁～頸部ヨコナデ、貼付刻み目突帯。胴部ハケ目。 内面：口縁部ヨコナデ。胴部ハケ目、指押さえ。	密	良好	外面：にぶい赤褐色～赤褐色 内面：明黄褐色	外面に黒斑あり

第5章 総括

表87 土器・土製品遺物観察表(4)

遺物番号	遺地層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
83	SI9埋土上層	1452	第52図 PL.52	弥生土器 甕	口径:18.3※ 器高:5.8△	外面:口縁部3条の凹線。口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ミガキ。内面:口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密	良好	内外面:にぶい黄褐色	外面にスス付着
84	SI9検出面	866	第52図 PL.51	弥生土器 甕	口径:14.8※ 器高:14.6△ 最大径:27.0※	外面:口縁部2条の凹線。口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ミガキ。内面:口縁部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密(1~4mm程度の石英を多く含む)	良好	外面:にぶい黄褐色 内面:にぶい黄褐色	内外面にスス付着
85	SI9床面直上	1305	第52図 PL.51	弥生土器 甕	口径:12.0※ 器高:14.2△ 最大径:15.5※	外面:口縁部3条の凹線後刻み目。口縁~頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目、下半ハケ目後ミガキ。内面:口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。底部付近ケズリ、一部ミガキ。	密(0.5~1mm程度の長石を少し含む)	良好	内外面:にぶい橙色~褐色	外面にススが多く付着。内面に黒斑あり
86	SI9埋土上層	1006・1127	第52図 PL.52	弥生土器 甕	口径:14.2※ 器高:8.1△	外面:口縁部凹線文。内面:口縁~胴部上位ヨコナデ。胴部ミガキ。	密(1mm程度の長石を少し含む)	良好	外面:浅黄褐色 内面:にぶい黄褐色	外面にスス付着
87	SI9検出面	857	第52図 PL.52	弥生土器 甕	口径:12.4※ 器高:4.6△	外面:口縁部2条の凹線。口縁~頸部ヨコナデ。頸部ハケ目。内面:口縁部ヨコナデ。胴部ハケ目、ケズリ。	密	良好	内外面:にぶい黄褐色	
88	SI9埋土中層	1303	第52図 PL.52	弥生土器 甕	器高:6.7△	外面:頸部貼付刻み目突帯。胴部ハケ目。内面:頸部付近ナデ。胴部ハケ目。	密	良好	外面:にぶい黄褐色~赤褐色 内面:黄褐色	
89	SI9埋土中層	1100	第52図 PL.52	弥生土器 壺または甕	器高:7.3△ 底径:6.3	外面:胴部ミガキ、ナデ。底面ナデ。内面:ヘラケズリ後ナデ。	密(1~1.5mm程度の砂粒含む)	良好	外面:にぶい黄褐色~暗赤褐色 内面:浅黄褐色~褐色	内外面にスス付着。底面に黒斑
90	SI9埋土中層	1076・831・873・961	第52図 PL.51	弥生土器 甕	器高:23.8△ 最大径:24.0※ 底径:6.7※	外面:頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目、一部ミガキ。下半ミガキ。底面ナデ。内面:口縁~頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目後ナデ、下半ケズリ後ナデ。	密	良好	外面:明黄褐色~黒褐色 内面:明褐色~黒褐色	外面にスス付着
91	SI9埋土上層・中層・黒褐色土	831・946・1103・1448	第52図 PL.51	弥生土器 壺または甕	器高:13.1△ 底径:7.2※	外面:ミガキ。内面:ヘラケズリ。	密(2mm程度の石英・長石を少し含む)	良好	外面:にぶい黄褐色 内面:黄褐色	
92	SI9埋土上層・中層・P5埋土	1099・1100・1438・1593	第52図 PL.51	弥生土器 壺または甕	器高:12.6△ 底径:6.0	外面:胴部ハケ目。底部付近ミガキ。内面:胴部ヘラケズリ。底部ハケ目。	密(1~4mm程度の石英・長石を多く含む)	良好	外面:橙色 内面:にぶい黄褐色	外面にスス付着
93	SI9床面直上	1406	第52図	弥生土器 壺または甕	器高:2.9△ 底径:5.2※	外面:胴部ミガキ、ヨコナデ。底面ナデ。内面:ヘラケズリ、指押さえ。	密	良好	外面:オリーブ黒色 内面:橙色	内外面にスス付着
94	SI9埋土上層	1021	第52図	弥生土器 壺または甕	器高:3.4△ 底径:5.0※	外面:胴部ハケ目後ミガキ。底面ナデ。内面:ヘラケズリ。	密(砂粒を含む)	良好	外面:褐灰色 内面:灰黄褐色	
95	SI9埋土中層	1081	第52図	弥生土器 壺または甕	器高:7.9△ 底径:6.6※	外面:胴部ミガキ、ナデ。底面ナデ。内面:ヘラケズリ後ナデ、指押さえ。	やや密	良好	内外面:にぶい黄褐色	
96	SI9埋土中層	1483	第52図 PL.52	弥生土器 高坏	口径:25.0※ 器高:6.1△	外面:口縁部ヨコナデ。体部粗いハケ目。内面:口縁部ヨコナデ。体部ハケ目後ミガキ。	密(石英・微砂を含む)	良好	内外面:褐灰色	内外面にスス付着
97	SI9埋土中層	1122	第52図 PL.52	弥生土器 高坏	器高:5.4△	外面:ハケ目後ナデ。3条の凹線。内面:ナデ、ヘラケズリ。	密	良好	内外面:にぶい黄褐色	三角形透かし(貫通しない)
98	SI9黒褐色土	167・179・188・222・1097	第52図	弥生土器 高坏	器高:7.8△	外面:ミガキ後3ヶ所に数条の凹線を入れ、その間に未貫通の三角形透かし、斜格子状飾描文。内面:ヘラケズリ後ナデ。	密(0.5~1mm程度の長石・石英を多く含む)	良好	内外面:にぶい黄褐色	
99	SI9検出面	862	第52図 PL.52	弥生土器 高坏か	器高:4.8△	外面:ミガキ後、脚部中位と脚端部付近に4条の凹線。内面:ヘラケズリ。	密	良好	外面:橙色 内面:黒色~にぶい黄褐色	外面に赤色塗彩。内面にスス付着。三角形透かし(貫通しない)
100	SI9埋土上層	1482	第53図 PL.52	弥生土器 土製紡錘車	最大長:5.8 最大幅:5.3 最大厚:0.5	凸面:ハケ目。凹面:ハケ目後ミガキ。	密	良	内外面:にぶい黄褐色	中央両側穿孔あり
101	SI9埋土中層	1243	第53図 PL.52	弥生土器 土製紡錘車	最大長:4.4 最大幅:4.0 最大厚:0.6	凹面:ハケ目 凸面:ハケ目	やや密	良好	凸面:浅黄褐色 凹面:明褐色	側面加工あり。両面から穿孔
102	SI9埋土中層	1226	第53図 PL.52	弥生土器 土製紡錘車	最大長:5.4 最大幅:5.1 最大厚:0.5	凹面:ミガキ、指頭圧痕あり 凸面:ハケ目	やや密	良好	両面:にぶい黄褐色	側面加工なし。凹面から穿孔(貫通しない)
103	SI10埋土	1539	第55図 PL.53	弥生土器 甕	口径:11.2※ 器高:7.0△	外面:口縁部凹線状の強いヨコナデ。頸部ヨコナデ。胴部上位ハケ目、中位ミガキ。内面:口縁部ヨコナデ。胴部上位ハケ目、中位ハケ目後ミガキ。	密(0.5~2mm程度の長石を含む)	良好	内外面:にぶい黄褐色	頸部に内面から穿孔あり(焼成前)
104	SI10埋土	1514	第55図 PL.53	弥生土器 甕	器高:1.2△	外面:口縁部刻み目。口縁~頸部ヨコナデ。内面:ハケ目後ミガキ。	密(0.5~1mm程度の石英・長石を数粒含む)	良好	内外面:にぶい褐色	口縁部に黒斑あり
105	SI10埋土	1531	第55図 PL.53	弥生土器 甕	器高:4.4△	外面:口縁部3条の凹線。口縁~頸部ヨコナデ、貼付刻み目突帯。内面:ヨコナデ。	密	良好	内外面:黒褐色	内外面にスス付着
106	SI10埋土	1515	第55図 PL.53	弥生土器 高坏	器高:4.4△	外面:口縁部刻み目。口縁部ヨコナデ。体部ミガキ。内面:ヨコナデ、ケズリ。指押さえ。	密(長石・石英を含む)	良好	内外面:褐灰色	
107	SI10埋土・埋土上層	1511・1656	第55図 PL.53	弥生土器 壺または甕	器高:6.4△ 底径:4.8※	外面:胴部ミガキ後ナデ。底面ナデ。内面:胴部ヘラケズリ後ナデ。底部ナデ、指押さえ。	密	良好	内外面:明黄褐色~黒褐色	
108	SI10埋土	1516	第55図 PL.53	弥生土器 壺または甕	器高:9.2△ 底径:9.0※	外面:胴部ハケ目、指押さえ。底部付近面取り後ハケ目。内面:胴部ハケ目。底部付近ナデ、指押さえ。	密(石英・微砂を含む)	良好	外面:褐灰色 内面:灰黄褐色	外面にスス付着

第4節 殿河内定屋ノ前遺跡出土の分銅形土製品について

表88 土器・土製品遺物観察表(5)

遺物番号	遺地層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
109	SI10埋土	1573	第55図PL.53	弥生土器壺または甕	器高：5.7△ 底径：5.2※	外面：ミガキ。 内面：ハケ目後ミガキ。	密(1~2mm程度の砂粒を含む)	良好	外面：灰黄褐色~黒褐色 内面：にぶい黄褐色~灰黄褐色	
110	SI10埋土	1513	第55図PL.53	弥生土器土製紡錘車	最大長：4 最大幅：3.4 最大厚：0.7	凸面：ミガキ。 凹面：ヘラケズリ。	密	良好	凸面：にぶい褐色 凹面：淡黄褐色	側面加工なし。両面から穿孔
111	SI10埋土	1513	第55図PL.53	弥生土器土製紡錘車	最大長：6.6 最大厚：0.5	凸面：ハケ目後ミガキ。 凹面：ハケ目。	密(砂粒多く含む)	良好	凸面：にぶい褐色 凹面：淡褐色~暗褐色	側面加工なし。両面から穿孔
112	SI11壁溝埋土	1893	第58図PL.53	弥生土器壺または甕	器高：3.9△ 底径：5.3※	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：剥落が多く不明。	やや密	良好	内外面：にぶい黄褐色	外面にスス付着
113	SI11P2埋土	1886	第58図PL.60	弥生土器壺または器台	器高：2.2△	外面：口縁部4条の凹線後、刻み目後、円形浮文。上面に波状文。 内面：ヨコナデ。	密(微砂粒を含む)	良好	外面：オリーブ黒色 内面：黒褐色	
114	SB1P8埋土	226	第60図PL.53	弥生土器無頸壺	器高：3.9△	外面：刻み後沈線文、円形浮文、斜格子文。 内面：ヨコナデ、指押さえ。	密(1~3mm程度の石英を少し含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：にぶい褐色	外面と口縁端部に赤色顔料
115	SB3P12埋土	1363	第63図PL.53	弥生土器甕	器高：2.8△	外面：口縁部3条の擬凹線。口縁~頸部ヨコナデ。頸部貼付突帯、刺突文。 内面：ヨコナデ。	密	良好	外面：黄褐色~黒褐色 内面：にぶい黄色	
116	SB5P1埋土	1337	第65図PL.53	弥生土器壺または甕	器高：2.1△ 底径：5.0※	外面：ヨコナデ。 内面：ナデ。	密	良好	外面：浅黄褐色~赤褐色 内面：灰黄色	
117	SB6P3埋土	1559	第67図PL.53	弥生土器甕	器高：4.1△	外面：口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	内外面にスス付着
118	SB6P5埋土	1996	第67図PL.53	弥生土器壺または甕	器高：2.9△ 底径：6.2※	外面：胴部ミガキ、ヨコナデ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ後ナデ。	やや密	良好	外面：黒褐色 内面：明褐色	
119	SB10P7埋土	2009	第72図PL.53	弥生土器甕	器高：1.9△	外面：口縁部2条の凹線、ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：浅黄色	
120	SK1埋土	2109	第86図PL.54	弥生土器甕	口径：17.9※ 器高：13.8△ 最大径：40.1	外面：口縁部5条の凹線後、刻み目。頸部突帯文。口縁部ヨコナデ。胴部ハケ目、一部ミガキ。 内面：口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ナデ、指押さえ。	密	良好	外面：橙~黒色 内面：にぶい褐色	外面にスス付着
121	SK2検出面	146	第88図PL.54	弥生土器甕	口径：13.4※ 器高：10.0△	外面：口縁部2条の凹線。口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目、指押さえ。	密(微砂粒を含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	外面にスス付着
122	SK5埋土	935	第90図PL.54	弥生土器甕	口径：14.9※ 器高：9.2△	外面：口縁部沈線。口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁~頸部ヨコナデ。胴部ナデ、指押さえ、一部ミガキ。	密(1~2mm程度の石英を含む)	良好	外面：にぶい褐色 内面：にぶい黄褐色	
123	SK5埋土	926	第90図PL.54	弥生土器甕	口径：17.0※ 器高：6.9△	外面：口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目、指押さえ、一部ハケ目後ミガキ。	密(0.2mm程度の長石・石英を含む)	良好	外面：灰黄色 内面：にぶい黄褐色	
124	SK5埋土	923	第90図PL.54	弥生土器甕	口径：11.2※ 器高：6.9△	外面：口縁部1条の凹線後ナデ。頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ミガキ。 内面：口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密	良好	外面：黄灰色 内面：暗灰黄色	
125	SK5埋土	931	第90図PL.54	弥生土器壺	器高：3.8△	外面：ヨコナデ。浮文・波状文・平行沈線。 内面：ヨコナデ~ナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
126	SK5埋土	927	第90図PL.54	弥生土器壺または甕	器高：3.1△ 底径：4.8※	外面：胴部~底面ナデ。 内面：ナデ、指押さえ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
127	SK5埋土	925	第90図PL.54	弥生土器壺または甕	器高：5.4△ 底径：6.0※	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：ケズリ後ナデ。	密(0.2~1mm程度の長石・石英を多く含む)	良好	外面：暗黄灰色~にぶい黄褐色 内面：黄灰~灰黄色	
128	SK6検出面	276	第91図PL.54	弥生土器壺	口径：25.0※ 器高：2.7△	外面：口縁部2~3条の凹線、ヨコナデ。口縁下に貼付突帯。頸部ハケ目後、一部ミガキ。 内面：口縁~頸部ヨコナデ。	密(0.5~1mm程度の長石・石英を含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	
129	SK8埋土	1754	第94図PL.54	弥生土器甕	口径：16.7※ 器高：9.7△	外面：口縁部3条の平行沈線。口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目、一部ミガキ。	密(1mm程度の砂粒を含む)	良好	外面：にぶい黄褐色~黒褐色 内面：にぶい黄褐色	外面にスス付着
130	SK8埋土	292・1729・1725	第94図PL.54	弥生土器甕	器高：14.9△ 最大径：20.4※	外面：頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目、下半ハケ目後ミガキ。 内面：頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密(0.2~0.5mm程度の長石を含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	
131	SK8埋土	1755	第94図PL.54	弥生土器壺または甕	器高：8.3△ 底径：5.9※	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：ケズリ後ミガキ。底部に指押さえ。	密	良好	外面：暗褐色 内面：にぶい黄褐色~暗褐色	外面にスス付着
132	SK21埋土上層・下層	516・553	第99図PL.55	弥生土器甕	口径：15.1※ 器高：14.7△	外面：口縁部2条の凹線。口縁~頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目、下半ハケ目後ミガキ。 内面：口縁~頸部ヨコナデ。胴部上半ナデ。下半ハケ目後ミガキ。	密(1mm程度の砂粒を含む)	良好	外面：にぶい褐色 内面：にぶい黄褐色~灰黄褐色	
133	SK21埋土下層	51	第99図PL.55	弥生土器甕	口径：13.8※ 器高：7.5△	外面：口縁部3条の沈線。口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁~頸部ヨコナデ。胴部の頸部付近ヘラケズリ、残りはハケ目後ナデ、指頭圧痕。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
134	SK21埋土2層	663	第99図PL.55	弥生土器甕	口径：17.0※ 器高：3.7△	外面：口縁部2条の凹線。口縁~頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁~頸部ヨコナデ。頸~胴部ハケ目一部ナデ。	密	良好	外面：灰黄褐色 内面：にぶい褐色	

第5章 総括

表89 土器・土製品遺物観察表(6)

遺物番号	遺地 層位名	取り上げ 番号	挿図 PL	種類 器種	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
135	SK21 埋土1層	553	第99図 PL.55	弥生土器 壺	器高：8.7△	外面：頸部貼付突帯、2条の凹線、ヨコナデ。頸部下位ハケ目後ナデ。内面：ハケ目。	密(砂粒あり)	良好	内外面：橙色	
136	SK21 埋土上層	515	第99図 PL.55	弥生土器 壺または甗	器高：6.3△ 底径：5.9※	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。内面：胴部ミガキ。底部指押さえ。	密(0.1mm程度の石英・長石・砂粒を含む)	良好	外面：にぶい黄橙色～明褐色 内面：黒褐色	
137	SK22 埋土中層	785	第100図 PL.56	弥生土器 甗	口径：22.8※ 器高：2.7△	外面：口縁部3条の平行沈線。口縁～頸部ヨコナデ。頸部刻み目突帯。内面：ヨコナデ～ナデ。	密(1mm程度の砂粒を少し含む)	良好	外面：橙色 内面：浅黄橙色	
138	SK22 埋土中層	784	第100図 PL.56	弥生土器 甗	口径：18.5※ 器高：4.0△	外面：口縁部2条の凹線。頸部貼付突帯。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密	良好	内外面：にぶい黄橙色	
139	SK22 埋土上層一括	906	第100図 PL.56	弥生土器 甗	口径：17.4※ 器高：12.0△ 最大径：22.2※	外面：口縁部3条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ナデ、指押さえ。	密	良好	外面：にぶい褐色～黒褐色 内面：にぶい褐色	内外面にスス附着
140	SK22 埋土中層一括	907	第100図 PL.56	弥生土器 甗	口径：22.7※ 器高：6.1△	外面：口縁部1条の凹線。口縁～頸部ハケ目。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密(0.2mm程度の石英・砂粒を含む)	良好	外面：浅黄橙色 内面：にぶい黄橙色～褐色	
141	SK22 埋土上層	758	第100図 PL.56	弥生土器 甗	口径：14.8※ 器高：3.2△	外面：口縁～頸部ヨコナデ。頸部刺突文。内面：ヨコナデ。	密(1mm未満の石英を少し含む)	良好	外面：浅黄橙色 内面：にぶい黄橙色	
142	SK22 埋土下層	908	第100図 PL.56	弥生土器 甗	口径：18.6※ 器高：4.4△	外面：口縁部刻み目後3条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。頸部に貼付刻み目突帯。胴部ハケ目。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ナデ。	密(1mm程度の砂粒を含む)	良好	外面：赤褐色 内面：黒褐色	外面に赤色塗彩あり
143	SK22 埋土下層	787	第100図 PL.56	弥生土器 甗	口径：16.4※ 器高：2.5△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。頸部に貼付突帯文。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密(0.01～0.2mm程度の長石・0.3mm砂粒を含む)	良好	外面：灰黄褐色 内面：にぶい黄橙色～褐色	
144	SK22 埋土上層一括	906	第100図 PL.56	弥生土器 甗	口径：14.2※ 器高：6.2△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。内面：丁寧なナデ。	密(0.5～1mm程度の長石を多く含む)	良好	内外面：にぶい黄橙色	
145	SK22 埋土上層・中層他	743・758・784	第100図 PL.56	弥生土器 甗	口径：17.4※ 器高：6.6△	外面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
146	SK22 埋土下層	908	第100図 PL.56	弥生土器 壺	口径：12.6※ 器高：6.6△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。残りはハケ目後ナデ。内面：口縁～頸部ヨコナデ。頸部ハケ目～ヘラケズリ。	密(砂粒あり)	良好	内外面：にぶい浅黄色	
147	SK22 埋土下層	787	第100図 PL.56	弥生土器 壺	口径：9.9※ 器高：3.0△	外面：口縁部3条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。内面：口縁～頸部ヨコナデ。	密(微砂粒を多く含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	
148	SK22 埋土上層	758	第100図 PL.56	弥生土器 壺	口径：21.2※ 器高：7.6△	外面：口縁刻み目後、沈線。口縁～頸部ヨコナデ。頸部ハケ目。内面：口縁部ヨコナデ。頸部上位ハケ目、残りナデおよび指押さえ。	密(0.5～2mm程度の長石を数粒含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	全体に鉄分が附着
149	SK22 埋土下層	908	第100図	弥生土器 甗	器高：1.9△	内外面ともヨコナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
150	SK22 埋土下層	787	第100図	弥生土器 高坏	器高：2.2△	外面：口縁部3条凹線。以下ナデ。内面：ヨコナデ。一部指押さえあり。	密	良	内外面：にぶい橙色	外面赤色塗彩。
151	SK22 埋土上層	758	第100図 PL.56	弥生土器 高坏	器高：4.7△	外面：凹線後、縹杉文。内面：ヘラケズリ。	密(1mm程度の砂粒を含む)	良好	外面：赤褐色 内面：黒褐色	外面に赤色塗彩あり
152	SK22 埋土上層	758	第100図 PL.56	弥生土器 壺または甗	底径：6.0※ 器高：4.0△	外面：ミガキ。内面：ヘラケズリ、指押さえ。	密(微砂粒を含む)	良好	外面：黒褐色 内面：にぶい黄褐色	
153	SK22 埋土下層	787	第100図	弥生土器 甗	器高：4.2△ 底径：5.8※	外面：ミガキ。内面：胴部ヘラケズリ。底部指押さえ。	密	良好	外面：橙色 内面：にぶい黄褐色	内面にスス附着
154	SK22 埋土下層	787	第100図 PL.56	弥生土器 壺または甗	器高：2.3△ 底径：6.4※	外面：胴部ヨコナデ～ナデ。底面ナデ。内面：ヘラケズリ、指押さえ	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	外面に黒斑あり
155	SK22 埋土下層	908	第100図 PL.56	弥生土器 甗	器高：2.7△ 底径：6.5※	外面：胴部ヨコナデ、一部ミガキ。底面ナデ。内面：ヘラケズリ、指押さえ。	密(0.01mm程度の長石・砂粒を多く含む)	良好	外面：にぶい橙褐色 内面：黒褐色	
156	SK22 埋土下層	913・1705	第100図	縄文土器 浅鉢	器高：5.8△	内外面：ミガキ。	密(0.5mm以下の石英・長石含む)	良	内外面：黒褐色～オリーブ褐色	晩期
157	SK22 埋土下層	787	第100図 PL.56	弥生土器 土製紡錘車	最大長：2.9 最大幅：2.5 最大厚：0.6	凸面：ミガキ。凹面：ケズリ。	密	良	凸面：暗赤褐色 凹面：にぶい橙色	内面：中央穿孔途中。
158	SK22 埋土下層	908	第100図 PL.56	弥生土器 土製紡錘車	最大長：5.4 最大幅：5.3 最大厚：0.5	凸面：ハケ目後ミガキ。凹面：ハケ目。	密	良	凹凸面：黄橙色 凹面：黄褐色	中央焼成後両側穿孔。
159	SK23 埋土一括	1329	第103図 PL.59	弥生土器 甗	口径：17.5※ 器高：4.6△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。頸部に貼付刻み目突帯。胴部ハケ目。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目、指押さえ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：浅黄褐色	
160	SK23 埋土一括	1329	第103図 PL.59	弥生土器 甗	口径：14.8※ 器高：6.2△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。内面：口縁～頸部ヨコナデ、指押さえ。胴部ヘラケズリ。	密	良好	内外面：にぶい橙色	外面にスス附着
161	SK25 埋土	1613・1626・1633	第105図 PL.57	弥生土器 壺	口径：21.0※ 器高：14.3△	外面：口縁部2条の凹線後、刻み目。口縁～頸部ヨコナデ、2条の貼付突帯。頸部ハケ目後、沈線文、波状文。内面：口縁部ヨコナデ。頸部上位ハケ目後ヨコナデ、残りヨコナデ。	密(1～2mm程度の長石・石英を密に含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：明黄褐色～にぶい黄褐色	

第4節 殿河内定屋ノ前遺跡出土の分銅形土製品について

表90 土器・土製品遺物観察表(7)

遺物番号	遺地層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
162	SK25埋土	1657	第105図	弥生土器 甕	口径：16.6※ 器高：3.4△	外面：ヨコナデ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ケズリ後ナデ。	やや密	良好	内外面：淡黄色	外面にスス附着
163	SK25埋土	1665	第105図 PL.57	弥生土器 壺	器高：10.5△	外面：頸部突帯、ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：頸部ナデ。胴部上位ヘラケズリ後、指押さえ。中位ハケ目	密(微砂粒を多く含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：暗黄灰色	外面に赤色塗彩あり
164	SK25埋土	1507	第105図 PL.57	弥生土器 壺	器高：13.3△ 最大径：31.4※	外面：7～8条の凹線を2ヶ所に入れる。胴部中位ハケ目後ナデ、斜格子文。下位ハケ目後ミガキ。 内面：ケズリ後ミガキ、一部ヨコナデ、指押さえ。	密(1～2mm程度の長石をやや密に含む)	良好	外面：にぶい赤褐色～明赤褐色 内面：にぶい赤褐色	
165	SK25埋土	939・1507・1611・1618・1624・1628・30・1646・1657	第105図 PL.578	弥生土器 甕	口径：17.2※ 器高：28.8 最大径：22.1※ 底径：5.4	外面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目。下半ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目。下半ヘラケズリ後ミガキ。	密(1mm程度の長石を多く含む)	良好	外面：橙色 内面：にぶい黄褐色	底部に穿孔あり
166	SK25埋土	1507・1658・1663	第105図 PL.58	弥生土器 甕	口径：17.2※ 器高：22.6△ 最大径：29.0※	外面：口縁部3条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。頸部に貼付突帯。胴部上半ハケ目。下半ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目、指押さえ。下半ミガキ、指押さえ。	密(0.5～2mm程度の長石・石英を含む)	良好	外面：にぶい黄褐色～灰褐色 内面：にぶい褐色～浅黄色	外面に黒斑あり
167	SK25埋土	1615	第105図 PL.57	弥生土器 甕	口径：15.8※ 器高：9.6△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ナデ、一部ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ミガキ。	密	良好	外面：灰褐色 内面：灰黄褐色	外面にスス附着
168	SK25埋土	1634	第105図 PL.57	弥生土器 甕	口径：15.6※ 器高：8.4△ 最大径：18.0※	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部ヘラケズリ後ナデ。胴部ナデ、指押さえ。	密	良好	内外面：明黄褐色	外面に黒斑、スス附着
169	SK25埋土	1661・1662	第105図 PL.57	弥生土器 甕	口径：19.0※ 器高：10.8△	外面：口縁部3条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。頸部に貼付突帯。胴部ハケ目。 内面：口縁～胴部上位ヨコナデ。胴部ハケ目。	密(1～2mm程度の長石をやや密に含む)	良好	外面：黄褐色～黒色 内面：黄褐色	
170	SK25埋土	1609	第105図	弥生土器 甕	口径：16.0※ 器高：2.1△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ナデ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	外面にスス附着
171	SK25埋土	1658	第105図 PL.57	弥生土器 甕	器高：4.6△	外面：口縁部2条の凹線後刻み目。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密(0.5～1mm程度の長石を少し、0.1～0.5mm程度の輝石を多く含む)	良好	内外面：にぶい赤褐色	
172	SK25埋土	1666	第105図	弥生土器 甕	口径：13.6※ 器高：1.8△	外面：口縁部2条の凹線文。口縁～頸部ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	やや密	良好	内外面：橙色	
173	SK25埋土	1508・1608・1657	第105図 PL.58	弥生土器 壺	器高：16.0△ 底径：11.5※	外面：胴部ハケ目後ミガキ。底面ミガキ。 内面：胴部ハケ目。底部ナデ、指押さえ。	密(微砂粒を多く含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	
174	SK25埋土	1664	第105図 PL.57	弥生土器 甕	口径：21.4※ 器高：5.0△	外面：口縁部3条の凹線後刻み目。口縁～頸部ヨコナデ。頸部に貼付刻み目突帯。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。	密(1～5mm程度の石英・長石を多く含む)	良好	内外面：橙色	
175	SK25埋土	1607	第105図 PL.57	弥生土器 甕	口径：18.0※ 器高：6.8△	外面：口縁部2条の凹線後、貝殻腹縁による刻み目。口縁～頸部ヨコナデ。頸部に貼付刻み目突帯。胴部タテハケ目後粗いヨコハケ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ナデ。	密	良好	外面：褐色 内面：明褐色	
176	SK25埋土	975・1507・1619・1658	第106図 PL.57	弥生土器 壺または甕	器高：11.1△ 底径：6.8※	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ、ナデ。	密(1～2mm程度の長石を多く含む)	良好	外面：暗褐色～黒褐色 内面：暗褐色	
177	SK25埋土	1667	第106図 PL.57	弥生土器 壺または甕	器高：6.6△ 底径：10.8※	外面：胴部ミガキ～ナデ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ、指押さえ。	やや密	良好	内外面：明黄褐色	
178	SK25埋土	1622	第105図 PL.57	弥生土器 壺または甕	器高：4.0△ 底径：4.9※	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：ナデ、指押さえ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
179	SK25埋土	916・939・1509・1621・1623・1626	第105図 PL.58	弥生土器 高坏	器高：16.8△ 底径：15.6	外面：坏部ミガキ。脚部上位3条の凹線、ヨコナデ。脚部中～下位ミガキ。脚端部ヨコナデ。 内面：坏部ミガキ。脚部ヨコナデ、上位にしほり痕。	密(1mm程度の長石を多く含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：橙色	脚部に大小、交互6ヶ所の三角形透かし
180	SK25埋土	1035・1606・1609	第106図 PL.58	弥生土器 高坏	口径：41.8※ 器高：25.5 底径：18.6	外面：口縁上面に円形浮文。口縁端部に刻み目。口縁部4条の凹線。坏部ハケ目、指押さえ。脚部5条の凹線、4条の凹線、ハケ目、4条の凹線。脚端部1条の凹線、ヨコナデ。 内面：坏口縁ヨコナデ。坏部上半ハケ目。下半ミガキ、指押さえ。脚部上半と端部ヨコナデ。下半ナデ。	密	良好	外面：浅黄褐色～赤褐色 内面：橙色	口縁上面から口頸部にかけて穿孔あり。脚部に9ヶ所の三角形透かし
181	SK27埋土上層	1148	第108図 PL.59	弥生土器 甕	口径：17.3 器高：8.0△	外面：口縁部2条の沈線後、刻み目。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後刺突文。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密(1mm前後の砂粒を含む)	良好	外面：にぶい黄褐色～黒褐色 内面：灰黄褐色～黒褐色	
182	SK27埋土下層	1159	第108図 PL.59	弥生土器 壺または甕	器高：4.1△ 底径：8.0※	外面：胴部ヘラミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ、指押さえ。	密	良好	外面：黒褐色 内面：にぶい黄褐色	

表91 土器・土製品遺物観察表(8)

遺物番号	遺地層位名	構区名	取り上げ番号	挿図PL	種類	種類	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
183	SK27埋土上層		1150	第108図PL.59	弥生土器	壺または甕	器高：16.0△ 底径：7.7※	外面：胴部ヘラミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ後ナデ。	密	良好	外面：明赤褐色～暗赤褐色 内面：にぶい黄褐色～暗褐色	
184	SK28埋土		1588	第110図PL.59	弥生土器	甕	口径：23.0※ 器高：4.7△	外面：口縁部3条の凹線文。口縁～頸部ヨコナデ。頸部に貼付突帯。胴部ハケ目。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ミガキ。	密	良好	外面：黄橙色 内面：橙色	
185	SK28埋土		1587	第110図PL.59	弥生土器	甕	口径：16.2※ 器高：5.7△	外面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色～黒色 内面：浅黄色～暗褐色	
186	SK28埋土		961	第110図PL.59	弥生土器	甕	器高：1.6△	外面：口縁部4条の凹線、刻み目、ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	密(1mm以下の砂粒を多く含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：にぶい黄褐色	
187	SK30埋土上層		1171～73・1189	第112図PL.55	弥生土器	甕	口径：17.4※ 器高：12.9△ 最大径：22.4※	外面：口縁部2条の凹線文。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目、指押さえ。	やや密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
188	SK30埋土上層		1191	第112図	弥生土器	甕	器高：1.4△	外面：口縁部3条の凹線、ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
189	SK30埋土上層		1175・1203	第112図PL.55	弥生土器	壺または甕	器高：4.0△ 底径：5.8	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：ナデ、指押さえ。	密(微砂粒を含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	内面にスス附着
190	SK30埋土上層		1170	第112図PL.55	弥生土器	蓋	口径：11.1 器高：1.9	外面：天井部ヘラケズリ後ナデ。つまみナデ。 内面：ナデ、指押さえ。	密	良好	内外面：浅黄色	2ヶ所の穿孔あり。外面に一部赤色塗彩あり
191	SK30埋土上層・床面直上		1179・1190・1202・1211	第112図PL.62	弥生土器	高坏	口径：25.2※ 器高：19.2 底径：12.4	外面：口縁部刺突後、強いナデ。坏体部ミガキ。脚部ハケ目後、上位に7条の凹線、下位に3条の凹線、脚端部に2～3条の凹線。 内面：坏部ミガキ。脚部上位ナデ、しぼり痕、残りヘラケズリ後ナデ。	密(微砂粒を含む)	良好	外面：淡黄色 内面：浅黄色	脚部に2段(上5つ・下7つ)の三角形透かし。外面・坏部内面に黒斑あり
192	SK32埋土		1793・1992・1993・1999	第114図PL.60	弥生土器	甕	口径：17.4※ 器高：28.9△ 最大径：23.2※	外面：口縁部に凹線文。口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目後、一部ミガキ。下半はミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目後、中位でミガキ。下半はヘラケズリ後ミガキ。	密(1mm程度の石英を少し含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：浅黄褐色	
193	SK32埋土		1993	第114図PL.60	弥生土器	甕	口径：16.8※ 器高：4.6△	外面：口縁部3条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後、一部ヨコナデ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ナデ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：橙色～褐色	内外面にスス附着
194	SK32埋土		1992	第114図PL.60	弥生土器	甕	口径：16.8※ 器高：4.5△	外面：口縁部3条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁～頸部ナデ。胴部不明	やや密	良好	内外面：にぶい褐色	内外面にスス附着
195	SK32埋土		1993	第114図PL.60	弥生土器	甕	口径：15.2 器高：7.4△	外面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部は不明。	密(1～2mmの石英を含む)	良好	内外面：明黄褐色	外面にスス附着
196	SK32埋土		1992	第114図PL.60	弥生土器	甕	器高：3.4△	外面：口縁部に凹線。口縁～頸部ヨコナデ。頸部に貼付突帯。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密	良好	外面：橙色 内面：黒褐色	内面にスス附着
197	SK32埋土		1991	第114図PL.60	弥生土器	甕	器高：4.8△ 底径：7.9△	外面：ミガキ後一部ハケ目。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ。	密	良好	内外面：浅黄色	内外面にスス附着
198	SK32埋土		1991	第114図PL.60	弥生土器	甕	器高：7.2△ 底径：5.8※	外面：ミガキ後ナデ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ。	密	良好	外面：にぶい褐色 内面：褐色	内外面にスス附着。底面に黒斑
199	SK32埋土		1992・1993・1998	第114図PL.62	弥生土器	甕	器高：24.7△ 最大径：28.8※ 底径：7.5	外面：ハケ目後ミガキ。 内面：胴部上半は不明。下半はヘラケズリ。底部は指押さえ。	密(1～2mm程度の石英・砂粒を多く含む)	良好	外面：褐色 内面：明黄褐色	外面にスス附着
200	SK32埋土		1991	第114図PL.60	弥生土器	甕	器高：3.5△ 底径：6.0※	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ後ナデか。	密	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：褐色	内外面にスス附着
201	SK32埋土		1991	第114図PL.60	弥生土器	壺	口径：21.4※ 器高：2.9△	外面：口縁部4条の凹線、ヨコナデ。頸部ハケ目。 内面：ヨコナデ。	密(0.2mm程度の長石を多く含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	外面にスス附着
202	SK32埋土		1993	第114図PL.60	弥生土器	壺	最大径：23.4 器高：9.6△	外面：ハケ目後、2ヶ所に凹線文、柳摺斜格子文。 内面：ハケ目。	密(0.2～2mm程度の長石・石英を多く含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	外面にスス附着
203	SK32埋土		1991	第114図PL.60	弥生土器	壺	器高：10.7△	外面：ハケ目。貼付突帯。 内面：頸部ハケ目。突帯付近は指押さえ、ヘラケズリ。	密(0.1mm程度の長石を多く含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：褐色	
204	SK35埋土		1832	第117図PL.59	弥生土器	甕	口径：13.5※ 器高：17.1△ 最大径：18.4※	外面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目、一部ミガキ。下半ハケ目後ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上位ナデ。胴部ハケ目後ミガキ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	内外面にスス附着
205	SK35埋土		1832・1910	第117図PL.62	弥生土器	甕	口径：13.5※ 器高：17.0△ 最大径：18.4※	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目。下半ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目。下半ミガキ。底部ヘラケズリ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
206	SK35埋土		1837	第117図PL.59	弥生土器	壺または甕	器高：4.8△ 底径：4.8※	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ。	密	良好	外面：褐色～明褐色 内面：黒褐色	
207	SK35埋土		1910	第117図PL.59	弥生土器	壺または甕	器高：6.9△ 底径：3.8※	外面：ハケ目後ミガキ。 内面：胴部ヘラケズリ後ナデ。底部は指押さえ。	密(0.01mm程度の石英・砂粒を含む)	良好	外面：にぶい黄褐色～黒色 内面：灰黄色～灰黄褐色～黒色	

第4節 殿河内定屋ノ前遺跡出土の分銅形土製品について

表92 土器・土製品遺物観察表(9)

遺物番号	遺地層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
208	SK39 黒褐色土	1873	第119図 PL.61	弥生土器 壺	器高：1.3△	外面：口縁端部に刺突文。上面に櫛描斜格子文。 内面：ナデ。	密(0.5～1mm程度の長石を含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	
209	SK39 黒褐色土	2046	第119図 PL.61	弥生土器 壺	口径：21.8※ 器高：4.3△	外面：口縁部3条の沈線後、刻み目、円形浮文。頸部ヨコナデ。 内面：口縁上面波状文、刻み目文。頸部ヨコナデ。	密(1mm程度の長石を多く含む)	良好	外面：黒褐色 内面：褐灰色	
210	SK39 黒褐色土	1905	第119図 PL.61	弥生土器 壺	口径：22.8※ 器高：1.6△	外面：貝殻腹縁による刺突後、3条の凹線。上面に波状文、凹線文。 内面：ナデ。	密	良好	外面：褐色 内面：にぶい褐色	
211	SK39 黒褐色土	1906	第119図 PL.61	弥生土器 壺	口径：8.2※ 器高：3.0△	外面：口縁部2条の凹線、刻み目。 口縁～頸部ヨコナデ。 内面：ヘラケズリ後ナデ。	密(0.2～0.5mm程度の長石を多く含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：にぶい黄褐色	
212	SK39 黒褐色土	2045・ 2065	第119図 PL.61	弥生土器 壺	器高：16.0△	外面：胴部上半ハケ目。下半ミガキ。中位付近に刺突文。 内面：胴部ハケ目。指押さえ。	密(0.5～2mm程度の長石を含む)	良好	外面：灰黄褐色 内面：にぶい黄褐色	
213	SK39 黒褐色土	1881・ 1907	第119図 PL.61	弥生土器 甕	口径：17.2※ 器高：7.2△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヨコハケ後ナデ。	密	良好	外面：にぶい黄色 内面：黄褐色	
214	SK39 黒褐色土	2045	第119図 PL.61	弥生土器 甕	口径：18.2※ 器高：3.4△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ミガキ。	密	良好	外面：浅黄褐色 内面：にぶい褐色	内外面にスス附着
215	SK39 黒褐色土	1908	第119図 PL.61	弥生土器 甕	口径：17.3※ 器高：9.8△	外面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色～黒褐色	外面にスス附着、黒斑あり
216	SK39 埋土	1876・ 1905	第119図 PL.61	弥生土器 甕	器高：8.0△	外面：胴部上位ナデ。残りハケ目。 内面：胴部上位ヨコナデ。残りハケ目後ナデ。	密	良好	外面：黒褐色～にぶい黄褐色 内面：黒褐色	
217	SK39 黒褐色土	1905	第119図 PL.61	弥生土器 壺または甕	器高：4.5△ 底径：7.3※	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ後ナデ。底部ナデ。	密(0.01～0.2mm程度の長石を多く含む)	良好	外面：灰褐色～黒色 内面：灰褐色～にぶい黄褐色	内面に黒斑あり。内外面にスス附着
218	SK39 黒褐色土	1908	第119図 PL.61	弥生土器 手捏ね土器	器高：2.7△	外面：面取り後ナデ。 内面：ナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	外面にスス附着
219	SK39 黒褐色土	1873	第119図 PL.61	弥生土器 壺または甕	器高：2.5△ 底径：5.6※	外面：胴部ナデ。底面ミガキ。 内面：ヘラケズリ後ナデ。	密	良好	外面：暗褐色 内面：黒褐色	外面にスス附着
220	SK39 黒褐色土	1905	第119図 PL.61	弥生土器 壺または甕	器高：4.8△ 底径：6.4※	外面：胴部ヘラミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ後ナデ。	密(3mm程度の長石を少し含む)	良好	外面：灰黄褐色～黒褐色 内面：にぶい黄褐色	
221	SK39 黒褐色土	1906・ 1909	第119図 PL.61	弥生土器 壺または甕	器高：8.3△ 底径：8.6※	外面：胴部～底面ミガキ。 内面：ヘラケズリ後、一部ミガキ。 底部ミガキ。	密	良好	外面：にぶい褐色～暗褐色 内面：にぶい黄褐色～黄灰色	外面に黒斑あり
222	SK39 黒褐色土	1880・ 1905・ 2046・ 2048・ 2052	第119図 PL.61	弥生土器 高坏	口径：24.8※ 器高：9.7△	外面：口縁部3条の凹線後ヨコナデ。体部ハケ目後ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後、底部はミガキ。	密(微砂粒を含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色～黒褐色	内外面に黒斑あり
223	SK47周辺 黒褐色土	2096～ 98	第121図 PL.63	弥生土器 甕	口径：17.4※ 器高：13.3△ 最大径：22.5※	外面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後、一部ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目	密(1mm程度の石英を少し含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：にぶい黄褐色	
224	SK48 黒褐色土	2183	第122図 PL.63	弥生土器 甕	口径：16.0※ 器高：13.3△	外面：口縁部3条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目、指押さえ。	密	良好	内外面：明黄褐色～黒褐色	
225	SK48周辺 黒褐色土	2086・ 2088～ 90	第122図 PL.63	弥生土器 壺または甕	器高：14.5△ 底径：5.8※	外面：胴部ハケ目。底面ナデ。 内面：胴部中位ハケ目、指押さえ。 下半ヘラケズリ。底部指押さえ。	密(石英を含む)	良好	外面：にぶい赤褐色～褐色 内面：浅黄褐色～黒褐色	外面にスス附着
226	SK48 黒褐色土	2184	第122図 PL.63	弥生土器 壺または甕	器高：3.1△ 底径：5.3※	外面：胴部ミガキ。 内面：胴部ヘラケズリ。底部指押さえ。	密(石英を含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：暗灰黄色	
227	SK48周辺 黒褐色土	2091	第122図 PL.63	弥生土器 壺	口径：22.0※ 器高：6.3△	外面：口縁部3条の凹線、ヨコナデ。 頸部ハケ目後ヨコナデ。 内面：口縁部波状文。頸部ヨコナデ。	密	良好	外面：黒褐色 内面：暗褐色	
228	SD 2 埋土	138	第126図 PL.66	弥生土器 壺	口径：17.6※ 器高：2.1△	外面：口縁部2条の凹線、ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	密(1mm程度の長石を少し含む)	良好	内外面：明黄褐色	
229	SD 2 埋土	138	第126図 PL.66	弥生土器 甕	器高：2.2△	外面：口縁部3条の凹線、ヨコナデ。 内面：ヨコナデ、ヘラケズリ。	密(微砂粒を含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	
230	SD 2 埋土	138	第126図 PL.66	弥生土器 壺	器高：3.0△	外面：口縁部2～3条の凹線、ヨコナデ。 内面：ハケ目。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
231	SD 2 埋土一括	563	第126図 PL.66	弥生土器 壺または甕	器高：4.0△ 底径：5.2※	外面：ミガキ。 内面：ナデ、指押さえ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
232	SD 2 埋土一括	563	第126図 PL.66	弥生土器 壺または甕	器高：2.2△ 底径：4.8※	外面：底部ナデ。 内面：ナデ。	密	良好	内外面：浅黄褐色	
233	SD 3 黒褐色土	1276	第128図 PL.66	弥生土器 高坏か	器高：6.6△ 底径：7.0※	外面：ミガキ後、3～4条の沈線を4ヶ所入れる。 内面：脚部上位ナデ、しまり目。中位ケズリ、ケズリ後ナデ。脚部近ミガキ。	密(0.2～5mm程度の長石を数粒含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	未貫通の三角形透かしを3段入れる
234	SD 4 埋土	2123・ 2127	第130図 PL.65	弥生土器 壺	口径：24.6※ 器高：3.9△	外面：口縁部4条の凹線文。口縁～頸部ヨコナデ。頸部ハケ目。 内面：口縁部ナデ。頸部ハケ目後ナデ。	密	良好	内外面：黒褐色	

第5章 総括

表93 土器・土製品遺物観察表(10)

遺物番号	遺地構区名	取り上げ番号	挿図PL	種類	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
235	SD 4 黒褐色土	2134	第130図 PL.65	弥生土器 壺	器高：9.8△	外面：頸部上位と突帯部をヨコナデ、残りハケ目。 内面：ナデ、突帯内側を強いナデ。	密(1mm程度の砂粒を含む)	良好	外面：にぶい黄褐色～暗褐色 内面：にぶい黄褐色～暗褐色	
236	SD 4 黒褐色土	2175・ 2181	第130図 PL.65	弥生土器 壺	器高：19.8△ 最大径：27.6※	外面：頸部～胴部上半ハケ目、頸部一部ヨコナデ。胴部下半ミガキ。 内面：頸部ナデ。胴部上半不明、下半ヘラケズリ。	密(1～3mm程度の石英・砂粒を含む)	良好	外面：褐色 内面：橙色	
237	SD 4 埋土	1870	第130図 PL.65	弥生土器 壺	器高：1.3△	外面：口縁部2条の凹線後刻み目、ナデ。 内面：ナデ。	密(1～2mm程度の長石を数粒を含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：橙色	
238	SD 4 黒褐色土	2182	第130図 PL.65	弥生土器 壺	口径：10.2※ 器高：4.8△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ミガキ後ナデ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色～黒褐色 内面：にぶい黄褐色	
239	SD 4 黒褐色土	2134	第130図 PL.66	弥生土器 甗	口径：18.2※ 器高：28.1△ 最大径：21.3※ 底径：5.6	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目、下半ハケ目後ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目後指押さえ、下半ヘラケズリ後ナデ。底部指押さえ。	密(微砂粒を多く含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色～黒褐色	内外面にスス附着
240	SD 4 黒褐色土	2185	第130図 PL.64	弥生土器 甗	口径：17.0※ 器高：19.5△ 最大径：20.2※	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目、下半ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目後指押さえ、下半ヘラケズリ。	密(微砂粒を含む)	良好	外面：褐色 内面：明黄褐色～にぶい黄褐色	内面に黒斑あり。外面にスス附着
241	SD 4 黒褐色土	2177・ 2179	第130図 PL.64	弥生土器 甗	口径：16.6※ 器高：17.7△ 最大径：23.0※	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目、下半ハケ目後ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ナデ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色～黒褐色 内面：にぶい黄褐色	外面にスス附着
242	SD 4 黒褐色土	2182	第130図 PL.64	弥生土器 甗	口径：17.0※ 器高：11.4△ 最大径：20.6※	外面：口縁部3条の沈線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ミガキ、中位に刺突文。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後指押さえ。	密(1mm程度の砂粒を含む)	良好	外面：にぶい黄褐色～橙色 内面：にぶい黄褐色～黒褐色	
243	SD 4 埋土	1848	第130図 PL.64	弥生土器 甗	口径：16.8※ 器高：4.2△	外面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目、一部ミガキ。 内面：口縁部付近ヨコナデ。頸部ハケ目、ナデ。胴部ハケ目。	密	良好	外面：黒褐色 内面：にぶい黄褐色	
244	SD 4 黒褐色土	2180	第130図 PL.64	弥生土器	口径：19.8※ 器高：5.2△	外面：口縁部3条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。頸部貼付突帯。胴部ハケ目。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ナデ。	密(0.5～3mm程度の長石を含む)	良好	外面：にぶい黄褐色～灰黄褐色 内面：にぶい黄褐色	外面にスス附着
245	SD 4 黒褐色土	2179	第130図 PL.64	弥生土器 甗	器高：8.3△	外面：口縁部2条以上の凹線。口縁～頸部ヨコナデ、貼付突帯文。胴部ハケ目。 内面：胴部ハケ目。残り不明。	密	良好	外面：浅黄色 内面：黒色 内面：浅黄色	
246	SD 4 埋土	1870	第130図 PL.65	弥生土器 壺	口径：9.0※ 器高：2.6△	外面：口縁部2条の凹線文。頸部ヨコナデ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ミガキ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：明黄褐色	
247	SD 4 埋土	1942	第130図 PL.64	弥生土器 甗	口径：9.2 器高：4.4△ 最大径：9.1※	外面：ミガキ。 内面：口縁～胴部上半ヨコミガキ。胴部下半タテミガキ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：にぶい黄褐色	
248	SD 4 黒褐色土	2182	第130図 PL.66	弥生土器 壺または甗	器高：15.0△ 底径：9.4	外面：胴部ヨコ～タテミガキ。底部付近ヨコナデ。 内面：胴部ミガキ。底部指押さえ。	密(石英と0.1mm程度の砂粒を多く含む)	良好	外面：浅黄褐色 内面：浅黄色	外面に黒斑あり
249	SD 4 埋土	1842	第130図 PL.64	弥生土器 壺または甗	器高：3.5△ 底径：5.2	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ後ナデ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色～褐色 内面：褐色 内面：灰黄褐色	
250	SD 4 黒褐色土	2133	第130図 PL.65	弥生土器 鉢	口径：13.3※ 器高：11.3 底径：4.0※	外面：ミガキ。 内面：口縁部ヨコナデ。胴部上半ヘラケズリ、下半ヘラケズリ後ミガキ。	密(1～2mm程度の石英・砂粒を含む)	良好	内外面：橙～褐色	内外面にスス附着
251	SD 4 埋土	1942	第130図 PL.65	弥生土器 高坏	器高：2.5△	外面：口縁部2条の凹線、ヨコナデ～ナデ。 内面：ヨコナデ～ナデ。	やや密	良好	内外面：灰黄褐色	
252	SD 4 黒褐色土	1798・ 1942	第130図 PL.65	弥生土器 高坏	器高：5.1△ 底径：9.2※	外面：ミガキ後2ヶ所に沈線、2段の斜格子文。脚部付近に刻み目。 内面：脚部中位しぼり目後ナデ。下位ヘラケズリ後ナデ。	密	良好	内外面：黒褐色	
253	SS 1 3区黒褐色土	1928・ 1940	第130図 PL.69	弥生土器 甗	口径：18.4※ 器高：12.9△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ミガキ、指押さえ。下半ミガキ。	密(石英を含む)	やや不良	内外面：浅黄褐色	外面にスス附着、黒斑あり
254	ピット群3 P19埋土	1882	第138図 PL.65	弥生土器 壺	器高：13.2△ 最大径：17.2※	外面：胴部上半ハケ目、一部ヨコナデ。胴部下半ミガキ。 内面：胴部上半ハケ目、下半ミガキ。底部ヘラケズリ。	密(1mm程度の石英を少し含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：にぶい黄褐色	
255	ピット群3 P22埋土	2093	第138図 PL.65	弥生土器 壺または甗	器高：8.7△ 底径：5.2	外面：ミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ後ナデ、指押さえ。底部付近ナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
256	ピット群4 P49埋土	1376	第142図 PL.65	弥生土器 壺または甗	器高：1.7△	外面：口縁部3条の平行沈線、ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	密(1mm程度の砂粒を含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色～暗褐色	外面にスス附着
257	ピット群4 P7埋土	1374	第142図 PL.65	弥生土器 壺	口径：22.0※ 器高：4.3△	外面：口縁部4条の凹線。口縁～頸部突帯ヨコナデ。残りハケ目後、一部ナデ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。頸部ハケ目。	密(0.1～0.2mm程度の長石・石英を含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	内外面にスス附着

第4節 殿河内定屋ノ前遺跡出土の分銅形土製品について

表94 土器・土製品遺物観察表(11)

遺物番号	遺地・横区名	取り上げ番号	挿図PL	種類	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
258	ビット群4 P49埋土	1376	第142図 PL.65	弥生土器 壺または甕	器高：2.4△ 底径：5.0※	外面：ミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ後ナデ。	密(0.5～1mm程度の長石・石英を含む)	良好	内外面：褐灰色～灰黄褐色	外面にスス付着。底面に黒斑あり
259	ビット群4 P18埋土	1379	第142図 PL.65	弥生土器 壺または甕	器高：3.7△ 底径：5.2※	外面：ミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ後ナデ。底部付近指押さえナデ。	密	良好	外面：橙色～褐灰色 内面：橙色～黒褐色	外面にスス付着
260	ビット群5 P47埋土	1644	第144図 PL.65	弥生土器 甕	器高：1.9△	外面：口縁部2条以上の凹線、ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	密(砂粒を含む)	良好	外面：灰黄褐色 内面：明黄褐色	
261	ビット群5 P17埋土	1641	第144図 PL.65	弥生土器 甕	器高：1.9△	内外面：ヨコナデ	密	良好	内外面：褐色	
262	ビット群5 P17埋土	1641	第144図	須恵器 蓋坏	器高：1.8△	外面：回転ヘラケズリ、ヨコナデ 内面：ヨコナデ。	密(4mm弱の石英、1mm程度の砂粒を含む)	良好	内外面：灰色	
263	ビット群7 P11埋土	1976	第147図 PL.65	弥生土器 壺または甕	器高：3.0△ 底径：8.2※	外面：ミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ後ナデ、指押さえ。	やや密	良好	外面：にぶい橙色 内面：にぶい黄褐色	
264	ビット群7 P2埋土	1971	第147図 PL.65	弥生土器 壺または甕	器高：3.2△ 底径：8.0※	外面：ミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ後ミガキ、指押さえ。	密	良好	外面：淡黄褐色 内面：にぶい黄褐色	
265	ビット群9 P3埋土	321	第150図 PL.65	弥生土器 甕	口径：18.0※ 器高：1.5△	外面：口縁部1条の凹線、ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	
266	ビット群10 P1-2埋土3層	500	第152図 PL.65	弥生土器 甕	口径：17.0※ 器高：4.0△	外面：口縁部3条の凹線文。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目、一部指押さえ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ナデ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色～黒褐色 内面：にぶい黄褐色	外面にスス付着
267	ビット群10 P1-2埋土2層	502	第152図 PL.65	弥生土器 壺または甕	器高：4.1△ 底径：5.4※	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：ヘラケズリ。底部付近ナデ。	密(1mm程度の砂粒を含む)	良好	外面：にぶい橙色～黒褐色 内面：にぶい黄褐色～暗褐色	内外面にスス付着
268	土器溜り1	899・903	第154図 PL.67	弥生土器 壺	口径：22.2※ 器高：11.1△	外面：口縁部3条の凹線・刺突文。頸部5条以上の凹線文。頸部中位ハケ目、残りヨコナデ。 内面：頸部中位ハケ目後ナデ、残りはヨコナデ。	密	良好	外面：明赤褐色 内面：明赤褐色～黒褐色	
269	土器溜り1	899	第154図 PL.67	弥生土器 壺	器高：7.5△	外面：頸部および突帯ヨコナデ、7条の平行沈線・波状文・8条の平行沈線。 内面：剥落のため調整不明。	密	良好	内外面：橙色	
270	土器溜り1	819～821・902	第154図 PL.67	弥生土器 壺	口径：21.3※ 器高：11.4△	外面：口縁部刻み目。口縁～頸部ヨコナデ。頸部ハケ目。貼付突帯文。 内面：口縁部付近に櫛歯文。頸部ハケ目。胴部不明。	密(1mm程度の石英を少し含む)	良好	内外面：明黄褐色	
271	土器溜り1	819～821・903	第154図 PL.67	弥生土器 壺体部	器高：20.6△ 最大径：21.8※	外面：胴部上位ハケ目。中位ヨコミガキ。下位タテミガキ。底面ナデ。 内面：胴部上半ハケ目。下半ヘラケズリ。	密(0.5～1mm程度の長石・石英を多く含む)	良好	内外面：橙色～にぶい橙色	
272	土器溜り1	821	第154図 PL.67	弥生土器 甕	口径：15.0※ 器高：9.0△	外面：口縁部刻み目後1条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部上位ハケ目、残りは剥落のため不明。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密(0.2～0.5mm程度の長石・石英を含む)	やや不良	内外面：にぶい橙色～褐色	
273	土器溜り1	902	第154図 PL.67	弥生土器 甕	器高：31.8△ 最大径：27.9※ 底径：9.2※	外面：胴部上位ハケ目。中位ヨコミガキ。下位タテミガキ。底部付近ミガキ後ヨコナデ。底面ナデ。 内面：ハケ目後、一部ヨコナデ。胴部下半は不明。	密(0.1mm程度の石英・長石・砂粒を多く含む)	やや不良	外面：にぶい黄褐色 内面：にぶい黄褐色～赤褐色	
274	土器溜り1	820・899・902	第154図 PL.67	弥生土器 甕	器高：11.7△ 底径：7.7※	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：調整不明。	密	やや不良	外面：明黄褐色 内面：黄褐色～褐色～黒色	
275	土器溜り1	819・821・889	第154図 PL.67	弥生土器 甕	器高：18.6△ 最大径：22.0※ 底径：5.3※	外面：胴部ハケ目後ミガキ。胴部中位に刻み目。底面ナデ。 内面：胴部中位ミガキ、残りはヘラケズリ後ミガキ。	密(1mm程度の砂粒を含む)	良好	外面：橙色～黒褐色 内面：浅黄褐色～黒褐色	内外面にスス付着
276	土器溜り1	128	第154図 PL.67	弥生土器 甕	器高：8.7△ 底径：9.8	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：ケズリ後、丁寧なナデ。	密(0.2～3mm程度の長石・石英を多く含む)	良好	内外面：にぶい橙色～褐色	
277	土器溜り1	819・899	第154図 PL.67	弥生土器 甕	器高：11.6△ 底径：10.8※	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：剥落のため大部分不明、ケズリか。	密(0.1mm程度の長石・石英を多く含む)	やや不良	外面：にぶい黄褐色～黒色 内面：黒褐色	
278	土器溜り2	1823・1845・1939・1948・1963・1973・1984・2035・2040・2071・2074	第156図 PL.68	弥生土器 壺	口径：27.8※ 器高：39.0△ 最大径：45.0※	外面：口縁部刻み目、円形浮文、ヨコナデ。頸部ハケ目。胴部ハケ目後ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ、一部工具痕。頸部～胴部ハケ目。	密(1～2mm程度の石英を少し含む)	良好	外面：にぶい褐色 内面：明黄褐色	
279	土器溜り2	1945・1946・1952・1954	第156図 PL.67・68	弥生土器 壺	口径：12.4 器高：21.2△ 最大径：25.9※	外面：口縁部3条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。頸部ハケ目後ヨコナデ。胴部ハケ目後、下半はミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。頸部と胴部下位ハケ目後ミガキ、胴部残りハケ目。	密(1mm程度の石英を少し含む)	良好	外面：褐色 内面：明黄褐色	

第5章 総括

表95 土器・土製品遺物観察表(12)

遺物番号	遺構 遺地 層位名	取り上げ 番号	挿図 PL	種類 器種	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
280	土器溜り2	1765・ 1939・ 1964	第156図 PL.69	弥生土器 甕	口径：20.6※ 器高：7.7△	外面：口縁部刻み目後2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ヨコナデ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ナデ。	密	良好	外面：黒褐色～黒色 内面：黒褐色	
281	土器溜り2	1866	第156図 PL.69	弥生土器 甕	口径：11.8※ 器高：6.8△	外面：口縁部3条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密(0.5～2mm程度の長石を数粒含む)	良好	内外面：にぶい 橙色	外面にスス附着
282	土器溜り2	2035・ 2040・ 2074	第156図 PL.66・ 67	弥生土器 甕	口径：14.4※ 器高：23.5△ 最大径：18.8※	外面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目後ナデ。胴部下半ヘラケズリ後ナデ。	密(1mm程度の砂粒を含む)	良好	外面：にぶい 黄褐色～黒褐色 内面：灰黄色～ 明黄褐色～ 黒褐色	
283	土器溜り2	1802・ 1868・ 1952	第156図 PL.69	弥生土器 甕	口径：14.6※ 器高：12.7△	外面：口縁部3条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部上半ハケ目後ナデ。下半ヘラケズリ後ハケ目。	密	良好	内外面：にぶい 黄褐色	
284	土器溜り2	1952	第156図 PL.69	弥生土器 甕	口径：11.6※ 器高：6.4△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目後ミガキ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。	密(0.5～2mm程度の長石・石英を多く含む)	良好	外面：にぶい 黄褐色 内面：黄灰色	
285	土器溜り2	1945	第156図 PL.69	弥生土器 甕	口径：21.0※ 器高：3.5△	外面：口縁部刻み目後3条の凹線。ヨコナデ。頸部に貼付突帯。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：にぶい 黄褐色	外面にスス附着
286	土器溜り2	1939	第156図 PL.69	弥生土器 甕	口径：19.0※ 器高：4.3△	外面：口縁部2条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。頸部に貼付刻み目突帯。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケ目。	密	良好	内外面：にぶい 黄褐色	
287	土器溜り2	1864・ 1939・ 1952	第156図 PL.67・ 68	弥生土器 壺	口径：8.1※ 器高：16.5△ 最大径：15.6※	外面：口縁部3条の凹線。頸部～胴部上半ハケ目。胴部下半ミガキ。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部しほり痕。胴部上半指押さえ。胴部下半ハケ目後指押さえ。底部ナデ。	密(1～2mm程度の砂粒を含む)	良好	外面：浅黄褐色～ にぶい黄褐色 内面：浅黄褐色	外面に黒斑あり
288	土器溜り2	1868・ 1939・ 1948・ 1973	第156図 PL.67・ 68	弥生土器 甕	器高：21.1△ 最大径：20.2※ 底径：4.6※	外面：胴部ミガキ。中位に刻み目。底面ヘラ切り後ナデ。 内面：胴部ヘラケズリ後ナデ。底部指押さえ。	密	良好	内外面：暗褐色 ～黒褐色	
289	土器溜り2	1943・ 45・1955 ～57・ 1964	第156図 PL.67	弥生土器 甕	器高：24.3△ 最大径：27.6※ 底径：6.3※	外面：胴部上半ハケ目後ミガキ。下半ミガキ。底面ナデ。 内面：胴部上半ハケ目。下半ヘラケズリ。	密(0.5～1mm程度の砂粒を多く含む)	良好	内外面：明黄褐色	内外面にスス附着
290	土器溜り2 検出面	1866	第156図 PL.69	弥生土器 壺または甕	器高：3.9△ 底径：5.2※	外面：胴部ミガキ。 内面：ヘラケズリ後ヨコナデ。	密(0.01mm程度の長石を多く含む)	良好	外面：にぶい 黄褐色 内面：黒褐色	内外面にスス附着。底部に穿孔あり
291	土器溜り2	1943	第156図 PL.67	弥生土器 壺または甕	器高：7.5△ 底径：8.0	外面：ミガキ。 内面：ヘラケズリ後ナデ。	密(1～3mm程度の石英を多く含む)	良好	外面：にぶい 赤褐色 内面：橙色	外面にスス附着
292	土器溜り2	1799・ 2028・ 2042	第157図 PL.67・ 68	弥生土器 高坏	口径：23.7 器高：13.0 底径：9.2	外面：口縁端部に刺突文。口縁下に3条の凹線。体部ハケ目後タテ～斜めミガキ。脚部ナデ。 内面：口縁付近ヨコミガキ。残りタテ～斜めミガキ。脚内面指押さえ後ナデ。	密(0.5～4mm程度の長石を含む)	良好	外面：(にぶい 橙色～にぶい 褐色 内面：橙色～ 灰褐色	外面に黒斑あり
293	土器溜り2	1864	第157図 PL.69	弥生土器 土製紡錘車	最大長：4.8 最大幅：4.5 最大厚：0.6	凸面：ハケメ 凹面：指押さえ後ハケメ			凹凸面：にぶい 黄褐色	凹面から穿孔(貫通しない)
294	土器溜り3	2061	第158図 PL.68	弥生土器 壺	口径：25.8※ 器高：15.7△	外面：口縁部4条の凹線。棒状浮文。口縁～上の突帯ヨコナデ。頸部中位ハケ目後ナデ。下の突帯ヨコナデ。突帯より下方ハケ目後ナデ。 内面：口縁～頸部上半ヨコナデ。頸部下半ナデ。	密	良好	外面：橙色～ にぶい褐色 内面：橙色	
295	SK38 埋土一括	1761・ 1883	第161図 PL.70	須恵器 短頸壺	口径：12.2※ 器高：8.9△ 最大径：16.2※	外面：口縁～胴部上半ヨコナデ。胴部下半ナデ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	外面：褐色 内面：にぶい 褐色	
296	SK38 埋土一括	2207	第161図 PL.70	弥生土器 壺または甕	器高：2.2△ 底径：6.1※	外面：胴部ミガキ。底面ナデ。 内面：胴部ヘラケズリ後ナデ。底部は指押さえ。	密(0.5～1mm程度の長石を含む)	良好	内外面：にぶい 黄褐色	
297	SX4 底面	371	第165図 PL.70	須恵器 甕	器高：△3.1	外面：平行タタキ。 内面：ナデ。	密	良好	内外面：灰色	
298	SX4 埋土	115	第165図 PL.70	弥生土器 壺	器高：△1.8	外面：口縁部3条の凹線。頸部ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：浅黄色	
299	石列	242	第169図 PL.70	弥生土器 甕	口径：19.2※ 器高：5.2△	外面：口縁部1条凹線。肩部タテハケ目。 内面：口縁部～頸部ヨコナデ。肩部斜方向ハケ目。	密	良好	内外面：にぶい 黄褐色	Ⅲ-3
300	石列	242	第169図 PL.70	弥生土器 壺	口径：21.8※ 器高：5.8△	外面：口縁部3条凹線。頸部タテハケ目。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部ヨコハケ目。	密	良好	内外面：にぶい 黄色	Ⅳ-2
301	石列	241	第169図 PL.70	陶器 捕鉢	口径：30.2※ 器高：5.5△	外面：口縁部2条凹線。以下ナデ。 内面：口縁端部段あり。体部卸目。	密	良好	内外面：明赤褐色	
302	石列	506	第169図 PL.70	陶器 鉢	器高：2.9△ 底径：22.0※	外面：ナデ。内面：格子叩き痕。	密	良好	内外面とも褐色 灰色	
303	石列	241	第169図 PL.70	施釉陶器 壺	器高：6.1△ 底径：11.2※	外面：底部付近まで施釉。底部露胎。 内面：施釉。	密	良好	外面：赤灰～ 暗赤灰色 内面：灰赤～ 暗赤灰色	
304	SK49 黒褐色土	2193	第178図 PL.70	弥生土器 甕	口径：19.0※ 器高：5.8△	外面：口縁部6条の凹線。口縁～頸部ヨコナデ。肩部に刺突文。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ後ナデ。	密	良好	外面：橙色 内面：明黄褐色	

第4節 殿河内定屋ノ前遺跡出土の分銅形土製品について

表96 土器・土製品遺物観察表(13)

遺物番号	遺地・横区名	取り上げ番号	挿図PL	種類	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
305	SK49 黒褐色土	2193	第178図 PL70	弥生土器 甕	口径：16.6※ 器高：4.5△	外面：口縁部3～7条の平行沈線。口縁～頸部ヨコナデ。 内面：口縁～頸部ヨコナデ。胴部ハケズリ。	密(0.5～3mm程度の長石・石英を多く含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	
306	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	978	第185図 PL79	縄文土器 深鉢	器高：4.3△	外面：LR縄文。 内面：条痕後一部ナデ。	やや密(1mm程度の砂粒含む)	良好	外面：暗褐色 内面：にぶい黄褐～黒褐色	
307	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	970	第185図 PL79	縄文土器 深鉢	器高：5.4△	外面：口縁部刻み目のある貼り付け突帯。以下粗いナデ。 内面：粗いナデ。	やや密(1～2mmの砂粒含む)	良好	内外面：褐灰色	外面スス付着。
308	3区C12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1809	第185図 PL79	縄文土器 深鉢	器高：2.9△	外面：口縁部付近刻み目を施す貼り付け突帯。全体に粗いナデ。 内面：ナデ。	密(2mm以下の砂粒含む)	良好	内外面：淡黄色	
309	2区G13グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	756	第185図 PL79	縄文土器 粗製深鉢	器高：3.8△	内外面：粗いナデ。	密(1～2mmの砂粒含む)	良好	内外面：明黄褐色	
310	3区C14グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1843・ 2074	第185図 PL79	縄文土器 深鉢	口径：33.0※ 器高：10.4△	外面：口縁部付近刻み目を施す貼り付け突帯。全体に粗いナデ。 内面：粗いナデ。	密	良好	外面：浅黄～灰黄色 内面：浅黄色	
311	2区G13グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	756	第185図 PL79	縄文土器 浅鉢	口径：26.0※ 器高：4.0△	内外面：ミガキ。	密	良好	外面：にぶい赤褐色 内面：黒褐色	突帯文系第2様式
312	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	826	第185図 PL73	弥生土器 壺	口径：23.1※ 器高：3.4△	外面：口縁部3条凹線。頸部ヨコナデ後断面三角形貼り付け突帯。 内面：ヨコナデ。	密(1mm前後の砂粒含む)	良好	外面：褐～暗褐色 内面：褐色	弥生IV-1。
313	2区G12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1134・ 1165	第185図 PL71	弥生土器 壺	口径：17.4 器高：10.4△	外面：口縁部3条凹線。下端部刻み目あり。頸部上半太い縦方向ミガキ。下半横方向ミガキ後5～6条凹線施される。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部ハケ目。	密	良好	外面：にぶい橙～橙褐色 内面：橙褐色	内面剥離。弥生IV-1
314	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	278	第185図 PL73	弥生土器 壺	口径：25.5※ 器高：2.1△	外面：口縁部3条凹線。頸部タテハケ。 内面：ヨコナデ。	密(1mm以下の石英・長石含む)	良好	外面：褐灰～にぶい黄褐色 内面：明黄褐色	口縁内面に黒斑あり。弥生IV-1。
315	2区F11グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	167	第185図 PL73	弥生土器 壺	口径：24.9※ 器高：3.0△	外面：口縁部4条凹線後円形浮文。下端部刻み目。頸部2条以上の断面三角形貼り付け突帯。 内面：ヨコナデ。	密(1～3mmの長石含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	弥生IV-1。
316	3区C・D13グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1823・ 1930	第185図 PL73	弥生土器 高坏脚部	器高：9.8△	外面：櫛歯平行沈線を施し、その間に刺突文・重弧文を施す。全体に縦方向ミガキ。 内面：ケズリ後丁寧なナデ。所々にミガキ。	密(0.5～1mm程度の長石・石英を含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：にぶい黄褐色	弥生IV-1か
317	3区C12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1835	第185図 PL71	弥生土器 壺	器高：12.6△	外面：頸部縦ハケ。中位付近2条断面三角形の突帯。 内面：ケズリ後ナデか。風化著しい。	密	良好	内外面：にぶい褐色	弥生IV-1か
318	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	873	第185図	弥生土器 壺	口径：13.6※ 器高：5.1△	外面：口縁部3条凹線。頸部タテハケ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：明黄褐色	弥生IV-1。
319	2区D13グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	747	第185図 PL73	弥生土器 壺	口径：14.2※ 器高：1.5△	外面：口縁部3条凹線。頸部ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	やや密	良好	内外面：浅黄褐色	弥生IV-2。
320	3区C14グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1806	第185図 PL73	弥生土器 壺	器高：3.0△	外面：口縁部3条凹線。頸部に付けてヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：橙褐色	弥生IV-1か
321	3区D12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1818	第185図 PL73	弥生土器 壺	器高：2.6△	外面：口縁部3条凹線後刻み。口縁下端部付近断面三角形突帯あり。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：橙褐色	弥生IV-1。残存率1/8以下
322	3区C13グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1813	第185図 PL73	弥生土器 壺	器高：1.7△	外面：口縁部3条凹線後円形浮文あり。 内面：ヨコナデ。	密(微砂多く含む)	良好	内外面：褐色	弥生IV-1か
323	2区F11グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	194・528	第185図 PL73	弥生土器 壺	器高：8.0△	外面：頸部波状文。以下10条平行沈線を施しタテハケ後波状文を施す。肩部凹線あり。 内面：上方向ケズリ。	密(1～2mmの砂粒含む)	良好	外面：橙褐色 内面：明褐色	
324	3区D12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1882	第185図 PL73	弥生土器 壺	器高：1.8△	外面：口縁部4条凹線後貼り付けの円形浮文あり。口縁下端部刻み。 内面：ナデ。	密(0.2～0.5mm以下の石英長石含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	弥生IV-3か
325	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	873・874	第185図 PL73	弥生土器 壺	器高：2.4△	外面：口縁部刻み目。頸部ミガキ。 内面：ミガキ。	密	良好	内外面：明褐色	弥生III-2。
326	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1273	第185図	弥生土器 甕	口径：16.4※ 器高：8.5△	外面：口縁部ヨコナデ。肩部タテハケ後ナデ。 内面：口縁部～頸部ヨコナデ。肩部以下斜方向ハケ目。	密	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：にぶい黄褐色	弥生III-3。
327	3区D13グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1977	第185図 PL72	弥生土器 甕	口径：19.4※ 器高：4.8△	外面：口縁部から肩部ヨコナデ。以下ミガキ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：にぶい黄褐色	弥生III-2
328	2区F14グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	741	第185図 PL72	弥生土器 甕	口径：13.0※ 器高：8.5△	外面：口縁部ヨコナデ。頸部以下タテハケ。体部中位付近縦方向ミガキ。 内面：口縁部ヨコナデ。肩部斜方向ハケ目。以下縦方向太いミガキ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	弥生III-2。

第5章 総括

表97 土器・土製品遺物観察表(14)

遺物番号	遺構 地層位名	取り上げ 番号	挿図 PL	種類 器種	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
329	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	978・ 1140	第185図 PL72	弥生土器 甕	口径：16.7※ 器高：13.7△	外面：口縁部ヨコナデ。頸部以下タテハケ。体部中位付近縦方向ミガキ。内面：口縁部ヨコナデ。肩部斜方向ハケ目。以下縦方向ミガキ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	内外面黒斑あり。弥生Ⅲ-3。
330	3区C14グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1843	第185図 PL72	弥生土器 甕	口径：11.8※ 器高：3.2△	外面：口縁部浅い1条凹線。肩部タテハケ。内面：口縁部ヨコナデ。頸部屈曲部以下ナデ。	密	良好	内外面：黒褐色	弥生Ⅲ-3
331	3区C13グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1086	第185図 PL72	弥生土器 甕	口径：13.1※ 器高：3.7△	外面：口縁部1条浅い凹線。肩部ミガキ。内面：口縁部ヨコナデ。頸部屈曲部以下ナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色～黒褐色	弥生Ⅲ-2
332	4区 極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	109	第185図	弥生土器 甕	器高：1.4△	外面：口縁部2条の凹線、口縁から頸部ヨコナデ。内面：ヨコナデ。	密(石英を含む)	やや不良	内外面：浅黄褐色	
333	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	861・ 973・ 978・ 1273・ 1354	第186図 PL71	弥生土器 甕	口径：19.5※ 器高：11.9△	外面：口縁部4条凹線。頸部刺頭圧痕文帯。以下タテハケ。内面：口縁部ヨコナデ。肩部横方向ミガキ。以下風化のため調整不明。	密	良好	内外面：明黄褐色	外面スス付着。
334	3区B14グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1795	第186図 PL72	弥生土器 甕	口径：17.6※ 器高：9.5△	外面：口縁部3条凹線後貝殻腹縁による刺突文。頸部以下ハケ目。内面：口縁部～肩部ナデ。以下ハケ目。	密	良好	外面：にぶい橙～褐灰色 内面：にぶい橙色	弥生Ⅳ-1
335	3区E12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1713	第186図	弥生土器 甕	器高：3.0△	外面：口縁部3条凹線。頸部指頭圧痕文帯。内面：ナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	弥生Ⅳ-1。
336	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	861	第186図 PL72	弥生土器 甕	器高：2.7△	外面：口縁部3条凹線後円形浮文あり。頸部指頭圧痕文帯。内面：ヨコナデ。	密(砂粒含む)	良好	内外面：黒褐色	内外面スス付着。弥生Ⅳ-1。
337	3区C12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1809	第186図	弥生土器 注口土器	器高：3.2△	外面：口縁部ナデ、以下斜格子文。内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：浅黄褐色	弥生Ⅲ-2か
338	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	861	第186図 PL72	弥生土器 甕	器高：6.0△ 底径：6.6※	外面：縦方向ミガキ。底部ナデ。内面：上方向ケズリ後ナデ。	密	良好	内外面：黒褐色	
339	2区F12・14 グリッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	167・285	第186図	弥生土器 甕	器高：3.0△ 底径：5.6※	外面：ミガキ。内面：ナデ。底部指押さえあり。	密	良好	外面：明赤褐～褐灰色 内面：にぶい黄褐色	
340	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1273	第186図	弥生土器 甕	器高：3.4△ 底径：6.0	外面：ミガキ。底部ナデ。内面：ミガキ。	密(0.5～2mmの石英・長石含む)	良好	外面：色 内面：にぶい橙色	
341	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	973	第186図 PL71	弥生土器 壺	器高：15.0△ 底径：5.6	外面：体部上半タテハケ後横方向ミガキ。貝殻腹縁による刺突文。下半ケズリ後縦方向ミガキ。内面：肩部指押さえあり。以下タテハケ。	密(0.5～2mmの石英・長石含む)	良好	内外面：黄褐色	外面スス付着。
342	3区C13グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1777	第186図 PL73	弥生土器 高坏坏部	口径：25.2※ 器高：4.6△	外面：口縁部2条凹線。坏部縦方向ミガキ。内面：口縁部ヨコナデ。坏部ミガキ。	密	良好	外面：明黄褐色から黒褐色 内面：明黄褐色	弥生Ⅳ-1か
343	2区E14グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	667	第186図	弥生土器 高坏	器高：4.4△	外面：口縁部櫛描斜格子文後円形浮文。口縁部4条凹線後右方向から刺突文。坏底部ハケ目後ミガキ。内面：ナデ。	密(0.5～1mm程度の長石含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：橙色	弥生Ⅳ-1。
344	2区F14グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	741	第186図 PL73	弥生土器 高坏	口径：37.0※ 器高：6.1△	外面：口縁部4条凹線。口縁部3条凹線。坏底部斜方向ハケ目後ミガキ。内面：口縁部ヨコナデ。坏底部ハケ目。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	弥生Ⅳ-1。
345	3区D14グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1800	第186図 PL73	弥生土器 高坏坏部	口径：19.4※ 器高：3.3△	外面：口縁部3条凹線。坏底部ミガキ。内面：口縁部ヨコナデ。坏底部斜方向ハケ目。	やや密	良好	外面：灰黄褐色 内面：にぶい黄褐色	弥生Ⅳ-1か
346	3区C14グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1843	第186図 PL73	弥生土器 高坏坏部	口径：19.8※ 器高：4.3△	外面：口縁部ナデ後刺突文。坏底部ミガキ。内面：口縁部ヨコナデ。坏底部ミガキ。	密(0.5～1mm程度の金雲母含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	弥生Ⅳ-1
347	3区C14グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1806	第186図 PL73	縄文土器 深鉢	器高：4.1△	外面：口縁部付近刻み目を施す貼り付け突帯。全体に粗いナデ。内面：ナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	晩期
348	2区E13グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	291	第186図 PL76	弥生土器 高坏	器高：3.9△	外面：凹線。坏底部ミガキ。内面：ミガキ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	弥生Ⅳ-1か。
349	3区C13グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1786	第186図 PL73	弥生土器 高坏脚部	器高：5.5△ 底径：8.6※	外面：ハケ目後ミガキ。内面：ケズリ後ナデ。	密	良好	外面：赤褐色 内面：黒褐色	外面赤色塗彩
350	3区C・D14グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	1800・ 1845	第186図 PL73	弥生土器 高坏脚部	器高：7.8△ 底径：8.6※	外面：上半部断面三角形突帯3条巡らし、下半部3～4条からなる凹線帯の間に三角形透かしを施す。内面：ナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	弥生Ⅳ-1か
351	2区F14グ リッド極暗褐色～黒色土 (V・VI層)	754	第186図	弥生土器 高坏脚部	器高：4.5△	外面：7条凹線後羽状文。端部2条凹線。内面：ミガキ。	密(石英・砂粒含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	弥生Ⅳ-2か。
352	2区F11グ リッド攪乱土中	848	第186図	弥生土器 高坏	器高：2.8△ 底径：15.6※	外面：3条凹線。内面：端部ヨコナデ。以上ミガキ。	密(1mm以下の砂粒含む)	良好	内外面：浅黄褐色	外面黒斑あり。弥生Ⅳ-2か。

第4節 殿河内定屋ノ前遺跡出土の分銅形土製品について

表98 土器・土製品遺物観察表(15)

遺物番号	遺地・横区層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
353	3区D12グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	1818・1834	第186図 PL73	弥生土器 無頸壺	口径：7.6※ 器高：4.2△	外面：ミガキ。 内面：ケズリ後ミガキ。	やや密	良好	内外面：にぶい褐色	外面赤色塗彩
354	3区D12グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	1818	第186図 PL73	弥生土器 無頸壺	口径：7.7※ 器高：4.1△	外面：縦ハケ後ナデ。 内面：ケズリ後横ハケ。	密(1mm前後の砂粒含む)	良好	外面：暗褐～黒褐色 内面：にぶい黄橙～黒褐色	
355	2区F11グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	853	第186図	土師器 甕	口径：22.3※ 器高：10.0△	外面：ナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。胴部左方向ケズリ。	密(0.5～2mmの石英・長石含む)	良好	内外面：にぶい赤褐～暗赤褐色	外面スス多量に付着。
356	3区C13グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	1803	第186図	須恵器 甕	器高：5.0△	外面：口縁部ヨコナデ。凹線を境に2段の波状文。 内面：ヨコナデ。	密	良好	外面：暗灰色 内面：灰色	
357	3区C12グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	1780	第186図 PL73	弥生土器 土製紡錘車	最大長：5.4 最大幅：4.8 最大厚：0.6	凸面：ミガキ。 凹面：ケズリ後ハケ目。	密(1mm以下の長石・金雲母含む)	良好	凸面：にぶい褐色 凹面：黒色	中央両側穿孔あり
358	3区D12グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	1818	第186図 PL73	弥生土器 土製紡錘車未成品	最大長：6.7 最大幅：6.3 最大厚：0.6	凸面：ミガキ。 凹面：ケズリ。	密	良好	凹凸面：にぶい黄橙色	内外面スス付着。未成品
359	2区F14グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	284	第187図 PL76	弥生土器 土製紡錘車	最大長：8.0 最大幅：7.3 最大厚：0.7	凸面：ハケ目。 凹面：ミガキ。	密	良好	凸面：黒色 凹面：暗褐色	外面スス付着。中央両側穿孔あり。
360	2区F11グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	795	第187図 PL73	弥生土器 土製紡錘車	最大長：2.9 最大幅：2.7 最大厚：0.5	凸面：ミガキ。 凹面：ナデ。	密	良好	凸面：暗褐色 凹面：にぶい褐色	凹面：中央穿孔途中。
361	3区C13グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	1786	第187図 巻頭図版2	弥生土器 分銅形土製品	最大長：2.0△ 最大幅：3.1△ 最大厚：1.2	外面：押し引き沈線文。側面から内面に穿孔。 内面：ミガキ。	密	良好	内外面：黄褐色	
362	2区E13グ リッド黒褐色土(VII層)	1435	第190図	縄文土器 深鉢	器高：7.3△	外面：LR縄文。 内面：二枚貝による条痕。	密	良好	外面：にぶい黄褐～黄褐色 内面：にぶい黄褐色	里木式
363	2区F12グ リッド黒褐色土(VII層)	1355	第190図 PL79	縄文土器 粗製深鉢	器高：7.4△	内外面：粗いナデ。	密(0.5～1mmの砂粒含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：明褐～褐灰色	外面黒斑あり。
364	2区F12グ リッド黒褐色土(VII層)	1354	第190図 PL76	弥生土器 短頸壺	口径：10.9※ 器高：5.3△	外面：口縁部2条凹線。頸部以下タテハケ。 内面：頸部ヨコナデ。肩部斜方向ハケ目。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	外面スス付着。弥生IV-1か。
365	2区F12グ リッド黒褐色土(VII層)	973・1354・1722	第190図 PL76	弥生土器 甕	口径：16.6※ 器高：17.8△ 最大径：19.3※	外面：口縁部1条凹線。頸部ヨコナデ。肩部～体部中位粗いタテハケ。以下ミガキ。 内面：口縁部ヨコナデ。肩部以下斜方向ハケ目。一部指押さえあり。	密(0.5mm以下の石英・長石含む)	良好	外面：にぶい黄橙～黄褐色 内面：浅黄色	内外面スス付着。弥生III-3。
366	2区F12グ リッド黒褐色土(VII層)	1325・1355	第190図 PL76	弥生土器 甕	口径：16.4※ 器高：18.4△	外面：口縁部3条凹線。頸部ヨコナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。肩部～中位ハケ目。以下上方向ケズリ後縦方向ミガキ。	密(1mm程度の砂粒含む)	良好	外面：にぶい褐～暗褐色 内面：明褐～暗褐色	外面スス付着。弥生III-3。
367	2区F12グ リッド黒褐色土(VII層)	1355	第190図 PL76	弥生土器 甕	口径：16.6※ 器高：15.9△	外面：口縁部刺突文。頸部ヨコナデ。肩部～体部中位タテハケ。以下縦方向ミガキ。 内面：口縁部～頸部ヨコナデ。肩部斜方向ハケ目。中位以下縦方向ミガキ。一部指押さえあり。	密	良好	外面：にぶい橙色 内面：にぶい黄褐色	外面スス付着。弥生III-3。
368	2区F12グ リッド黒褐色土(VII層)	1735	第190図 PL74	弥生土器 甕	口径：16.4※ 器高：10.0△	外面：口縁部2条凹線。肩部～体部中位タテハケ。 内面：口縁部～頸部ヨコナデ。肩部斜方向ハケ目。一部指押さえあり。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	内外面スス付着。弥生IV-1。
369	2区F13グ リッド黒褐色土(VII層)	793	第190図 PL74	弥生土器 甕	口径：20.6※ 器高：11.0△	外面：口縁部2条凹線。肩部～体部中位タテハケ。 内面：口縁部～頸部ヨコナデ。肩部斜方向ハケ目。一部指押さえあり。	密	良好	外面：にぶい黄褐～黒褐色 内面：にぶい黄褐～灰黄褐色	弥生IV-1。
370	2区E13グ リッド黒褐色土(VII層)	1168	第190図 PL75	弥生土器 甕	口径：16.3※ 器高：5.4△	外面：口縁部2条凹線。頸部指頭圧痕文帯後ナデ。肩部タテハケ。 内面：口縁部ヨコナデ。肩部刺突のため調整不明。	密(1mm以下の石英多く含む)	良好	外面：黄褐色 内面：浅黄褐色	弥生IV-1。
371	2区F13グ リッド黒褐色土(VII層)	816	第190図 PL75	弥生土器 甕	口径：20.0※ 器高：12.1△	外面：口縁部4条凹線。頸部指頭圧痕文帯後ナデ。肩部以下タテハケ。 内面：口縁部～頸部ヨコナデ。肩部以下斜方向ハケ目。	密(1～3mmの石英をわずかに含む)	良好	外面：明黄褐色 内面：橙色	弥生IV-1。
372	2区F12グ リッド黒褐色土(VII層)	1273・1722	第190図 PL75	弥生土器 甕底部	器高：12.0△ 底径：6.4 最大径21.3	外面：タテハケ後ミガキ。 内面：体部中位付近タテハケ。以下上方向ケズリ。	密	良好	外面：にぶい褐色 内面：褐灰～黒褐色	外面スス付着。
373	2区F12グ リッド黒褐色土(VII層)	1722・1735	第190図	弥生土器 甕底部	器高：9.9△ 底径：6.8※	外面：縦方向ミガキ。 内面：縦方向ミガキ。底部指押さえ。	密	良好	内外面：浅黄～黒褐色	内外面スス付着。
374	2区F12グ リッド黒褐色土(VII層)	1735	第190図 PL75	弥生土器 甕底部	器高：7.7△ 底径：9.2※	外面：風化のため調整不明。 内面：上方向ケズリ。底部付近ハケ目。	密(砂粒含む)	良好	外面：暗褐色 内面：褐灰色	
375	2区E13グ リッド黒褐色土(VII層)	1168	第190図 PL76	弥生土器 高坏	器高：1.6△	外面：凹線。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	弥生IV-1。
376	2区F12グ リッド黒褐色土(VII層)	791	第190図 PL76	弥生土器 高坏	器高：3.6△	外面：口縁部4条凹線。口縁部凹線。内面：口縁部ヨコナデ。坏底部ミガキ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	弥生IV-1。

第5章 総括

表99 土器・土製品遺物観察表(16)

遺物番号	遺構 地区名 層位	取り上げ 番号	挿図 PL	種類 器種	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
377	2区F12グ リッド黒褐色 土(Ⅶ層)	1722	第190図 PL76	弥生土器 高坏	器高:8.9△ 底径:11.8※	外面:3~4条の凹線文帯間タテハケ。端部1条凹線。 内面:上半ケズリ後ナデ。下半ヨコナデ。	密(2mm以下の長石わずかに含む)	良好	内外面:灰黄褐色	
378	2区F12グ リッド黒褐色 土(Ⅶ層)	1722	第190図	弥生土器 高坏	器高:4.0△ 底径:10.6※	内外面:風化著しい。ナデか。	密	良好	内外面:にぶい黄褐色	
379	2区F11グ リッド黒褐色 土(Ⅶ層)	1604	第190図 巻頭図 版2	弥生土器 分銅形土製品	最大長:4.1△ 最大幅:4.8△ 最大厚:1.1	外面:刺突文。括れ部3条沈線。 内面:ナデ。	密	良好	内外面:にぶい黄褐色	外面赤色塗彩。
380	4区B19グ リッド黒褐色 土	368	第192図 PL76	弥生土器 壺	器高:10.1△	外面:タテハケ後平行沈線文帯間に波状文を二段施す。内面:シボリ目後ナデ。	密(1mm程度の石英わずかに含む)	良好	外面:にぶい黄褐色 内面:にぶい黄褐色	弥生Ⅳ-2か。
381	4区E20グ リッド黒褐色 土	2167・ 2169	第192図 PL78	弥生土器 甕	口径:17.9 器高:8.0△	外面:口縁部5条平行沈線。頭部~肩部ヨコナデ。肩部刺突文。 内面:口縁部ヨコナデ。頭部屈曲部ミガキ。以下ケズリ。	密	良好	内外面:明黄褐色	外面スス附着。弥生Ⅴ-2。
382	4区E20グ リッド黒褐色 土	2169	第192図 PL77	弥生土器 甕	口径:17.8※ 器高:6.3△	外面:口縁部4条平行沈線。頭部ヨコナデ。肩部ナデ後刺突文。 内面:口縁部ヨコナデ。頭部屈曲部以下左方向ケズリ。	密(1mm程度の砂粒含む)	良好	外面:黄橙~褐色 内面:浅黄橙~褐色	弥生Ⅴ-2。
383	4区E20グ リッド黒褐色 土	2166	第192図 PL77	弥生土器 甕	口径:18.4※ 器高:5.1△	外面:口縁部7条平行沈線後一部ナデ消し。肩部ナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。頭部屈曲部以下ケズリ。	やや密	良好	内外面:にぶい黄褐色	口縁部スス附着。弥生Ⅴ-3。
384	4区E19・20・ 21グリッド黒 褐色土	2166・ 2194・ 2198	第192図 PL77	弥生土器 甕	口径:19.6※ 器高:5.6△	外面:口縁部6条平行沈線。頭部ナデ。 内面:口縁部ナデ。頭部屈曲部以下右方向ケズリ。	密(2mm以下の砂粒含む)	良好	外面:浅黄褐色 内面:浅黄橙~にぶい黄褐色	口縁部スス附着。弥生Ⅴ-3。
385	4区G19グ リッド黒褐色 土	2193・ 2203	第192図 PL77	弥生土器 甕	口径:16.3※ 器高:5.1△	外面:口縁部11条平行沈線。頭部横方向ミガキ。 内面:口縁部ヨコナデ。頭部左方向ケズリ後ミガキ。	密(砂粒・石英含む)	良好	内外面:明赤褐色	外面赤色塗彩。弥生Ⅴ-3。
386	4区E20グ リッド黒褐色 土	2166	第192図	弥生土器 甕	口径:12.8※ 器高:4.6△	外面:口縁部4条乱れた平行沈線。肩部ヨコナデ後貝殻腹縁による刺突文。 内面:口縁部ヨコナデ。頭部屈曲部以下左方向ケズリ。	密(1mm程度の砂粒含む)	良好	内外面:にぶい黄褐色	弥生Ⅴ-3。
387	4区E20グ リッド黒褐色 土	2169	第192図 PL77	弥生土器 甕	口径:14.6※ 器高:4.4△	外面:口縁部5条平行沈線。以下ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。頭部屈曲部以下左方向ケズリ。	密(0.5~2mmの石英・長石含む)	良好	内外面:にぶい黄褐色	弥生Ⅴ-2。
388	4区E20グ リッド黒褐色 土	2200	第192図 PL77	弥生土器 甕	口径:14.2※ 器高:4.3△	外面:口縁部4条平行沈線。頭部ミガキ。 内面:口縁部ヨコナデ。頭部ミガキ。以下ケズリ。	密(石英・長石含む)	良好	内外面:橙色	内外面赤色塗彩。弥生Ⅴ-3。
389	4区E20グ リッド黒褐色 土	2200	第192図 PL77	弥生土器 甕	口径:16.0※ 器高:4.1△	外面:口縁部5条平行沈線。以下ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。頭部屈曲部以下左方向ケズリ。	密(砂粒・石英含む)	良好	外面:浅黄褐色 内面:淡黄~褐色	弥生Ⅴ-3。
390	4区E20グ リッド黒褐色 土	2168	第192図 PL77	弥生土器 甕	口径:14.0※ 器高:3.8△	外面:口縁部6条平行沈線。肩部ヨコナデ。 内面:口縁部ヨコナデ。頭部屈曲部以下ケズリ。	密	良好	内外面:にぶい黄褐色	弥生Ⅴ-3。
391	4区E20グ リッド黒褐色 土	2200	第192図 PL77	弥生土器 甕	口径:13.7※ 器高:4.5△	外面:口縁部7条平行沈線。頭部ナデ。 内面:口縁部ナデ。頭部屈曲部以下ケズリ。	やや密(1mm程度の砂粒含む)	良好	内外面:黄褐色	外面口縁部スス附着。弥生Ⅴ-3。
392	4区E20グ リッド黒褐色 土	2200・ 2201	第192図 PL78	弥生土器 甕	口径:14.0 器高:5.7△	外面:口縁部4条平行沈線。肩部貝殻腹縁による押し引き沈線文。 内面:口縁部ヨコナデ。以下ミガキ。頭部屈曲部以下ケズリ。	密(1mm程度の砂粒含む)	良好	内外面:橙色	口縁部スス附着。弥生Ⅴ-2。
393	4区F19グ リッド黒褐色 土	2196	第192図	弥生土器 甕	器高:3.4△	外面:口縁部平行沈線後ミガキ。 内面:口縁部ミガキ。頭部屈曲部以下左方向ケズリ。	密(石英・砂粒含む)	良好	外面:にぶい赤褐色 内面:明赤褐~褐色	内外面赤色塗彩。弥生Ⅴ-3。
394	4区D20グ リッド黒褐色 土	2197	第192図 PL77	弥生土器 甕	器高:5.0△ 底径:6.0※	外面:風化のため調整不明。ミガキか。 内面:ケズリ。	密	良好	内外面:橙色	
395	4区G19グ リッド黒褐色 土	2192	第192図 PL77	弥生土器 甕	器高:6.1△ 底径:9.3※	外面:ミガキ。 内面:上方向ケズリ。	密(石英・長石含む)	良好	外面:明赤褐色 内面:にぶい黄褐色	外面赤色塗彩。弥生Ⅴ-3。
396	4区F19グ リッド黒褐色 土	2216	第192図 PL78	弥生土器 高坏	器高:10.3△	外面:坏部3条以上平行沈線。坏底部~筒部縦方向ミガキ。 内面:坏部ミガキ。筒部ケズリ。	密	良好	内外面:浅黄褐色	外面赤色塗彩。弥生Ⅴ-3。
397	4区E20グ リッド黒褐色 土	2204	第192図 PL78	弥生土器 鼓形器台	器高:4.6△	外面:上台端部平行沈線後刺突文。以下ミガキ。 内面:ケズリ後ナデ。	密(砂粒含む)	良好	内外面:赤褐色	内外面赤色塗彩。弥生Ⅴ-3。
398	4区E20グ リッド黒褐色 土	2201	第192図 PL78	弥生土器 鼓形器台	器高:2.1△	外面:6条以上平行沈線。 内面:ミガキ。	密(0.5~1mm程度の石英・長石含む)	良好	内外面:赤褐色	内外面赤色塗彩。弥生Ⅴ-3。
399	4区E20グ リッド黒褐色 土	2200	第192図 PL78	弥生土器 鼓形器台	器高:5.2△ 底径:18.6※	外面:脚台端部9条平行沈線。 内面:脚台端部ヨコナデ。以上ケズリ。	密	良好	内外面:橙色	弥生Ⅴ-3。
400	4区E21グ リッド黒褐色 土	2198	第192図 PL78	弥生土器 鼓形器台	器高:6.5△	外面:脚台端部8条平行沈線。以上ハケ目。 内面:脚台端部ヨコナデ。以上ケズリ。	密(石英含む)	良好	内外面:浅黄褐色	弥生Ⅴ-3。
401	4区E20グ リッド黒褐色 土	2168	第192図 PL78	弥生土器 鼓形器台	器高:4.0△ 底径:15.4※	外面:脚台部8条平行沈線。 内面:脚台端部ヨコナデ。以上右方向ケズリ。	密	良好	外面:橙色 内面:明黄褐色	外面赤色塗彩。弥生Ⅴ-3。
402	4区D20グ リッド黒褐色 土	2197	第192図 PL78	弥生土器 把手付壺	器高:9.4△	外面:ナデ。 内面:頸部ナデ。体部左方向ケズリ。一部指押さえあり。	密(微砂含む)	良好	外面:明黄褐色 内面:明黄褐色~浅黄褐色	
403	4区E20グ リッド黒褐色 土	2166・ 2196	第192図 PL78	弥生土器 裝飾壺	器高:3.4△	外面:貼り付け突帯に半裁竹管文。上下にS字上スタンプ文。 内面:ナデ。	密(1mm程度の石英わずかに含む)	良好	外面:にぶい黄褐色 内面:黒褐色	

第4節 殿河内定屋ノ前遺跡出土の分銅形土製品について

表100 土器・土製品遺物観察表(17)

遺物番号	遺地 横 区 層 位 名	取り上 げ番号	挿図 PL	種 類 種	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
404	4区E20グ リッド黒褐色 土	2169	第192図 PL78	弥生土器 ミニチュア壺	口径：2.6※ 器高：5.4 底径：1.9※	内外面：手捏ね成形後ナデ。	密(砂粒含む)	良好	内外面：灰黄色	
405	4区F19グ リッド黒褐色 土	2196	第192図 PL79	土師器 皿	口径：13.6※ 器高：1.95	外面：ヨコナデ。 内面：ミガキ。	密(石英・長石 含む)	良好	内外面：明赤 褐色	内外面赤色塗彩。
406	4区F19グ リッド黒褐色 土	2195	第192図 PL79	土師器 環	器高：2.4△	内外面：ナデ。	密	良好	内外面：明赤 褐色	内外面赤色塗彩。
407	4区E19グ リッド黒褐色 土	2194	第192図 PL79	須恵器 環蓋	口径：13.6※ 器高：2.9 つまみ径：3.0 ※	外面：天井部回転ヘラケズリ。小さ な輪状つまみ貼り付け。以下回転ナ デ。内面：回転ナデ。	密(1mm以下の 長石わずかに 含む)	良好	外面：灰色 内面：灰オリー ブ色	
408	4区E20グ リッド黒褐色 土	2168	第192図 PL79	須恵器 高台杯	器高：4.8△ 底径：10.2※	外面：体部回転ナデ。底部回転糸切 り後高台貼り付け。 内面：回転ナデ。	密(1mm程度の 砂粒含む)	良好	内外面：暗灰 色	
409	4区G19グ リッド黒褐色 土	2192	第192図 PL79	須恵器 高台杯	器高：2.5△ 底径：9.1※	内外面：回転ナデ。	密	良好	内外面：灰オ リーブ色	
410	4区E19グ リッド黒褐色 土	2194	第192図 PL79	須恵器 高台杯	器高：1.7△ 底径：9.0※	外面：体部回転ナデ。底部回転ヘラ 切り後ナデ。 内面：体部回転ナデ。底部ナデ。	密	良好	外面：灰オリー ブ～灰色 内面：灰オリー ブ色	
411	4区B19グ リッド黒褐色 土	366	第193図 巻頭図 版2	弥生土器 分銅形土製品	最大長：5.9△ 最大幅：9.8△ 最大厚：1.35	外面：刺突文。括れ部襷描線文。 内面：ケズリ後ナデ。	密	良好	外面：黒褐色 内面：淡黄色	外面赤色塗彩痕。
412	4区C19グ リッド黒褐色 土	484	第193図 PL82	弥生土器 土製紡錘車	最大長：5.9 最大幅：5.4 最大厚：0.5	凸面：ミガキ。 凹面：剥離のため調整不明。	密	良好	凹凸面：黄橙 色	中央両側穿孔あり。
413	1区C8グ リッド 攪乱 土	32・33 (2011年 度)	第194図 PL86	弥生土器 壺	口径：27.2※ 器高：14.7△	外面：口縁部3条凹線。頸部タテハ ケ。頸部下半5条凹線。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部斜方向 ハケ目。	密	良好	外面：明黄褐 色 内面：にぶい 黄褐色	外面化粧土。弥生IV-2。
414	1区D8グ リッド 攪乱 土	32 (2011年 度)	第194図 PL86	弥生土器 壺	口径：23.2※ 器高：1.7△	外面：口縁部5条凹線。頸部ナデ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	外面：にぶい 黄褐色 内面：にぶい 黄褐色～浅黄橙 色	弥生IV-3
415	1区B6グリ ッド表土中	58	第194図 PL80	弥生土器 甕	口径：14.9※ 器高：17.8△	外面：口縁部3条凹線。肩部～中位 タテハ後縦方向ミガキ。中位貝殻 腹線による刺突文。 内面：口縁部ヨコナデ。肩部～中位 細かいタテハケ。以下上方向ケズリ 後ナデ。	密(1mm以下の 砂粒含む)	良好	外面：にぶい 橙～黒褐色 内面：明褐色 ～黒褐色	内外面スス附着。弥生IV -1。
416	1区B6グリ ッド表土中	1896	第194図 PL80	弥生土器 甕	口径：23.0※ 器高：10.2△	外面：口縁部3条凹線後刻み目。頸 部刺頭圧痕文帯。肩部～中位タテハ ケ後中位刺突文。 内面：口縁部ヨコナデ。肩部以下斜 方向ハケ目。	密	良好	内外面：にぶ い黄褐色	弥生IV-2。
417	1区B4グリ ッド表土中	10	第194図 PL80	弥生土器 甕	口径：20.4※ 器高：6.0△	外面：口縁部3条凹線。頸部刺頭圧 痕文帯。肩部粗いタテハケ。 内面：口縁部ヨコナデ。肩部斜方向 ハケ目。	密	良好	内外面：にぶ い橙	弥生IV-2。
418	1区D6・7グ リッド	133・ 135・282	第194図 PL80	弥生土器 甕	器高：9.9△ 底径：5.6	外面：タテハ後縦方向ミガキ。底 部ナデ。 内面：タテハケ。	密	良好	外面：黒褐色 内面：明黄褐 色	外面スス附着。内面黒斑 あり。
419	1区B5グリ ッド攪乱土中	1855	第194図 PL80	弥生土器 甕	器高：7.3△ 底径：5.2	外面：縦方向ミガキ。底部ナデ。 内面：上方向ケズリ後ナデ。	密	良好	外面：にぶい 赤褐色 内面：にぶい 黄褐色	外面黒斑あり。
420	1区B2グリ ッド	1850	第194図 PL80	弥生土器 小型壺?	器高：2.8△	外面：ケズリ後ナデ。 内面：上半ミガキ。下半ナデ。	密	良好	外面：黒色 内面：褐灰色	
421	2・3区遺構外	1973	第195図 PL69	軒平瓦	最大長：6.1△ 瓦当幅：4.1 額面幅：2.2	外面：瓦当面形骸化した唐草文	密	良好		
422	2区G9・10グ リッド風倒木 痕内	823	第196図 PL81	弥生土器 壺	口径：16.6※ 器高：4.6△	外面：口縁部4条凹線。頸部ナデ。 内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：明黄 褐色	弥生IV-1。
423	2区G9・10グ リッド風倒木 痕内	914・915	第196図 PL81	弥生土器 甕	口径：18.4※ 器高：33.5 底径：5.3	外面：口縁部2条凹線。頸部ナデ。 肩部以下タテハケ。中位付近縦方向 ミガキ。 内面：口縁部～頸部ヨコナデ。肩部 ～体部中位斜方向ハケ目。以下上 方向ケズリ。中位付近指押さえ痕。	密(0.5～2mm の石英・長石 含む)	良好	内外面：にぶ い黄褐色	外面体部中位付近、内面 底部スス附着。底部焼成 後穿孔。弥生IV-1
424	2区G9・10グ リッド風倒木 痕内	914・915	第196図 PL81	弥生土器 甕	口径：13.5 器高：23.85 底径：5.8	外面：口縁部ヨコナデ。体部肩部タ テハケ後縦方向ミガキ。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部屈曲部 ハケ目。以下上方向ケズリ。	密	良好	内外面：明褐 ～橙	外面体部中位以下スス付 着。底部焼成後穿孔。弥 生IV-1
425	2区G9・10グ リッド風倒木 痕内	914	第196図 PL81	弥生土器 甕	口径：16.5※ 器高：15.2△	外面：口縁部2条凹線。頸部ヨコナ デ。肩部以下タテハケ後縦方向ミ ガキ。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部指押さ えあり。体部上半タテハケ。以下縦 方向ミガキ。	密	良好	内外面：浅黄 色	内外面黒斑あり。弥生IV -1。
426	2区G9・10グ リッド風倒木 痕内	823・ 914・ 915・937	第196図 PL81	弥生土器 甕	口径：16.4※ 器高：34.7 最大径29.1※ 底径：5.5	外面：口縁部2条凹線。頸部指頭圧 痕文帯。肩部斜方向ハケ目。体部中 位付近縦方向ミガキ。以下縦方向ミ ガキ。 内面：口縁部ヨコナデ。肩部以下ハ ケ目。	密(1～4mmの 石英をわずかに 含む)	良好	内外面：明黄 褐色	外面スス附着。弥生IV -1。
427	2区G9・10グ リッド風倒木 痕内	914	第196図 PL81	弥生土器 甕	口径：19.2 器高：9.3△	外面：口縁部2条凹線。頸部刺頭圧 痕文帯。肩部以下粗い斜方向ハケ目。 内面：口縁部ヨコナデ。肩部以下ハ ケ目。剥離著しい。	密(1mm以下の 石英・長石含 む)	良好	内外面：浅黄 褐色	弥生IV-1。
428	2区G9・10グ リッド風倒木 痕内	914	第196図	弥生土器 甕	口径：17.5※ 器高：14.7△	外面：口縁部2条凹線後刺突文。頸 部指頭圧痕後ナデ。肩部タテハケ。 体部中位付近縦方向ミガキ。 内面：口縁部～頸部ヨコナデ。肩部 以下斜方向ハケ目一部指押さえ。	密(1mm以下の 石英・長石含 む)	良好	内外面：にぶ い黄色	外面スス附着。弥生IV -1。

第5章 総括

表101 土器・土製品遺物観察表(18)

遺物番号	遺地・構区・層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類	法量(cm)	手法上の特徴	胎土	焼成	色調	備考
429	2区G9・10グリッド風倒木痕内	915	第196図	弥生土器 甕	口径：19.4※ 器高：4.9△	外面：口縁部2条凹線。頸部指頭圧痕文帯後ナデ。肩部タテハケ。内面：口縁部ヨコナデ。肩部斜方向ハケ目。	密(1mm以下の石英・長石含む)	良好	内外面：にぶい黄橙色	弥生IV-1。
430	2区G9・10グリッド風倒木痕内	937	第196図	弥生土器 甕	口径：11.5※ 器高：5.1△	内外面：口縁部ナデ。体部ミガキ。	密(1mm前後の砂粒含む)	良好	外面：灰黄褐色 内面：黒色	外面スス付着。
431	2区G10グリッド風倒木痕内	383	第196図 PL.76	弥生土器 無頸壺	口径：16.5※ 器高：3.0△	外面：口縁部刻み目。以下ミガキの可能性あり。内面：ナデ。	密(1mm以下の石英・長石含む)	良好	内外面：灰黄色	口縁部付近円形透かし穴あり。
432	4区B20グリッド表土中	2005	第198図 PL.82	弥生土器 甕	口径：21.0※ 器高：6.9△	外面：口縁部4条平行沈線。頸部以下ヨコナデ。内面：口縁部ヨコナデ。頸部屈曲部以下右方向ケズリ。	密(1mm程度の砂粒含む)	良好	外面：浅黄橙色 内面：にぶい黄橙色	外面スス付着。弥生V-3
433	4区B21グリッド表土中	2010	第198図 PL.82	弥生土器 甕	口径：15.6※ 器高：4.2△	外面：口縁部7条平行沈線。頸部ヨコナデ。内面：口縁部横方向ミガキ。頸部屈曲部以下左方向ケズリ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	弥生V-3
434	4区E20グリッド	1576・2201	第198図 PL.82	弥生土器 甕	口径：19.6※ 器高：5.7△	外面：口縁部4条平行沈線。肩部貝殻腹縁による押し引き沈線文。内面：口縁部ヨコナデ。以下ミガキ。頸部屈曲部以下横方向ケズリ。	密(1~2mmの砂粒含む)	良好	内外面：明黄褐色	弥生V-2
435	4区B21グリッド表土中	1580	第198図 PL.82	弥生土器 甕	口径：15.1※ 器高：3.4△	外面：口縁部4条平行沈線。頸部以下ヨコナデ。内面：口縁部ヨコナデ。頸部屈曲部以下左方向ケズリ。	密(1mm程度の砂粒含む)	良好	外面：にぶい黄褐色 内面：にぶい黄褐色	外面スス付着。弥生V-2
436	4区D21グリッド表土中	2211	第198図	弥生土器 壺	器高：5.5△	外面：頸部ミガキ。肩部3~4条平行沈線帯の間に刺突文。内面：頸部以上ミガキ。胴部ケズリ後ミガキ。	密(1~2mmの砂粒含む)	良好	外面：橙色 内面：明赤褐色	
437	4区D21グリッド表土中	2027	第198図 PL.82	弥生土器 鼓形器台	口径：18.0※ 器高：4.2△	外面：11条平行沈線。筒部ミガキ。内面：ケズリ後ミガキ。	密(1~4mmの砂粒含む)	良好	内外面：橙色	内外面赤色塗彩。弥生V-3
438	4区C21グリッド表土中	2076	第198図 巻頭図版2	弥生土器 分銅形土製品	最大長：4.1△ 最大幅：5.6△ 最大厚：1.6	外面：2~4列の刺突文。側縁刺突文。内面：1~3列の刺突文。	密	良好	内外面：浅黄褐色	
439	4区F19グリッド表土中	2212	第198図	土師器 甕	口径：24.2※ 器高：5.0△	外面：ナデ後指押さえあり。内面：口縁部ナデ。胴部ケズリ。	密(1mm以下の砂粒含む)	良好	内外面：にぶい黄褐色	
440	4区G17グリッド	61	第198図	須恵器 坏	器高：1.5△ つまみ径：5.6※	外面：天井部回転軸切り後輪状つまみ貼り付け。回転ケズリ。内面：回転ナデ。	密(1mm前後の砂粒含む)	良好	内外面：灰色	
441	4区E20グリッド表土中	1576	第198図 PL.82	施釉陶器 皿	口径：22.4※ 器高：4.2△	外面：口縁部波状文。内外面施釉	密	良好	胎土：灰色。 釉：オリーブ黄色	
442	5区I4グリッド掘乱土	9(2011年度)	第197図 PL.86	弥生土器 甕	口径：14.0※ 器高：1.6△	外面：口縁部3条凹線。以下ヨコナデ。内面：ヨコナデ。	密	良好	内外面：にぶい黄褐色	弥生IV-3

表102 石器・石製品遺物観察表(1)

遺物番号	遺地・構区・層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類	石材	法量(cm)	手法上の特徴	重量(g)	備考
S1	SI1 P8内	803	第33図 PL.82	磨石	緑色泥岩	最大長：10.35△ 最大幅：10.0△ 最大厚：3.8	板状を呈す。全面研磨。	120.5	
S2	SI1 埋土中	691	第33図 PL.85	砥石	アブライト	最大長：3.15 最大幅：3.5 最大厚：1.4	小型の砥石。完形。全面砥面。	15.5	
S3	SI1 埋土中	572	第33図 PL.82	石鎌	無斑晶安山岩	最大長：1.9 最大幅：1.3 最大厚：0.25	小型の凹基無茎石鎌。縁辺部のみ剥離。	0.536	
S4	SI1 埋土中	715	第33図 PL.82	石鎌	無斑晶安山岩	最大長：1.55 最大幅：1.45 最大厚：0.3	小型の凹基無茎石鎌。完形。	0.582	
S5	SI1 中央ビット	726	第33図 PL.82	石鎌	無斑晶安山岩	最大長：1.7 最大幅：1.0 最大厚：0.18	小型の凹基無茎石鎌。完形。側縁部のみ剥離。	0.384	
S6	SI1 埋土中	704	第33図 PL.85	石錐か	無斑晶安山岩	最大長：2.8△ 最大幅：1.2 最大厚：0.5	先端及び基部欠損。剥離粗い。	1.774△	
S7	SI1	580	第33図 PL.82	石鎌	サマサイト	最大長：1.7 最大幅：1.3 最大厚：0.2	挟りの浅い凹基無茎石鎌。完形。	0.33	分析試料No.1
S8	SI1 埋土中	717	第33図 PL.85	クサビ形石器削片	無斑晶安山岩	最大長：4.7 最大幅：1.4 最大厚：0.9	クサビ形石器の削片。端部に剥離あり。	7.5△	
S9	SI2 埋土中	485	第36図 PL.82	石鎌	無斑晶安山岩	最大長：2.25 最大幅：1.4 最大厚：0.4	平基無茎石鎌。完形。剥離粗い。	1.151	
S10	SI2 埋土中	608	第36図 PL.82	石鎌	無斑晶安山岩	最大長：2.25 最大幅：1.4 最大厚：0.35	凹基無茎石鎌。完形。挟り浅い。	0.793	
S11	SI2 埋土中	647	第36図 PL.85	砥石	細粒花崗岩	最大長：13.05△ 最大幅：11.8△ 最大厚：4.3	扁平な砥石片。主な砥面は2面あり、擦痕認められる。	575△	二次的に被熱。
S12	SI2 埋土中	476	第36図 PL.82	磨石	安山岩	最大長：5.6 最大幅：4.4 最大厚：0.9	扁平な楕円形を呈す。両面に擦り面。	32.0	

第4節 殿河内定屋ノ前遺跡出土の分銅形土製品について

表103 石器・石製品遺物観察表(2)

遺物番号	遺地・構区・層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類	石材	法量(cm)	手法上の特徴	重量(g)	備考
S13	SI 2 埋土中	582	第36図 PL.85	砥石	細粒花崗岩	最大長:4.3 最大幅:4.4 最大厚:2.1	扁平で小型の砥石。主な砥面は1面。	57.0	
S14	SI 2 埋土中	225	第36図 PL.86	管玉未成品	緑色凝灰岩	最大長:1.45 最大幅:0.45 最大厚:0.5	管玉未成品。両側穿孔途中で放棄。	0.533	穴径2mm
S15	SI 3 埋土中	71	第39図 PL.85	柳葉形尖頭器	無斑晶安山岩	最大長:3.9△ 最大幅:1.2 最大厚:0.3	小型の柳葉形尖頭器。先端部欠く。	1.441△	
S16	SI 3 埋土中	165	第39図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長:2.2 最大幅:1.9 最大厚:0.2	小型の平基無茎石鏃。縁部のみ剥離。	0.762	
S17	SI 3 埋土中	165	第39図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長:1.8 最大幅:1.2 最大厚:0.2	小型で扁平な挟りの浅い凹基無茎石鏃。剥離粗い。	0.5	
S18	SI 3 埋土中	19 (2011年度)	第39図 PL.86	砥石	安山岩	最大長:15.8△ 最大幅:14.1△ 最大厚:5.0	扁平で不整形な砥石。主な砥面は1面。表面溝状に使用痕あり。裏面剥離。	1370△	側縁部被熱
S19	SI 3 埋土中	24 (2011年度)	第39図 PL.86	擦石	安山岩	最大長:9.6 最大幅:5.1 最大厚:3.9	平面・断面不整形長方形を呈す。主な擦面は3面。	348.5	
S20	SI 4 埋土中	771	第42図 PL.85	砥石	流紋岩質凝灰岩	最大長:3.3 最大幅:3.4 最大厚:1.7	平面不整形な三角形を呈す砥石片。主な砥面は3面あり、側面も擦っている。	22.5△	
S21	SI 4 床面	364	第42図 PL.86	管玉	緑色凝灰岩	最大長:0.85 最大幅:0.2 最大厚:0.2	細身の管玉。一方端欠損。	0.069△	穴径1mm
S22	SI 4 埋土中	762	第42図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長:2.6 最大幅:2.1 最大厚:0.4	挟りの浅い凹基無茎石鏃。完形。縁部のみ剥離。	1.473	
S23	SI 4	362	第42図 PL.82	石鏃	安山岩	最大長:2.3 最大幅:1.8 最大厚:0.3	凹基無茎石鏃。ほぼ完形。	0.98	分析試料No.2
S24	SI 4 埋土中	288	第42図 PL.82	石鏃か	無斑晶安山岩	最大長:2.3 最大幅:1.6 最大厚:0.4	石鏃か。側縁一部欠く。	1.447△	
S25	SI 4	1970	第42図 PL.82	石鏃	黒曜石	最大長:2.6 最大幅:1.6 最大厚:0.5	凹基無茎石鏃。	0.89△	分析試料No.3
S26	SI 4 埋土中	468	第42図 PL.85	使用痕のある剥片	黒曜石	最大長:2.7 最大幅:2.3 最大厚:0.8	長方形を呈す剥片。一部剥離あり。	5.031	
S27	SI 5 P 15	953	第44図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長:3.9 最大幅:2.1 最大厚:0.4	凹基無茎石鏃。	1.86	分析試料No.4
S28	SI 9 中層	1090	第53図 PL.85	砥石	細粒花崗岩	最大長:28.5 最大幅:17.3△ 最大厚:10.8	大型の置き砥石。一方端を欠く。主な砥面は2面あり、裏面の曲面でも擦っている。	6.19kg	全体的に二次的被熱。一部スス付着。
S29	SI 9 埋土上層	1048	第42図 PL.83	有溝石鏃	安山岩	最大長:7.1△ 最大幅:5.6 最大厚:5.3	瀬戸内型石鏃。一方端を欠く。中央部横方向に浅い溝。	181.0△	
S30	SI 9 床面	1388	第42図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長:2.85 最大幅:2.1 最大厚:0.55	やや大型の凹基無茎石鏃。完形。剥離粗い。	2.760	
S31	SI 9 中層	1454	第42図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長:2.2 最大幅:1.9 最大厚:0.2	挟りの浅い凹基無茎石鏃。剥離粗い。	1.052	
S32	SI 9 床面	1128	第42図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長:3.7 最大幅:1.9 最大厚:0.3	やや大型の凹基無茎石鏃。完形。	2.334	
S33	SI 9	1458	第42図 PL.82	石鏃	サヌカイト	最大長:3.0 最大幅:1.8 最大厚:0.4	凹基無茎石鏃。	1.66	分析試料No.6
S34	SI 9	875	第42図 PL.82	石鏃	安山岩	最大長:2.4 最大幅:1.3 最大厚:0.2	凹基無茎石鏃。先端部欠く。	0.69	分析試料No.5
S35	SI 9	167	第42図 PL.82	石鏃	安山岩	最大長:2.4 最大幅:1.8 最大厚:0.35	凹基無茎石鏃。完形。	1.591	
S36	SI 9 中層	980	第42図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長:2.0 最大幅:1.5 最大厚:0.2	小型の平基無茎石鏃。	0.695	
S37	SI 9 床面	1495	第42図 PL.82	石鏃	黒曜石	最大長:2.25 最大幅:2.5 最大厚:0.3	幅広の凹基無茎石鏃。先端部欠く。	1.984	
S38	SI 9 床面	1129	第42図 PL.82	石鏃	黒曜石	最大長:1.3△ 最大幅:2.15 最大厚:0.25	凹基無茎石鏃。先端部の1/2を欠く。	0.628△	
S39	SI 9 床面	856	第42図 PL.86	管玉	緑色凝灰岩	最大長:1.3 最大幅:0.6 最大厚:0.1	半分欠損した管玉片。両側穿孔。	0.280△	穴径2mm
S40	SI10 床面	1541	第55図 PL.82	石鏃	安山岩	最大長:2.6 最大幅:1.9 最大厚:0.3	凹基無茎石鏃。先端を欠く。	1.46△	分析試料No.7
S41	SI11 壁溝内	1893	第58図	石鏃	結晶片岩	最大長:3.6△ 最大幅:2.85 最大厚:0.35	両端を欠く石鏃片。よく使い込まれている。	7.0△	
S42	SB 2 P 5 内	739	第62図 PL.83	扁平片刃石斧	サヌカイト	最大長:5.5 最大幅:4.1 最大厚:1.2	小型の扁平片刃石斧。ほぼ完形。全面研磨。	52.0	
S43	SB13 P 1 内	11 (2011年度)	第76図 PL.86	石斧未成品	安山岩	最大長:14.5 最大幅:5.9 最大厚:4.0	石斧未成品。全体を粗く剥離し、整形。	416.5	
S44	SB14 P 1 内	14 (2011年度)	第78図 PL.86	剥片	緑色凝灰岩	最大長:4.9 最大幅:3.0 最大厚:0.7	緑色凝灰岩剥片。両面に一部擦り切りによる切断痕あり。	9.96	

第5章 総括

表104 石器・石製品遺物観察表(3)

遺物番号	遺構・埋土層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類	石材	法量(cm)	手法上の特徴	重量(g)	備考
S45	SK 9埋土下層	894	第81図 PL.84	扁平両刃石斧	頁岩か	最大長：13.6 最大幅：4.9 最大厚：2.5	扁平で細身の両刃石斧。刃部一部欠く。表面風化著しい。	263.5△	
S46	SK 9埋土中	295	第81図 PL.82	石鎌	無斑晶安山岩	最大長：1.9△ 最大幅：1.5 最大厚：0.3	凹基無茎石鎌。先端部、基部一部欠く。	0.816△	
S47	SK 5埋土中	928	第90図 PL.84	敲石	安山岩	最大長：13.5 最大幅：12.9 最大厚：6.8	やや厚みのある不整形円形を呈す。両面中央、側面一部に敲打面あり。	1.445kg	
S48	SK 5埋土中	929	第90図 PL.85	砥石	細粒花崗岩	最大長：7.0△ 最大幅：10.0 最大厚：7.7	半分以上欠損か。主な砥面は3面あり。擦痕認められる。	670△	スス付着。
S49	SK 5埋土中	934	第90図 PL.83	磨製石斧	無斑晶安山岩	最大長：12.6 最大幅：4.8 最大厚：2.9	扁平な撥形を呈す。全面研磨。刃部片減り。	518	縦斧として使用か。
S50	SK14埋土中	2067	第96図 PL.83	有溝石錘	安山岩	最大長：5.7 最大幅：3.55 最大厚：3.55	北部九州型有溝石錘。長軸方向4方に溝。	75.0	一部被熱して黒変。
S51	SK22中層	786	第100図 PL.83	太型蛤刃石斧	安山岩	最大長：8.5△ 最大幅：5.45 最大厚：4.15	基部側欠損。刃部一部欠ける。表面稜残る。	284△	
S52	SK22中層	786	第100図 PL.83	有溝石錘	安山岩	最大長：5.45 最大幅：3.5 最大厚：3.2	北部九州型の有溝石錘。長軸方向に3方、短軸方向中位に1方の溝。	47.0	
S53	SK22中層	786	第100図 PL.84	大型石包丁	安山岩	最大長：10.35△ 最大幅：10.0△ 最大厚：3.8	大型石包丁片。刃部欠く。上面擦り面あり。	547△	
S54	SK28埋土中	1587	第110図 PL.85	打製石包丁状石器	無斑晶安山岩	最大長：3.6△ 最大幅：3.3△ 最大厚：0.6	半分以上欠損。一方端に打ち欠きによる抉りあり。刃部擦痕あり。	8.780△	
S55	SK28埋土中	959	第110図 PL.85	スクレイパー	無斑晶安山岩	最大長：2.5 最大幅：1.8 最大厚：0.25	小型のスクレイパー。つまみ一部欠く。	1.0	
S56	SK28埋土中	959	第110図 PL.82	石鎌	無斑晶安山岩	最大長：2.1 最大幅：1.45 最大厚：0.31	凹基無茎石鎌。基部一部欠く。	0.679	
S57	SK30埋土上層	1180	第112図 PL.83	両刃石斧	頁岩か	最大長：11.2 最大幅：5.0 最大厚：3.5	細身の両刃石斧。刃部一部欠く。表面風化著しく、剥離。	279.0△	
S58	SK32	1991	第114図 PL.86	石核	碧玉	最大長：2.9 最大幅：2.9 最大厚：1.5	碧玉石核。調整等は見られない。	10.58	分析試料No.18
S59	SK39	2054	第119図 PL.82	石鎌	サヌカイト	最大長：1.8 最大幅：1.3 最大厚：0.3	抉りの浅い凹基無茎石鎌。	0.5	分析試料No.8
S60	SK47埋土中	2119	第121図 PL.84	敲石	角閃石安山岩	最大長：11.5 最大幅：8.1 最大厚：6.6	俵形を呈す敲石。両端部に敲打面あり。	791.5	
S61	SD4	2136	第130図 PL.82	石鎌	サヌカイト	最大長：2.9 最大幅：1.8 最大厚：0.3	抉りの浅い凹基無茎石鎌。基部一部欠く。	1.43△	分析試料No.9
S62	SD4埋土中	2121	第130図 PL.84	磨石	安山岩	最大長：10.1 最大幅：8.2 最大厚：4.0	扁平な楕円形を呈す。両面に擦り面。	485.5	
S63	石列内	241	第169図 PL.83	有溝石錘	安山岩	最大長：7.2 最大幅：6.1 最大厚：4.75	瀬戸内型石錘。完形。中央部横方向に浅い溝。溝は敲打後磨く。	316.0	
S64	石列内	241	第169図 PL.83	有溝石錘	安山岩	最大長：9.1 最大幅：5.5 最大厚：5.6	やや大型の北部九州型石錘。長軸方向中位まで4方、短軸方向中位に1方の途切れ途切れの溝。	345.0	
S65	石列内	240	第169図 PL.83	扁平片刃石斧	泥岩	最大長：8.05△ 最大幅：7.4 最大厚：1.9	基部側、刃部一部欠損。表面丁寧に磨かれる。	211△	
S66	石列内	240	第169図 PL.83	扁平片刃石斧	無斑晶安山岩	最大長：8.4 最大幅：4.25 最大厚：1.7	ほぼ完形。表面丁寧に磨かれる。	111.5	
S67	石列内	506	第169図 PL.83	太型蛤刃石斧	閃緑岩	最大長：14.4 最大幅：3.9 最大厚：3.9	細身の太型蛤刃石斧。全面研磨。基部付近柄装着痕あり。	489.5	
S68	石列内	240	第169図 PL.83	太型蛤刃石斧	閃緑岩	最大長：13.4 最大幅：6.1 最大厚：4.4	やや細身の太型蛤刃石斧。全面研磨。基部付近柄装着痕あり。	592.5	
S69	石列内	240	第170図 PL.84	大型石包丁?	サヌカイト	最大長：15.9 最大幅：24.9△ 最大厚：3.0	大型石包丁か。一方端欠損。	1.35kg	
S70	石列内	240	第170図 PL.85	砥石	アブライト	最大長：6.6 最大幅：5.15 最大厚：4.95	不整形形状を呈す。主な砥面は4面ある。	190.5	
S71	石列内	241	第170図 PL.85	砥石	細粒花崗岩	最大長：14.6 最大幅：4.1 最大厚：4.2	不整形な長方形柱状を呈す砥石。主な砥面は1面でよく使い込まれている。一部欠損。	342	
S72	石列内	280	第170図 PL.85	石核	サヌカイト	最大長：4.2 最大幅：2.9 最大厚：1.1	剥片を2箇所採っている、扁平な石核。	11.76	
S73	3区D13グリッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	2060	第187図 PL.83	太型蛤刃石斧	緑色片岩	最大長：11.2 最大幅：4.9 最大厚：3.6	小型の太型蛤刃石斧。全面研磨。刃部一部欠け。中位付近にケール状物質付着。	320.5	全体的に二次的被熱
S74	2区G12グリッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	969	第187図 PL.83	太型蛤刃石斧	安山岩	最大長：12.7 最大幅：6.5 最大厚：4.1	全面研磨。基部付近柄装着痕あり。	604.5	
S75	2区E13グリッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	187	第187図 PL.83	扁平両刃石斧	無斑晶安山岩	最大長：6.8△ 最大幅：3.3△ 最大厚：1.5	半分以上欠損。表面風化。	47.0△	

第4節 殿河内定屋ノ前遺跡出土の分銅形土製品について

表105 石器・石製品遺物観察表(4)

遺物番号	遺構区層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類	石材	法量(cm)	手法上の特徴	重量(g)	備考
S76	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	861	第187図 PL.84	大型石包丁	安山岩	最大長：4.7 最大幅：2.6 最大厚：0.8	大型石包丁刃部片。刃部使用痕あり。	13.5△	
S77	3区C14グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	2075	第187図 PL.84	磨石	酸性安山岩	最大長：16.2 最大幅：7.9 最大厚：4.3	不整長楕円形を呈す。表面擦面、裏面敲打面あり。	787.0	
S78	2区E14グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	558	第187図 PL.84	敲石	安山岩	最大長：17.15 最大幅：6.65 最大厚：5.8	不整長楕円形を呈す。両端に敲打面。	868.0	敲打面付近すす付着。
S79	2区E12グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	207	第188図 PL.85	砥石	流紋岩	最大長：5.3 最大幅：2.2 最大厚：2.1	やや撥形になる小型で方柱状の砥石。一方端欠損。主な砥面は4面あり、使用痕認められる。	34.0△	
S80	2区F13グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	665	第188図 PL.85	砥石	流紋岩	最大長：5.8△ 最大幅：5.1△ 最大厚：2.2	一部欠損。主な砥面は1面で、よく使われて歪曲する。	73.0△	
S81	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	278	第188図 PL.85	砥石	安山岩質凝灰岩	最大長：7.9 最大幅：7.05 最大厚：2.1	溝状に砥面を持つ不整形な砥石片。	70.0△	
S82	3区C12グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	1780	第188図 PL.83	有溝石錘	安山岩	最大長：6.0 最大幅：3.2 最大厚：3.4	北部九州型有溝石錘。長軸方向3方、短軸方向中位に1方の溝。	70	
S83	2区E14グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	667	第188図 PL.83	打ち欠き石錘	安山岩	最大長：6.35 最大幅：4.9 最大厚：1.45	不整台形状を呈す。両端を打ち欠く。	70.0	
S84	3区C13グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	1919	第188図 PL.84	打製石斧	安山岩	最大長：6.7△ 最大幅：8.0△ 最大厚：1.5	打製石斧基部片。	78.0△	
S85	2区D13グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	745	第188図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長：3.4 最大幅：2.0 最大厚：0.7	やや大型の凹基無茎石鏃。先端部、基部一部わずかに欠く。	3.274△	
S86	3区C13グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	2161	第188図 PL.82	石鏃	黒曜石	最大長：3.1 最大幅：1.8 最大厚：0.4	凹基無茎石鏃。完形。表面風化。	1.914	ポイントあり。
S87	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	196	第188図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長：1.58△ 最大幅：1.25 最大厚：0.3	凹基無茎石鏃。先端部欠く。	1.716△	
S88	2区F11グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	943	第188図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長：2.9 最大幅：1.55 最大厚：0.25	平基無茎鏃。完形。	1.253	
S89	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	979	第188図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長：2.2 最大幅：2.3 最大厚：0.58	凹基無茎石鏃。完形。表面風化している。	0.699	
S90	3区B14グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	1802	第188図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長：2.3 最大幅：1.6 最大厚：0.45	凹基無茎石鏃。基部一部欠く。	1.011△	
S91	3区D13グ リッド黒褐色土(VI層)	2044	第188図 PL.82	石鏃	黒曜石	最大長：2.2 最大幅：1.7 最大厚：0.4	凹基無茎石鏃。完形。	0.75	分析試料No.15
S92	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	979	第188図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長：2.2△ 最大幅：1.9 最大厚：0.3	平基無茎鏃。先端部欠く。剥離粗い。	1.571△	
S93	2区D14グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	668	第188図 PL.82	石鏃	黒曜石	最大長：2.2 最大幅：1.7 最大厚：0.5	凹基無茎石鏃。	0.72	分析試料No.13
S94	2区D14グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	668	第188図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長：2.8 最大幅：2.2 最大厚：0.4	凹基無茎石鏃。	1.16	分析試料No.14
S95	2区G14グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	203	第188図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長：1.58 最大幅：1.25 最大厚：0.3	小型の凹基無茎石鏃。完形。	0.334	
S96	2区F14グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	660	第188図 PL.85	スクレイパー	黒曜石	最大長：3.45 最大幅：1.95 最大厚：0.85	台形状を呈すスクレイパー。刃部剥離あり。	3.853	
S97	3区C12グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	1829	第188図 PL.85	スクレイパー	チャート	最大長：4.35 最大幅：4.3 最大厚：1.0	平面やや不整な円形、断面台形状を呈す。縁辺部細かな剥離施す。	28.732	
S98	2区F12グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	1140・1354	第189図 PL.85	石包丁	サスカイト	最大長：4.4 最大幅：8.7 最大厚：1.2	打製石包丁の破片と考えられる。	35.67△	分析試料No.12
S99	2区F11グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	525	第189図 PL.82	石鏃	スクレイパー？	最大長：3.0△ 最大幅：5.6△ 最大厚：0.8	一方端を欠く。スクレイパーか。表面摩擦部分あり。	15.214△	
S100	2区F13グ リッド極暗褐色～黒色土(V・VI層)	755	第189図 PL.85	スクレイパー	無斑晶安山岩	最大長：5.6 最大幅：7.3 最大厚：1.1	断面クサビ形になる。	42.93	

第5章 総括

表106 石器・石製品遺物観察表(5)

遺物番号	遺構地区層位名	取り上げ番号	挿図PL	種類	石材	法量(cm)	手法上の特徴	重量(g)	備考
S101	2区F12グリッド黒褐色土(Ⅶ層)	1722、1734	第191図 PL.84	大型石包丁	安山岩	最大長：14.6△ 最大幅：17.3△ 最大厚：2.5	大型石包丁。半分以上欠損か。両面研磨され刃部よく使い込まれ横方向擦痕及びコーンクロス付着。	597.0△	
S102	2区F12グリッド黒褐色土(Ⅶ層)	1734	第191図 PL.84	敲石	角閃石安山岩	最大長：12.7 最大幅：12.4 最大厚：6.2	やや扁平で円形を呈す敲石。両面中央、側面一部に敲打面あり。	986.0	
S103	2区E13グリッド黒褐色土(Ⅶ層)	1168	第191図 PL.83	扁平片刃石斧	閃緑岩	最大長：6.0 最大幅：4.65 最大厚：1.1	ほぼ完形の扁平片刃石斧。上縁一部剥離。使用痕明瞭ではない。	58.0	
S104	2区E13グリッド黒褐色土(Ⅶ層)	1320	第191図 PL.82	石鏃	黒曜石	最大長：2.2 最大幅：1.6 最大厚：0.4	凹基無茎石鏃。	0.88	分析試料No.10
S105	2区E13グリッド暗褐色土(Ⅶ層)	1434	第191図 PL.85	スクレイパー	黒曜石	最大長：2.6 最大幅：4.2 最大厚：1.2	三角形を呈す。刃部は細かな剥離を施す。	7.57	分析試料No.11
S106	4区F19グリッド黒褐色土	2196	第193図 PL.84	石包丁	安山岩	最大長：3.4△ 最大幅：2.15△ 最大厚：0.9	大型石包丁刃部片。刃部使用痕あり。	8.0△	
S107	4区B19グリッド黒褐色土	110	第193図 PL.84	石包丁	安山岩	最大長：5.3△ 最大幅：3.9△ 最大厚：1.0	大型石包丁刃部片。刃部使用痕あり。	29.5△	
S108	4区E20グリッド黒褐色土	2170	第193図 PL.83	大型蛤刃石斧	安山岩	最大長：12.0 最大幅：6.0 最大厚：4.4	完形の大型蛤刃石斧。全面研磨。基部付近柄装着痕あり。刃部片減りしている。縦斧として使用か。	499.5△	
S109	4区C19グリッド黒褐色土	31	第193図 PL.83	大型蛤刃石斧	安山岩	最大長：10.2△ 最大幅：6.7 最大厚：4.5	大型蛤刃石斧片。基部を欠く。刃部一部剥離。全面研磨。側面に稜残る。	534.5△	
S110	1区B6グリッド	1853	第194図 PL.84	石包丁	安山岩	最大長：7.9△ 最大幅：5.3△ 最大厚：1.4	大型石包丁刃部片。刃部一部欠く。刃部使用痕あり。	48.5△	
S111	1区E4グリッド	314	第193図 PL.84	磨石	緑色泥岩	最大長：7.5 最大幅：5.4 最大厚：1.1	扁平な磨石。一部欠損。全面研磨。	77.0△	
S112	3区D17グリッド	1791	第195図 PL.83	扁平片刃石斧	無斑晶安山岩	最大長：8.6 最大幅：6.2 最大厚：2.3	基部側、刃部一部欠損。表面丁寧に磨かれる。	127.5△	
S113	2区G9・10グリッド風倒木痕内	822	第196図 PL.84	石杵	安山岩	最大長：7.8 最大幅：6.4 最大厚：5.5	四角柱状を呈す。両端部に敲打面。	429	
S114	4区C18グリッド表土	33	第198図 PL.84	硯	流紋岩質凝灰岩	最大長：11.5△ 最大幅：8.1△ 最大厚：6.6	墨池を欠く硯片。二次的な欠損目立つ。	412△	
S115	4区B18グリッド表土	82	第198図 PL.83	大型蛤刃石斧	閃緑岩	最大長：12.1 最大幅：6.0 最大厚：3.8	やや扁平な大型蛤刃石斧。基部付近剥離。	438.0△	
S116	4区D19グリッド表土	351	第198図 PL.83	大型蛤刃石斧	閃緑岩	最大長：10.1△ 最大幅：5.4 最大厚：3.6	基部側を欠く。全面研磨。刃部使用痕あり。	336.5△	
S117	4区E15グリッド表土	120	第198図 PL.83	石斧	無斑晶安山岩	最大長：5.05 最大幅：5.35 最大厚：1.45	扁平な石斧片。刃部二次的に剥離している。基部欠損。	60.5△	
S118	4区E4グリッド検出面	123	第198図 PL.82	石鏃	無斑晶安山岩	最大長：2.0△ 最大幅：1.8 最大厚：0.45	凹基無茎石鏃。先端部欠く。	1.371△	

表107 鉄器・鉄製品遺物観察表

遺物番号	遺構地区層位	取り上げ番号	挿図PL	種類	計測値(cm)			重量(g)	磁着度	メタル度	備考
					長さ	幅	厚さ				
F1	S14	1871	第42図	鉄製品(鍛造品) 刀子	3.5	2.1	0.5	6.293	2		刀子刃部から基部にかけての破片。
F2	2区E14グリッド極暗褐色～黒色土(V・Ⅵ層)	189	第189図	鉄製品(鍛造品) 鉄銭	2.4	2.4	0.2	1.709	2		鉄銭破片。